

423

117

事故本

欠頁  
P. 35. 36. 43. 44  
101. 102

96. 7. 24



始





緒言

我國に於ける野球技の進歩と發達に連れ、歴史的に紀念すべき寫眞を秩序的に聚集し、これを統一的に編纂して見やうと云ふのは、吾人が久しい前から希望ではあつたが何分にも身に寸暇がなかつた爲めに其の機會を得なかつた處が今回計らずもあらゆる方面から珍らしい寫眞を手に入れた便を得たので年代的配列に依つて當寫眞帖を編集して見たのである。

ここに改めてお断りする迄もなく吾人をして云はしめると、未だこれを以て充分と満足する事は出来ない。けれども何分にも紙數に限りがあるので大體に止め、**正しめ、大で、12巻内交**ながら次の機會へ譲る事とした。がこれに依つて幾かなり

とも好球家諸君の渴を醫すると共に、選手諸君が其の當時の活躍を目の前に見る思ひ出の種ともなり、且つ斯界に多少なりとも何等かの益する事があつたことすれば、吾人の満足はこれに過ぎないのである。

大正十一年十二月初旬

編者識

144

423-117



目次

米國みやげ(1).....三色版.....一  
同(2).....三色版.....二  
ポスターのいろく.....二色版.....三  
如何に雄大なるかを見よ.....三頁大.....四

明治三十八年

早稻田大學第一回米國遠征.....五

明治三十九年

あゝ覆水は再び盆に返らず.....六

明治四十年

布哇セントルイス軍の來朝.....七

明治四十一年

慶應義塾の布哇遠征.....八  
華盛頓大學第一回渡日軍の來朝(1).....九  
同(2).....一〇  
リーチ、オール、アメリカンの來朝(1).....一一  
同(2).....一二

明治四十二年

神戸俱樂部の東上.....一三  
早大對一高戦の紛擾.....一四  
本邦最初のトリッププレー.....一五  
ウイスカンシン大學の來征(1).....一六  
同(2).....一七  
同(3).....一八

明治四十三年



早大の雪辱戦……………一九  
 早稻田大學の布哇遠征……………二〇  
 出陣……………二二  
 市俄古大學第一回渡日軍の來朝(1)……………二三  
 同(2)……………二三  
 米國商賣人の野球(1)……………二四

明治四十四年

早稻田大學の第二回米國遠征(1)……………二五  
 同(2)……………二六  
 同(3)……………二七  
 慶應義塾の第一回米國遠征……………二八  
 明大初めて三田臺を襲ふ……………二九

明治四十五年

稻門三田の戰約成る(1)……………三〇  
 同(2)……………三一  
 麻尼拉全陸軍團の來朝(1)……………三二  
 同(2)……………三三

大正元年

横濱商業の全盛時代(1)……………三四  
 同(2)……………三五

大正二年

明治大學の麻尼拉遠征(1)……………三六  
 同(2)……………三七  
 全比律賓野球團來る(1)……………三八  
 同(2)……………三九  
 スタッフォード大學の來襲(1)……………四〇  
 同(2)……………四一

同(3)……………四二  
 華盛頓大學第二回渡日軍の來朝(1)……………四三  
 同(2)……………四四  
 同(3)……………四五  
 同(4)……………四六  
 世界周遊野球團の來朝……………四七  
 米國商賣人の野球(2)……………四八

大正三年

慶應義塾第二回米國遠征(1)……………四九  
 同(2)……………五〇  
 同(3)……………五一  
 沙市日本軍の活躍……………五二  
 明治大學の米國遠征(1)……………五三  
 同(2)……………五四  
 同(3)……………五五  
 沙市日本俱樂部の來朝……………五六  
 在米同胞の兩野球團……………五七

大正四年

三田臺遂に蹂躪さる……………五八  
 觀衆を熱狂せしめた早明決勝戦……………五九  
 全國中學爭霸戦の壯觀……………六〇  
 市俄古大學第二回渡日軍の來朝(1)……………六一  
 同(2)……………六二  
 同(3)……………六三  
 同(4)……………六四  
 米國商賣人の野球(3)……………六五

大正五年



早稻田大學の第三回米國遠征(1).....	六六
同(2).....	六七
三高遂に雪辱す.....	六八
布哇聖路易軍來る(1).....	六九
同(2).....	七〇
同(3).....	七一
同(4).....	七二

大 正 六 年

京都に於ける一高對三高戰.....	七三
極東競技大會の覇權を握る.....	七四
全國實業野球團爭覇戰.....	七五
慶軍の雪辱美事に成る.....	七六
早稻田大學の滿洲遠征.....	七七
横濱・神戸の爭覇戰(1).....	七八
同(2).....	七九
力士の野球熱.....	八〇
四大學リーグ戰.....	八一
東西兩大學戰成る.....	八二

大 正 七 年

力士野球團と實業團の覇者.....	八三
問題の人鍛冶選手の行動.....	八四
駿臺軍大に振ふ.....	八五
明大の奮闘物凄し.....	八六
明大遂に早軍を破る.....	八七
向陵軍の黄金時代再現(1).....	八八
同(2).....	八九
同(3).....	九〇
早大の夏期運動場成る.....	九一
明大の滿洲及び上海遠征(1).....	九二
同(2).....	九三

一高の滿洲遠征.....	九四
極東競技大會豫選試合.....	九五
沙市朝日軍の來朝(1).....	九六
同(2).....	九七
學習院の活躍.....	九八
全關東西戰の成立(1).....	九九
同(2).....	一〇〇
早大の臺灣及び麻尼拉遠征.....	一〇一
幕内力士の野球團.....	一〇二
思出深き二つの寫眞.....	一〇三
黒山のやうな見物人.....	一〇四



(1) 米 國 米 野 球



球子

野 球 本 場 米 國 於 野 球 繪 葉 書 中 的 中 也





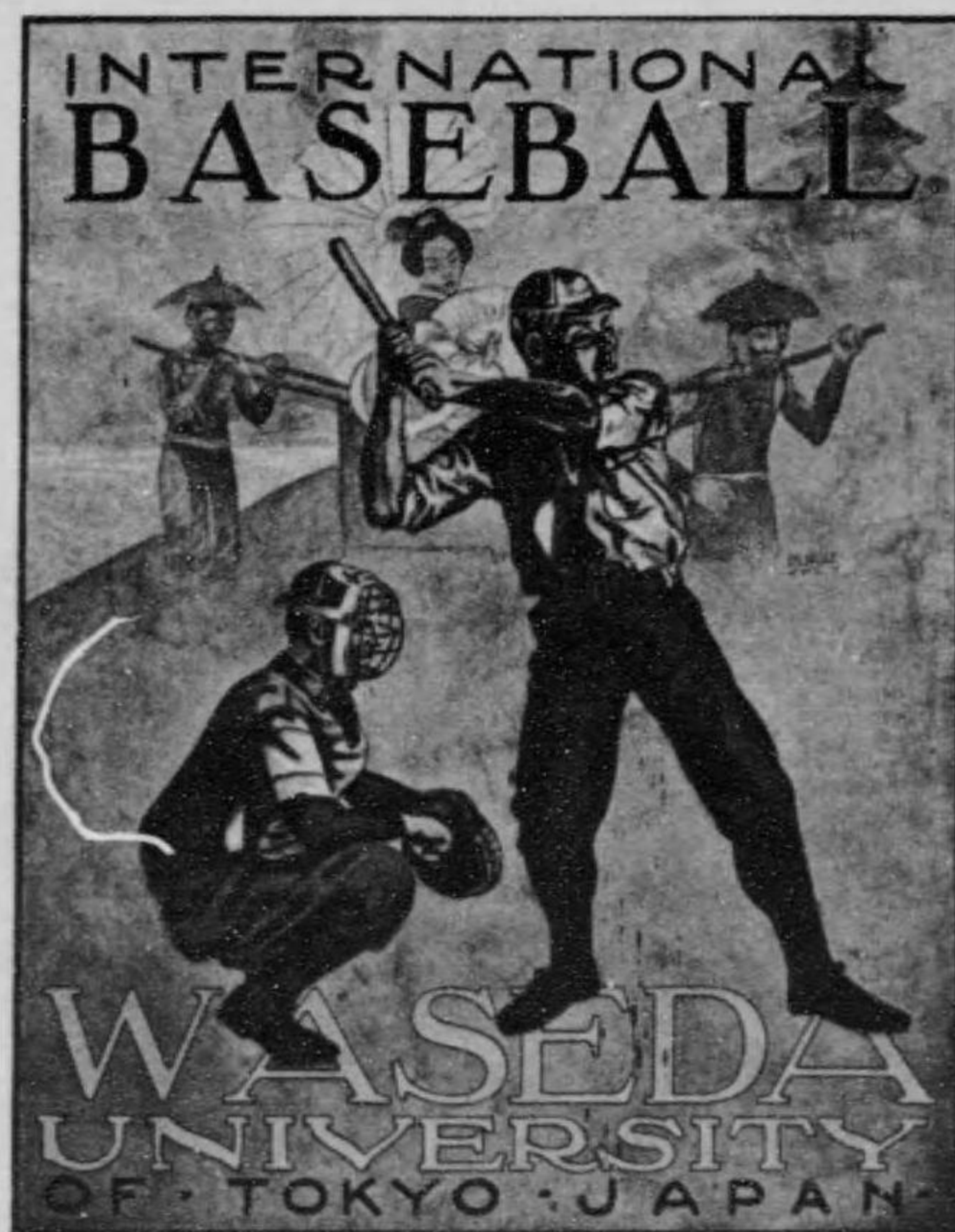
(2) 米 國 米 け や み



人何。るあで開るあてしーレオが供子の持金は左、人乏貧は右てつあで高額な來出で國米もれ何はれこ  
。かいなはて照對い白面と



ろいろいのータスポ



Three Games on Stagg Field

57th Street and Ellis Avenue

JUNE 3rd, 3:30 P. M.    JUNE 9th, 3:30 P. M.  
JUNE 17th, 3:00 P. M.

。るあでータスポの合試球野たれさ用使製作が者催主地の彼もれ何際たし米渡か田稻早は左、大明は右

# COMING

University of Meiji, Tokyo, Japan.

## BASE BALL TEAM

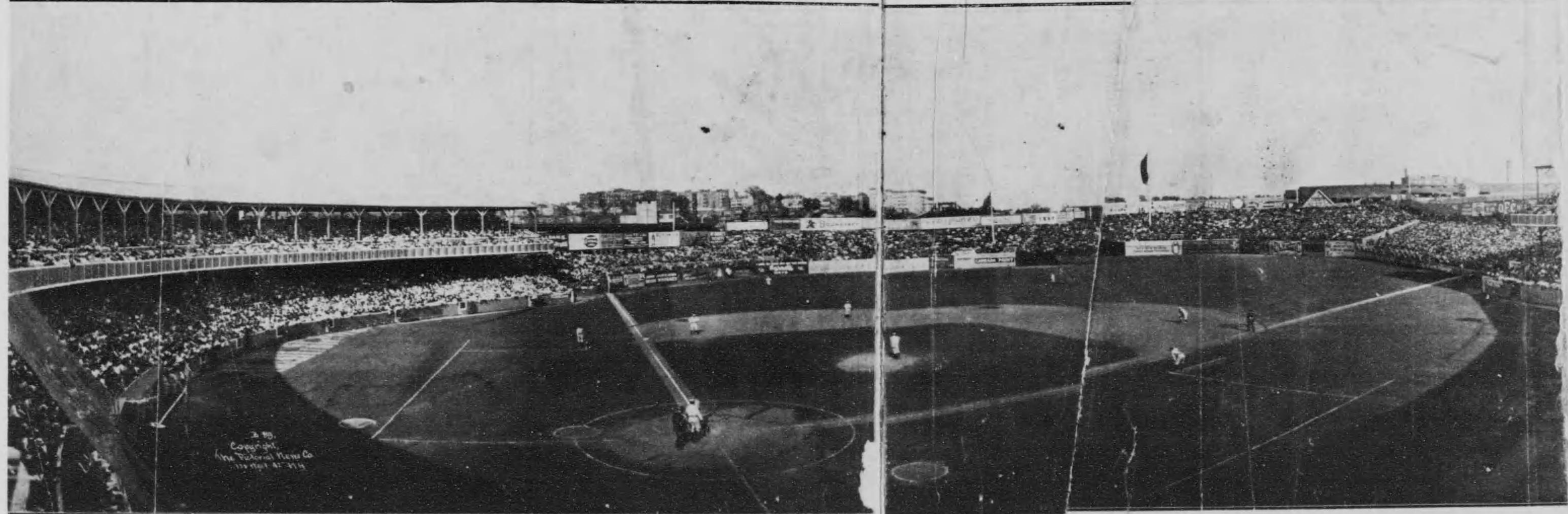
FASTEST COLLEGE TEAM IN  
FLOWERY KINGDOM





よ 観 を か る な 大 雄 に 何 如

◀ 観 大 の ド ン ウ ェ グ 人 賣 商 國 ▶



Copyright  
The National News Co.  
1919

と上の旗るゆ見に野外か遙奥は打一のスール。プーベ王打壘本るな名有の彼に在然。ふ云とるあも倍二のドンウエグ人賣商國。大早が我に優はさ廣の軍人巨育紐ム一テ得獲権手選界世の年本はるむ攻・ルナデーカ・ス



征遠國米回一第學大田稻早

◀月四年八十二治明▶



谷泉りよ目人三(右てつ向列前)のもるせ影撮て於にドルヒゴスカーベの州加は國米頃日八七廿月五年同は眞寫の此  
 (CAP,SS)戸橋(S)原小(S)川細(RF)内子獅(りよ目人二列中)(S)本森(P)野河(S)原立(C)藤山(LB)  
 すで氏譜の(S)山崎・長々部安(?B)川押(LF)木鈴(りよ目人三列後)

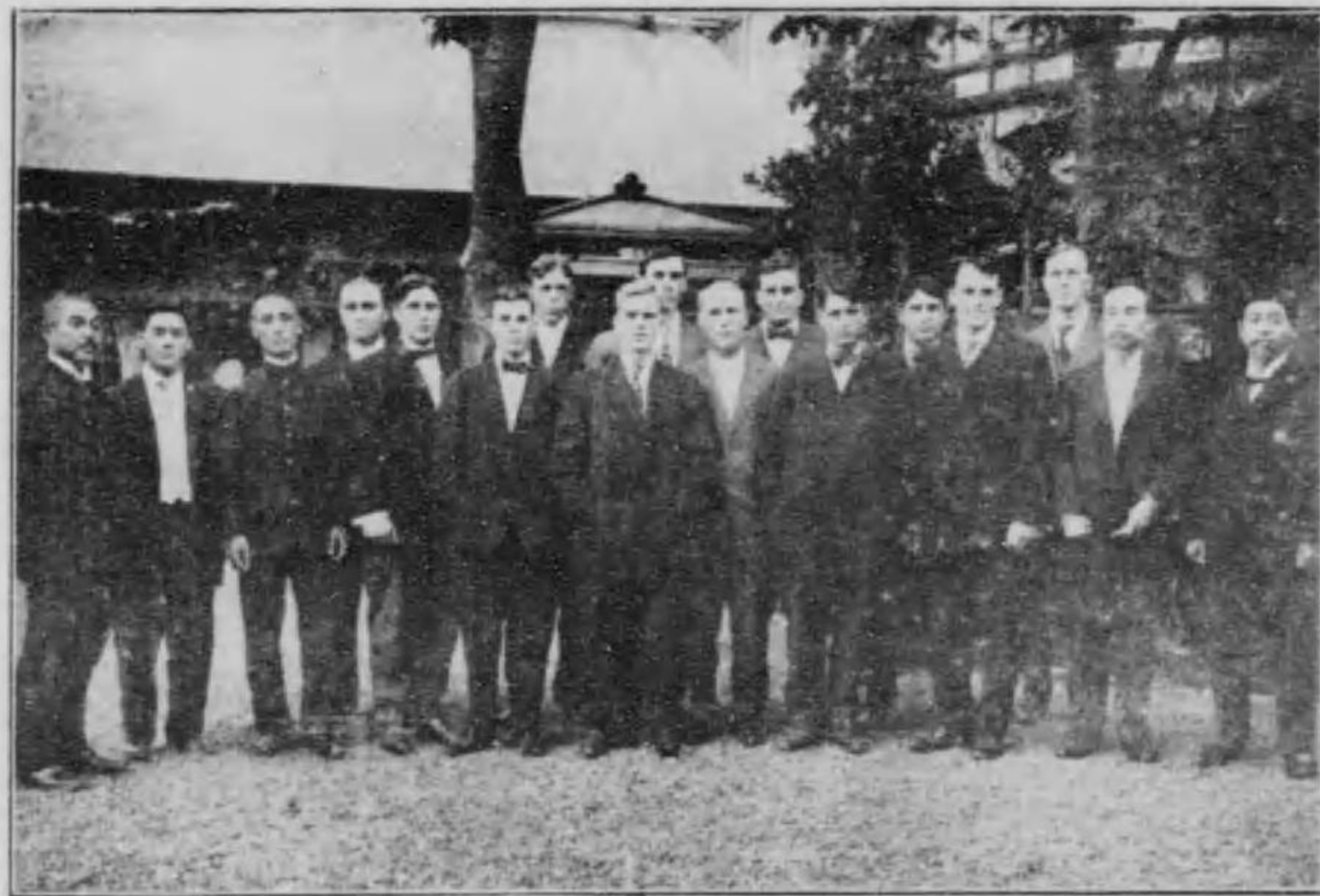






### (1) 朝來の軍日渡回一第學大頓盛華

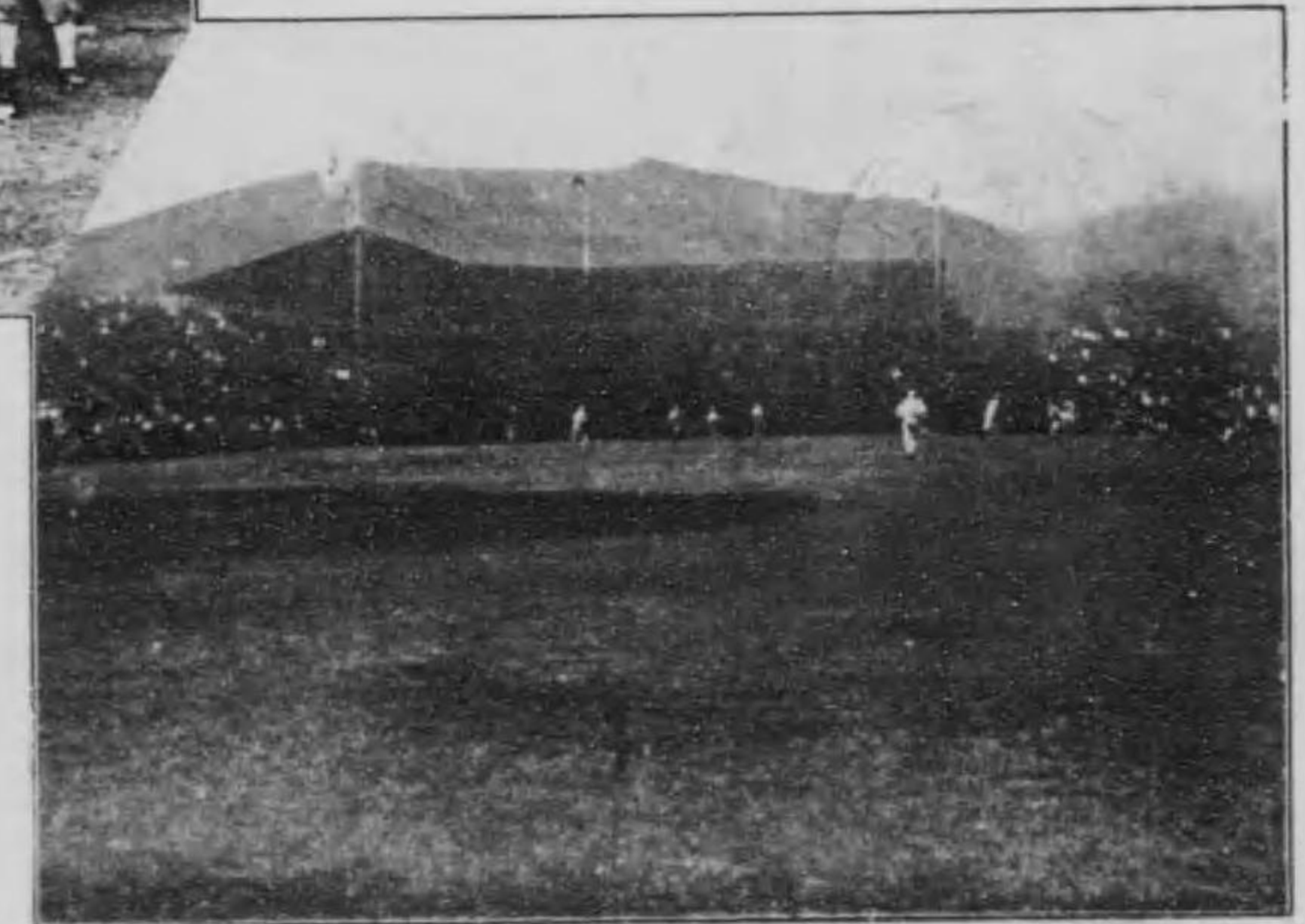
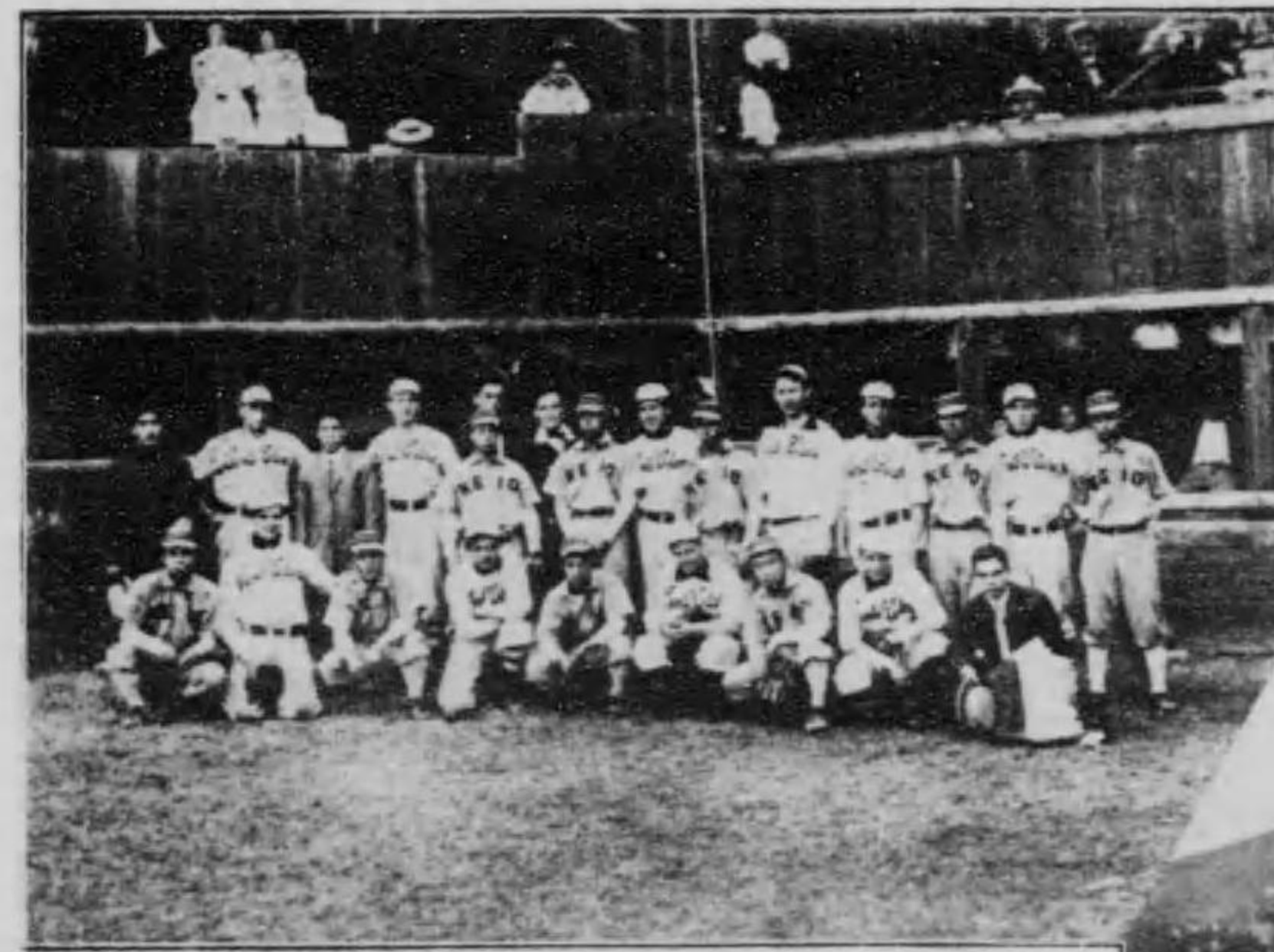
◀月十りよ月九年一十四治明▶



於に軒差精野上は圖上してに代時の將首濱高は應慶、脇山は大早、る来てに應に聘招の學大田稻早  
あて君雨の山小は手投、田福は手捕年慶、景光の軍回一應慶對の日九廿月九は圖下、行、るけ  
たつあて取四傳四は續戦るせ残の軍、し然、る

### 征遠哇布の塾義應慶

◀月九八七年一十四治▶

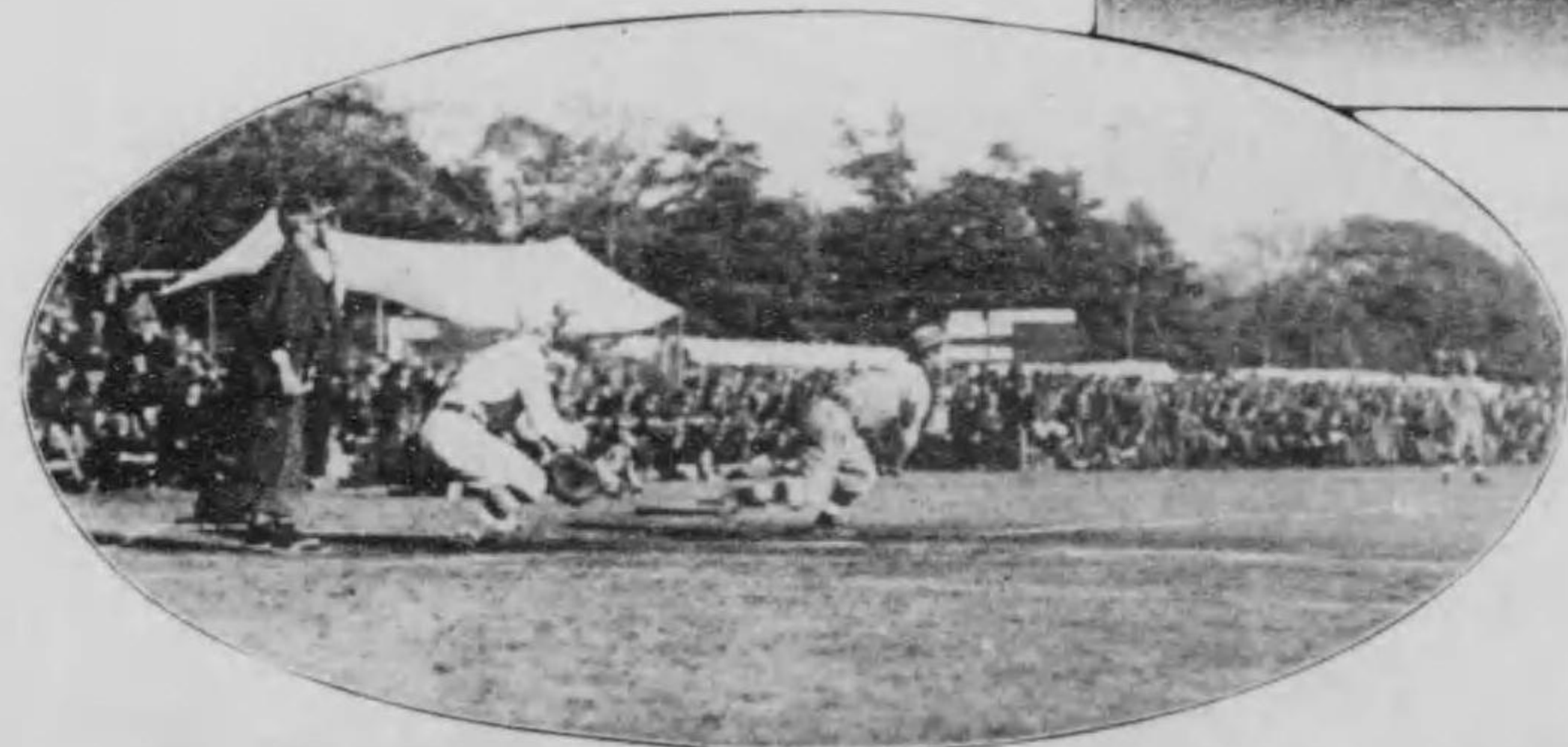


前年來朝せる有哇聖路馬軍の招聘に  
成應じて六勝六敗したのサントラの  
積即ち上圖はサソタララとの  
ラ即ち上圖はサソタララとの  
た。即ち上圖はサソタララとの  
紀念の影、下圖は試合場であつた  
モイリ、のメンバーはマニドにして同  
軍のメンバーはマニドにして同  
澤、三捕手肥後、遊撃手は小山、右翼  
田、中堅神吉、遊撃手は小山、右翼  
部、三捕手肥後、遊撃手は小山、右翼  
あつた。中堅神吉、遊撃手は小山、右翼  
あつた。



朝來のンカリメアルーオチーリ

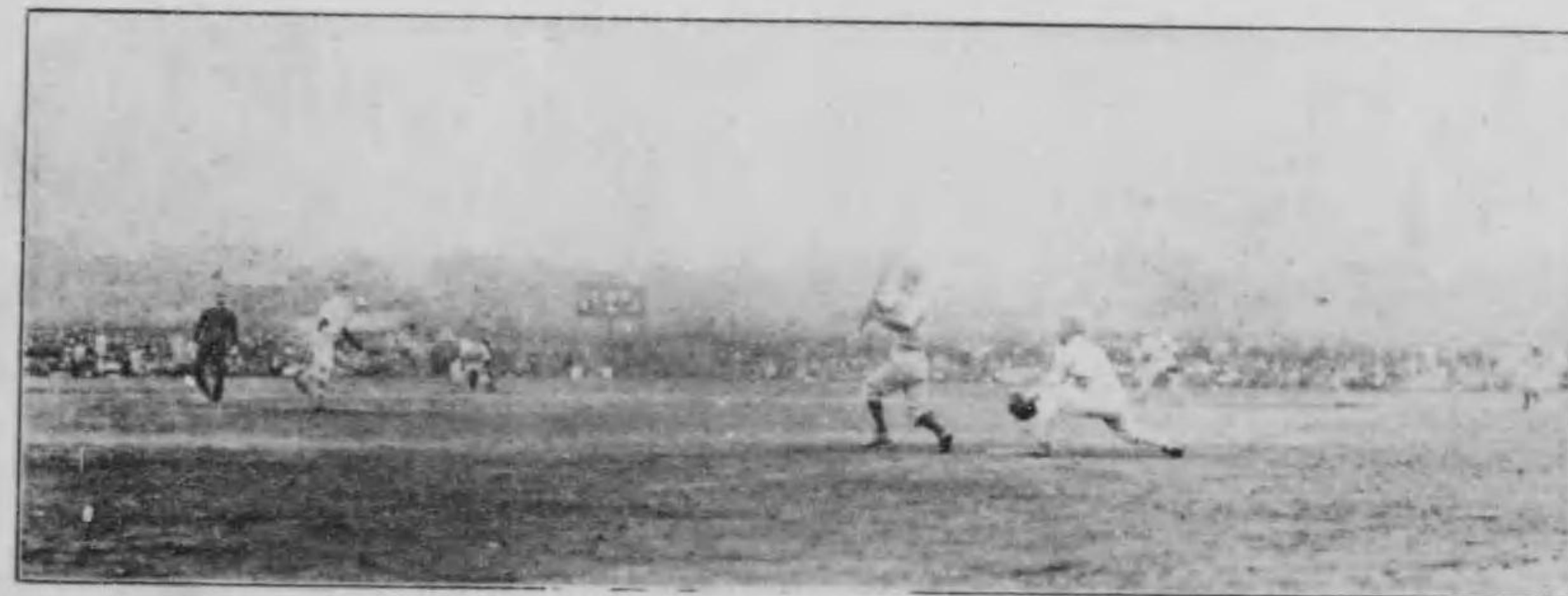
◀月下月一十年一十四治明▶



中央を侯侯大故は右圖上。る來てしと告廣の會商チーリてしにムーイテ私撰の手球對樂。る。屬一流。其國米  
圖下。り振チーリの一ニラダ手翼左軍同たつたと手選正の部樂俱ドシラブーリクは圖左。影攝念紀の軍同たしに  
。那利の打安手益三古神るけ於に職運慶對の演横は

(2) 朝來の軍日渡回一第學大頓盛華

◀月十りよ月九年一十四治明▶



は手捕。井大は手投。軍大華はるむ攻田稻早はる守てしに景光の職回一大早對の日九十月九は圖上  
はる守てしに合試同り張矢は圖下。る守てつ代が内子獅め爲の傷負田飛は最二。田松は壘一。脇山  
三の大帝は官判審で井大は者打。一バフ壘一。ンオラブ手捕。スーニヒ手投。大早はるむ攻大華  
。るあて氏島



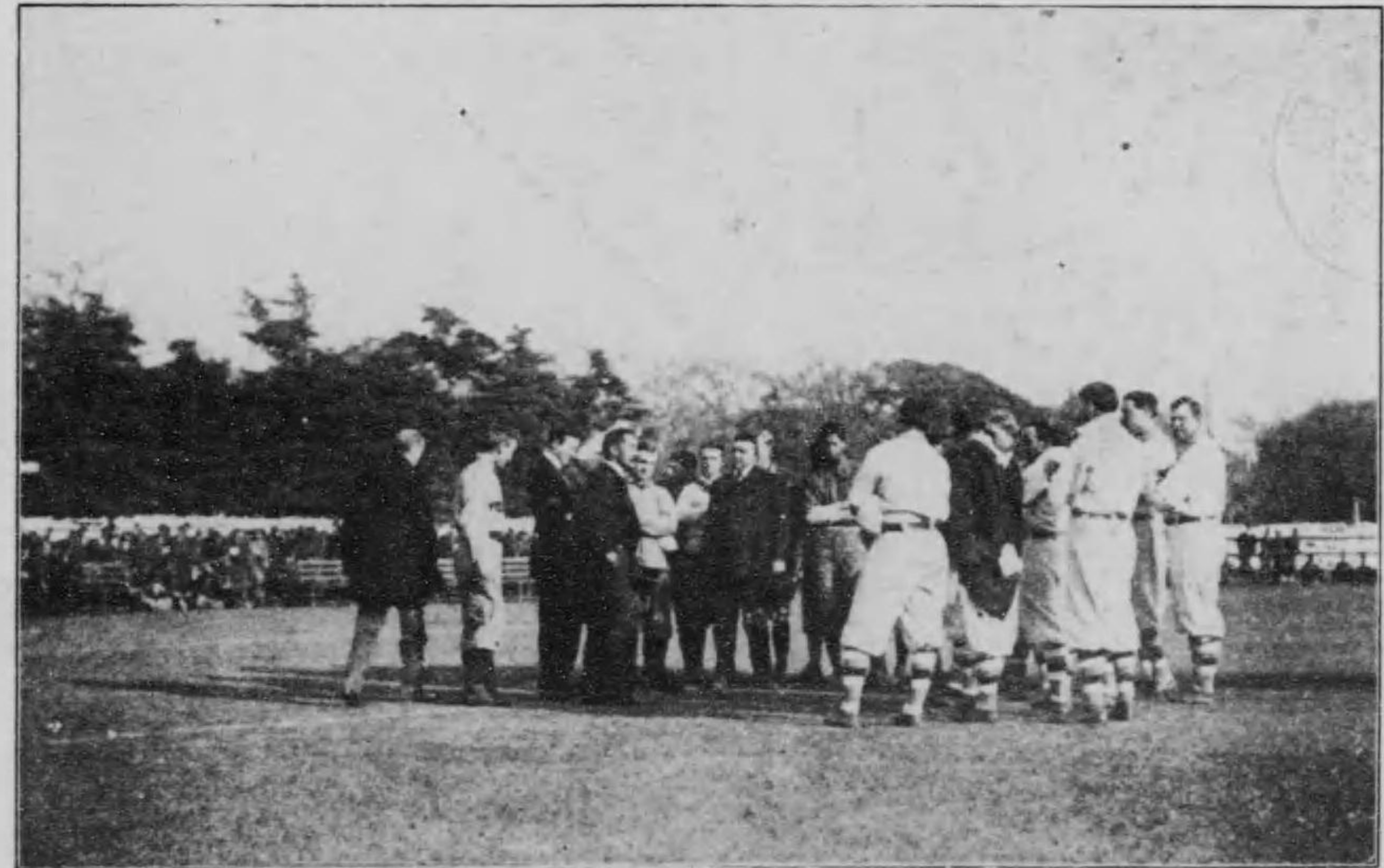
上東の部樂俱戸神  
◀日四年二十四治明▶



上圖は神戸軍泉谷君が二三塁間で快挙された所、  
下圖は東京軍田部君が巧みに三塁入り込んだ光景

最で一對五に續成の其るまでのたつ揚に時一が聲名の右源官てつ依にれこ  
たつ勝が方京東もれ何で零對一は戦回三 一對五は戦回二がたし歸に利

(2) 朝來のンカリメア、ルーオ、ナ | リ  
◀旬下月一十年一十四治明▶



式球始の長巾演演るけ於に職人外演横封の演横



一レブルブツリトの初最邦本

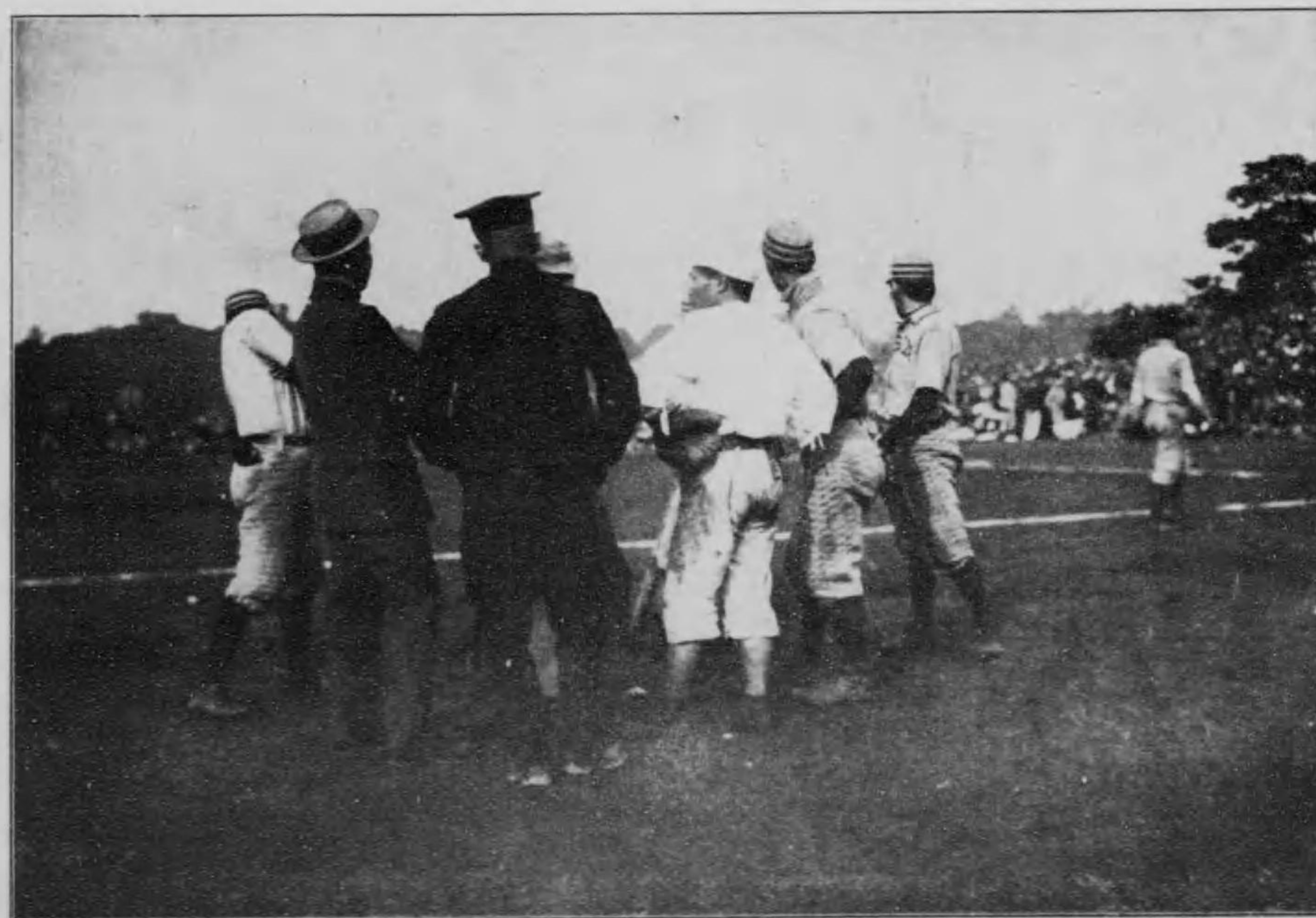
◀日三廿月五年二十四治明▶



の並れそで戦迫接の々中は合試同ち即。るあでのたれらぜ演つ依に軍慶目回五第の戦高一對軍慶たは行て於に場動運田三日同に矢の共ていりて手投づ先山下の初最やる入に目回五は方高一て来てつ持へ所たつあで味氣れさ押し少で一應慶二高一は粘得堅中は球たつ打にりかばと矢發後クイラトスツが上井り折しり折たし品を況好の轟滿死無て得を球四代田。同風でい次。き生否がるすに手をれこく早雲山轟手堅中たつ切をトーマスにく如の鳥飛時だん飲を唾片とツハずは思もれ何でのたつなと球飛大の疾へ轟三らか轟二てし球送に吉脚手轟三にら更。り層を山平るす到殺へ轟本てつ送に後肥手捕又木々佐。り送に木々佐手擊遊や。るあでのたし腕を獲危事美し刺を同風たし轟突にく如の風

擾紛の戦高一對大早

◀日八月五年二十四治明▶



前年にも思ひがけない敗を蒙つてゐるので早軍は必死となつて政め立てたが一高もさるもの、巧みに其の鋭鋒を避けてゐるので一対軍に之れを居つた。即ち國は九回日早軍山轟の打つた一、巧みに其の鋭鋒を避けてゐるので一対軍に之れを居つた。即ち國は九回日早軍山轟小川、吉田、山脇、平山、藤早大、中野、高濱、藤、内の諸君である。向つて右

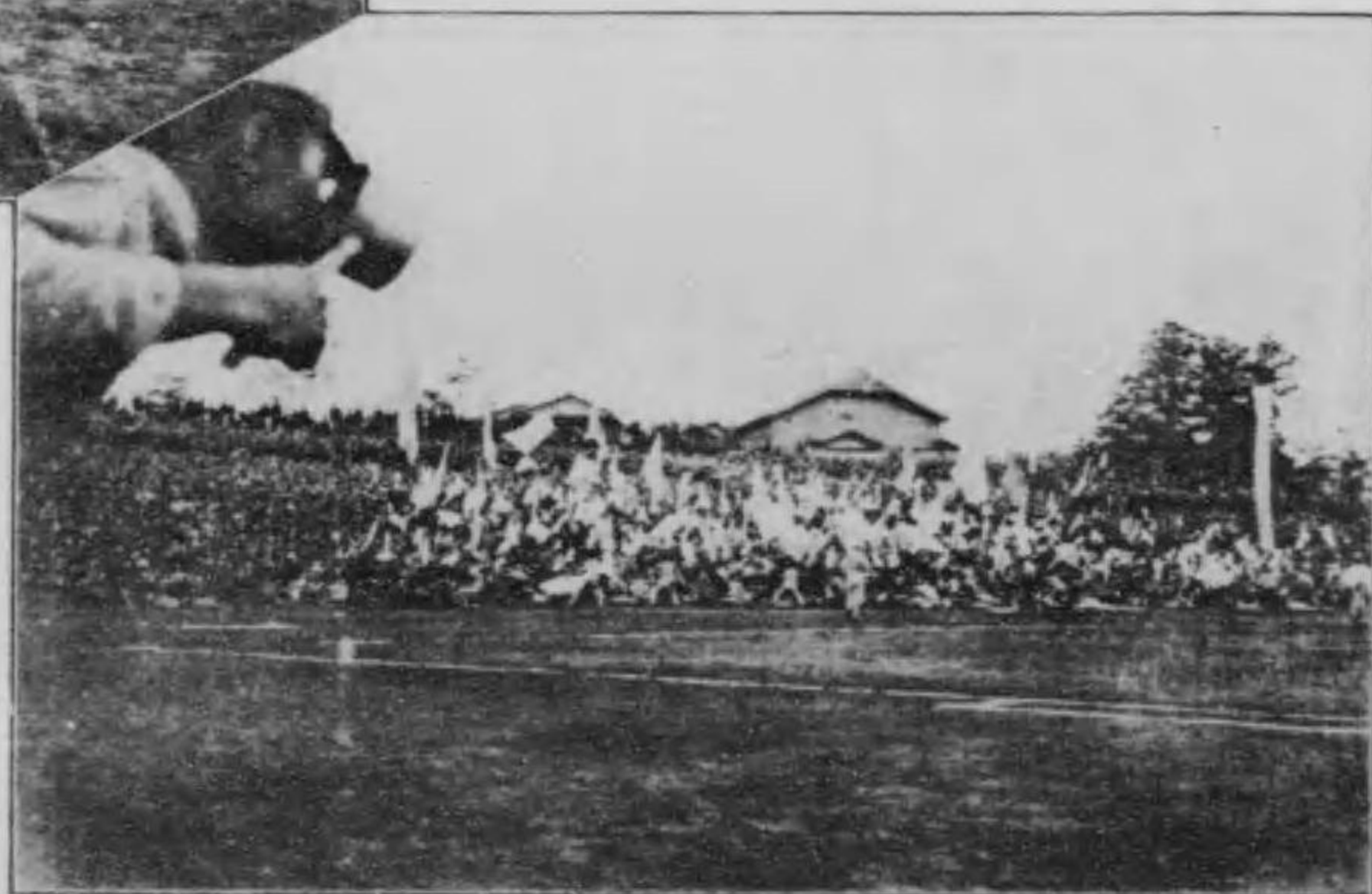
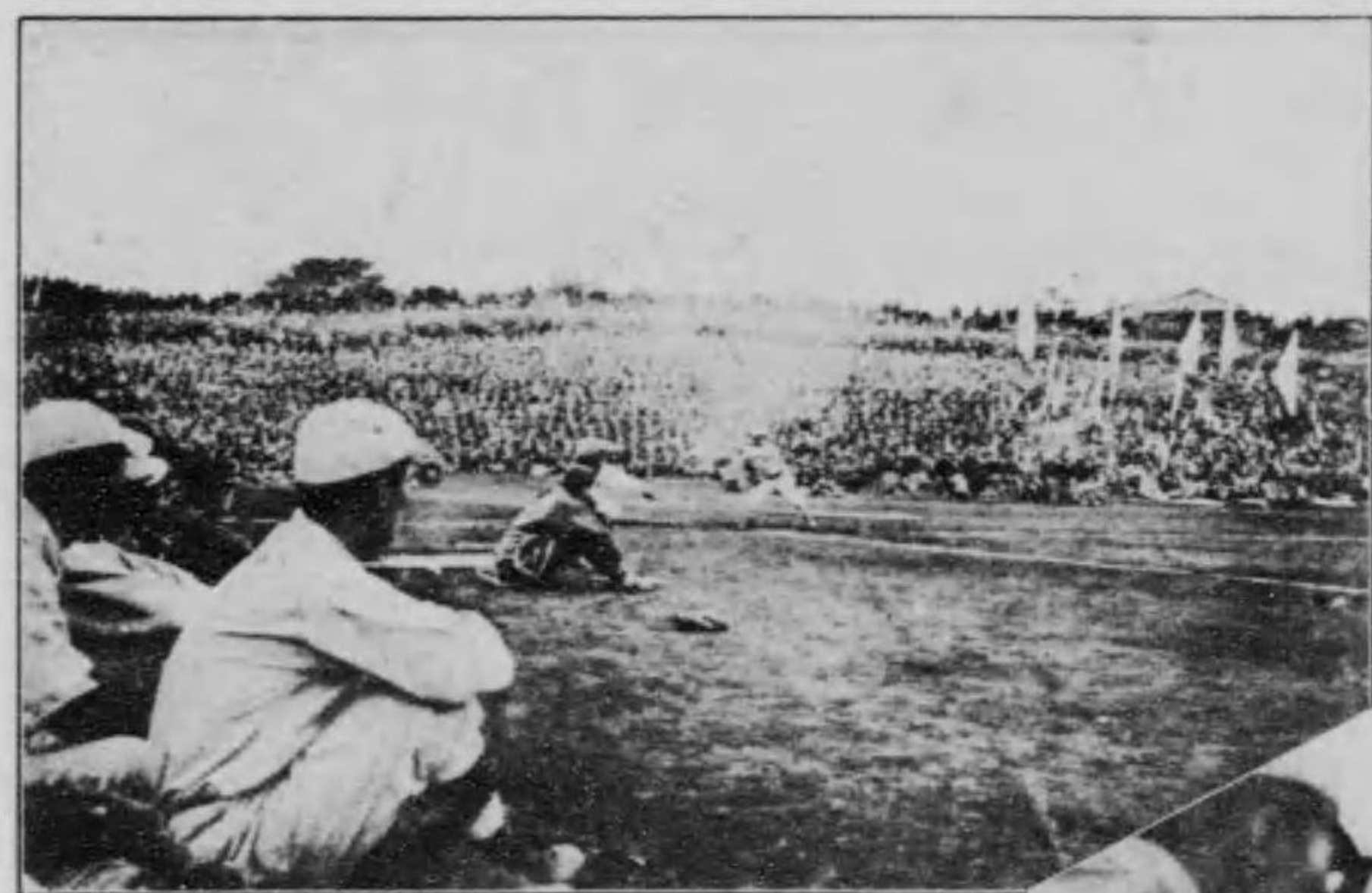






### 戦辱雪の大早

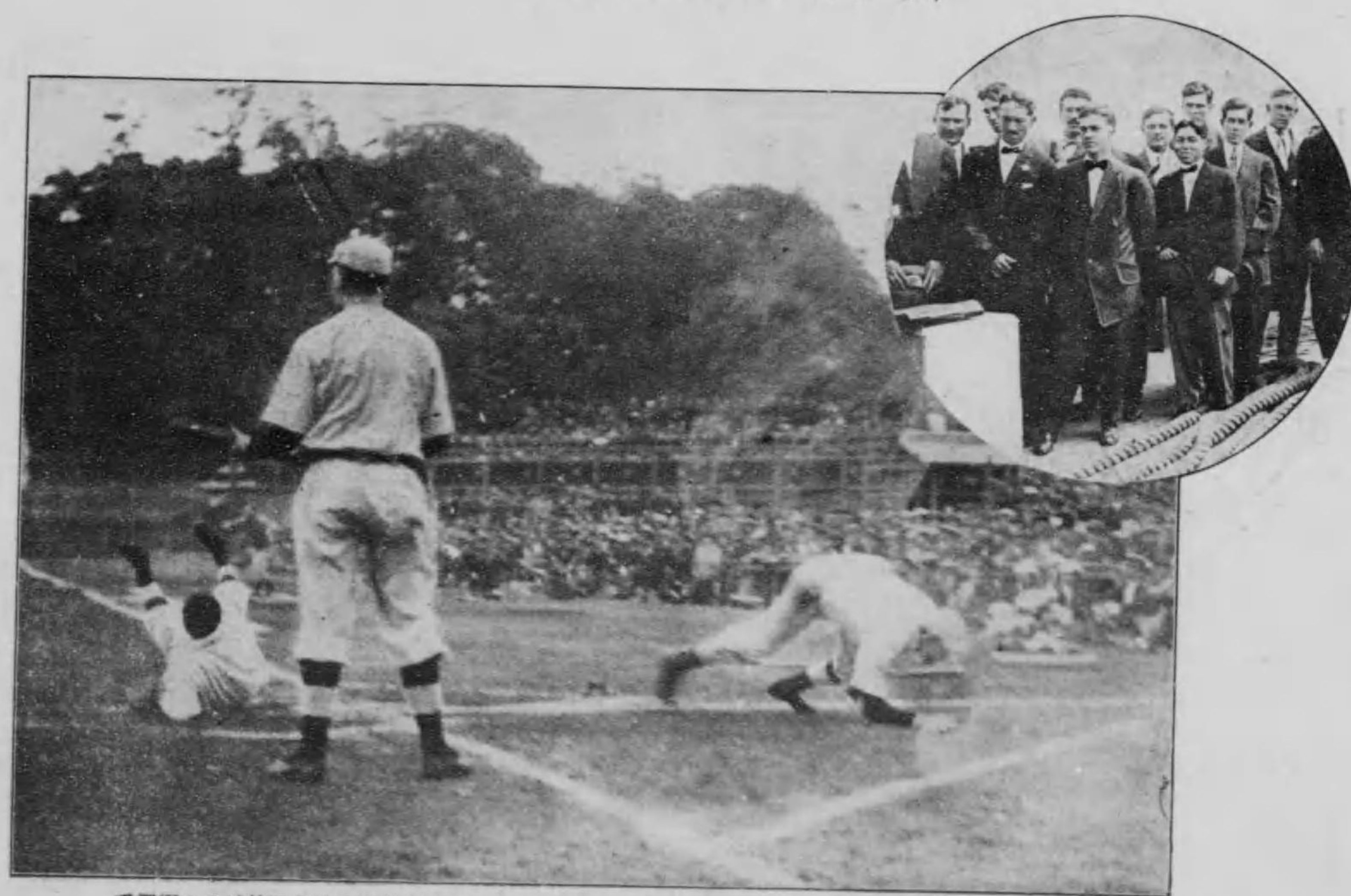
◀日五十月五年三十四治明▶



前二回思ひがけもない敗戦を繰返してゐた早軍は此の日三年目にして一高を一寸零に破つて連敗の耻を雪いだのである。其のメンバーはP大村、C松田、1B山脇、2B原、3B伊勢田、SS野々村、LF飛田、CF小川、RF大井の諸君で首將は飛田君であつた。

### (3) 征來の學大ンシンカスイウ

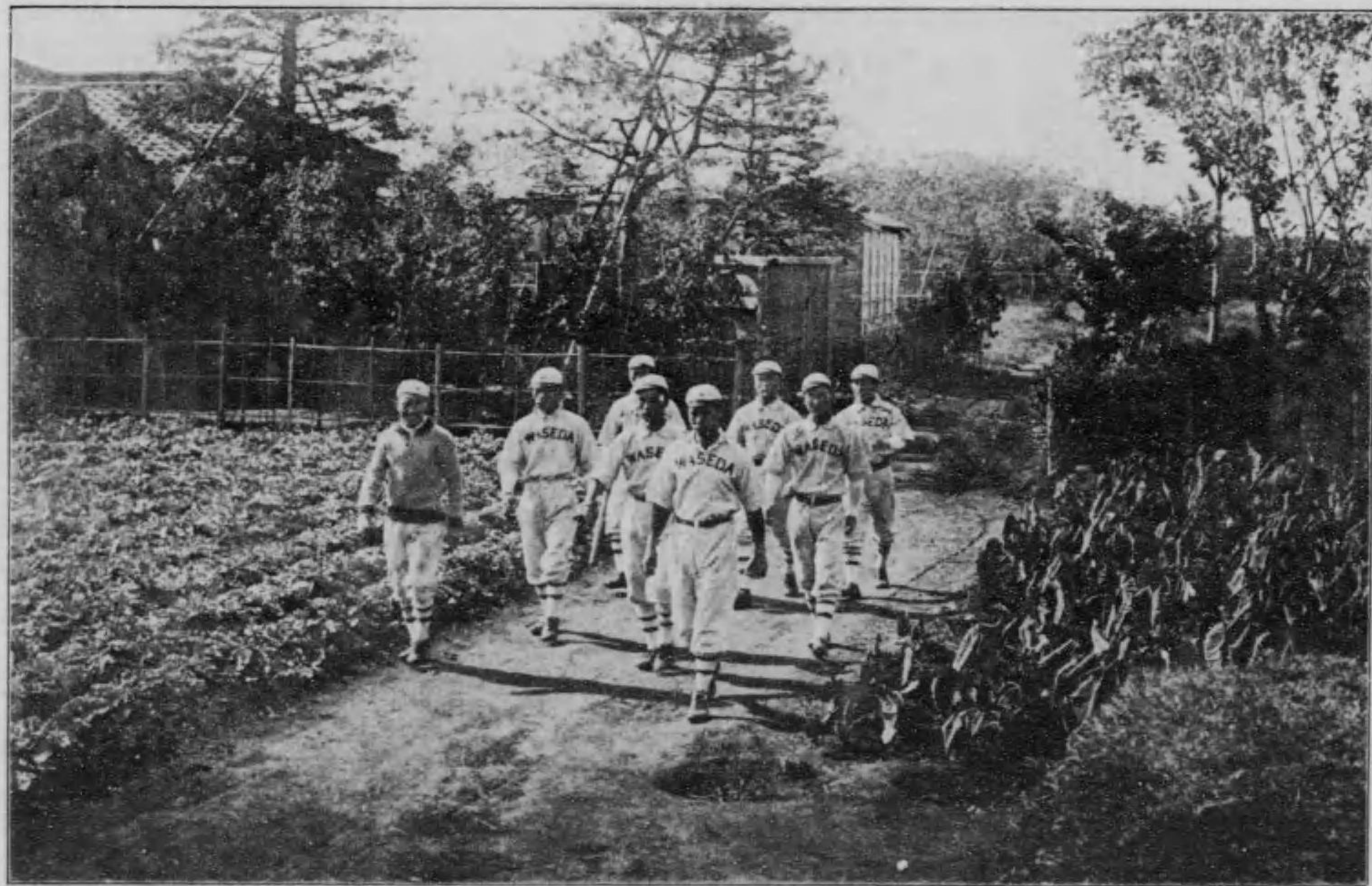
◀月十、九年二十四治明▶



手選軍ウけるけに上船の日當着演説は上の圖、たつ去し隊一を軍ウてひ勢の竹破は軍慶てし反に張不の大早走らなれ倒が氏田島部樂俱田三の今ち即田福なるつ張頑に疊本てしと手捕名に戦回ニウ慶は圖下、行一。るあで那利一のレブンイアフたし刺を者



陣 出  
◀月一十年三十四治明▶



川早 堀深尾西村大田松原(りよ右てつ向) 。るあて所宿合の兼の訪識が家の左ぐす 手運大早るすとんせ場出に戦古俄市對  
○君諸の田勢伊 神三

征遠哇布の學大田稻早  
◀月八七年三十四治明▶



山口武 松田捨吉 原善徳  
大村隆行 菊田忠雄 小川愛吉  
大井齊 西尾守一 伊勢田剛  
山根正治 深塔隆  
早川若三 三神善郎 野村博

英雄の服勅運るの於に宿合

大(手投)はムバメの其。たつ歸てし幾を績成不の敗七勝五てしく推運武がたい赴へ地同て「應に聘招の腕同留在  
輔)堀深(家右)川小(板中)神三(翼左)村々野(厚遊)田勢伊(壘三)原(壘二)田兼(壘一)田松、口山 藤山、手捕 村大、井  
。たつあて君田飛將官、尾西、ヤチー、ネマ川早(次



(2) 朝來の軍日渡回一第學大古俄市  
◀月一十年三十四治明▶



は手疊→ち即るあで景光の近附疊一るけ於に職軍一大早對は圖下 チンベの古俄市は圖上  
るあで手疊中スソリコ古俄市は者走 督監現大早田飛

(1) 朝來の軍日渡回一第學大古俄市  
◀月一十年三十四治明▶

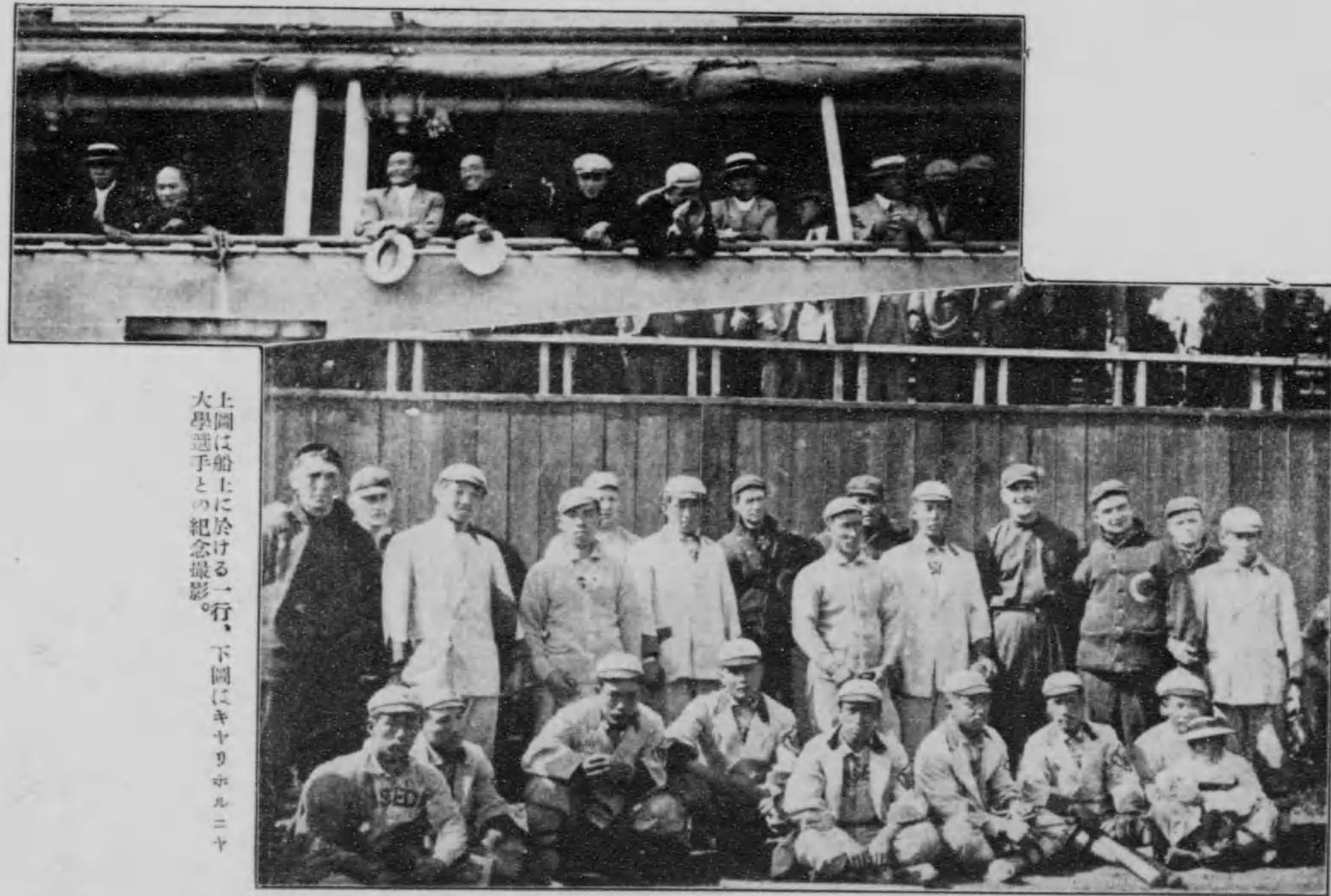


れ哀くとも要甲し開齋はムイテが我にめ爲がたつあ手投怪きの如チーベがたつあでのたし朝來てじ應に聘招の學大田鴨早  
伊、川石、宅三、木々佐、明不、原(リ)右列前)で影撮念絶の手選學大三慶早 古俄市るけ於に館使大國米は圖 たつ終に收全  
スソリコ 授教杉高、下日(兄)トーベロ(弟)トーベロ、スーモギベ、吉神、田福、山龜、ドーアベ、橋大、崎良奈、手選市、藤後神三、田勢  
故、ドンラーダンサ、氏スーレブ、瀬菅、村々野、ルイホ、島君、授教部安 授教軍市(列後)、澤黒、山小、ーリアンテ、木直、橋高、後肥、口山  
長部中田、田松、一カツレブソイダス、ンホーアエ、井大、チーベ、長學田高、長龜田藏、使大國米、僕張大



(1) 征遠國米回二第の學大田稻早

◀日八十二月三年四十四治明▶



上圖は船上に於ける一行、下圖にキヤリホルニキ大學選手との記念撮影。

▲メの其。たつかな來出が事得を績或好り餘め爲のムーイテ新もるせ米渡てじ應に聘招の學大古俄市  
増大補 橋入 RF.川小 CF 神三LF 田勢伊 SS 橋深3B 原 仁B 井大 1B 口山C 本山・田松 村大Pはーベ  
。たつあで町大・田

(1) 球野の人賣商國米

◀だのもなん盛に實▶



(カスケツサトイワホはドンラダ)合試のドンラプーリダ對カスケツサトイワホ古俄市



(3) 征遠國米回二第の學大田稻早

◀月七・六・五・四・三年四十四治明▶



。打撃の手選非大るけ於に戦古俄市對は闘下。手選田勢伊取るゐてしをひ過んさ者醫おてし傷負は闘上

(2) 征遠國米回二第の學大出裕早

◀月七・六・五・四・三年四十四治明▶



湖ンガシは闘下。軍ンカリメア。ヤヒルドラヒたし宿同にルテホサービの古俄市たるてつ泊が行一は闘上  
。行一いな念餘にび遊船で



### ふ襲を臺田三てめ初大明

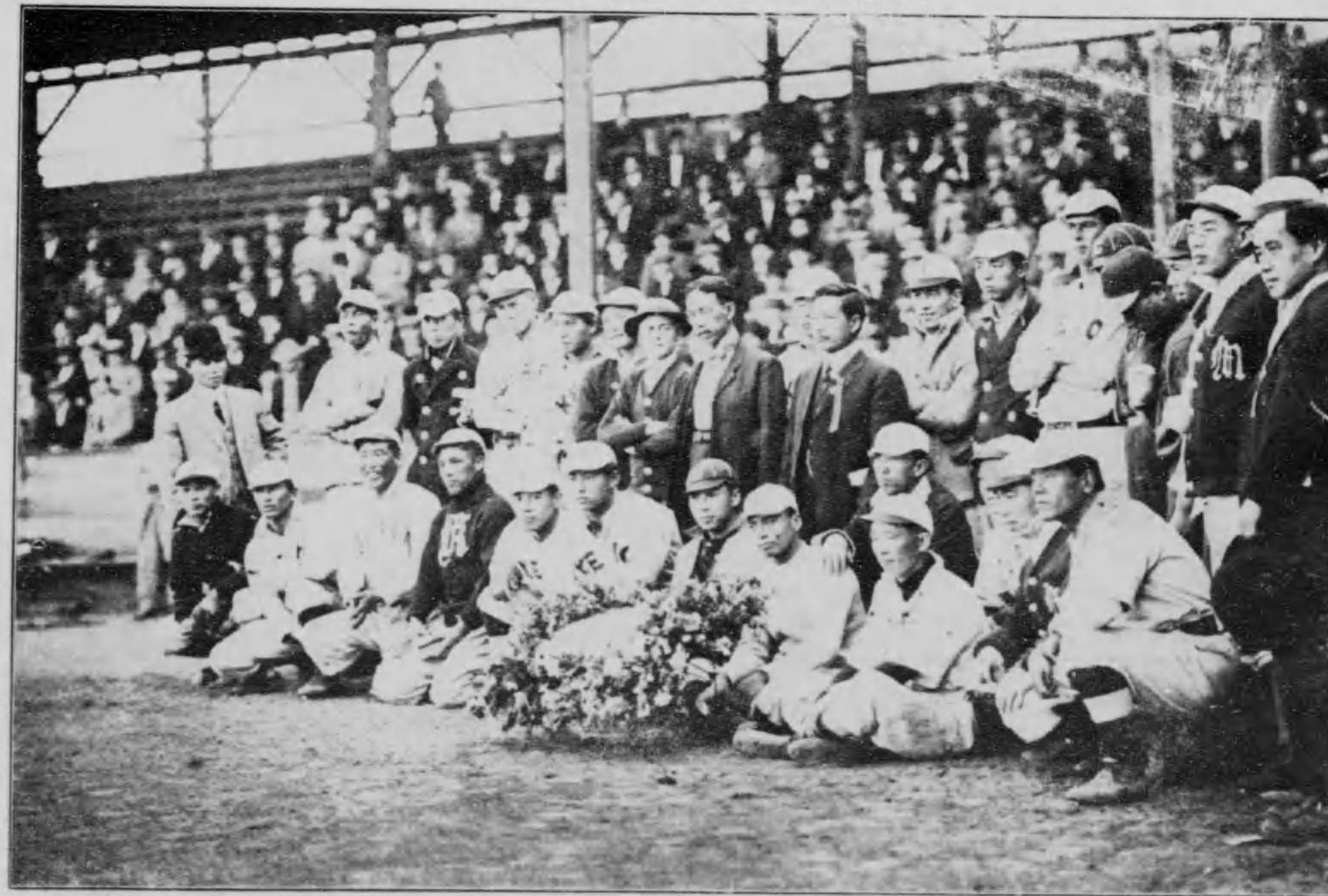
◀日八十月十年四十四治明▶



め認に大を在存の其がたれ敗に零對六てしそ。たつ戦と應慶つ襲を臺田三てめ初は軍同の與新  
應慶演堂。將首大明土齊りよ右てつあて定協のルール。ドンウラダるけ於に台試。は圖。たれら  
。るあて官軍山小。將首

### 征遠國米回一第の塾義應慶

◀日九十月四年四十四治明▶



績成し爲を難困大もれ何め爲たつかに手いのもなうやたみ師業興がたし發出しにうやふ道を狭くも間とるす。出が大如  
トヤシ即は圖毒の氣はのたつなにうやいな來田が事つ起び再に逆てし發を病はき如の手選橋大め爲がれこがたつめで好良は  
橋大、川石、後肥が手野外木々、依SS、吉神、B、濱高、B、宅三、IB、田福、C、瀬菅、山小、P、は、一、ボムメの共。るあて行一るけ於にル  
。たつあて君話の下日。藤後、崎良齋

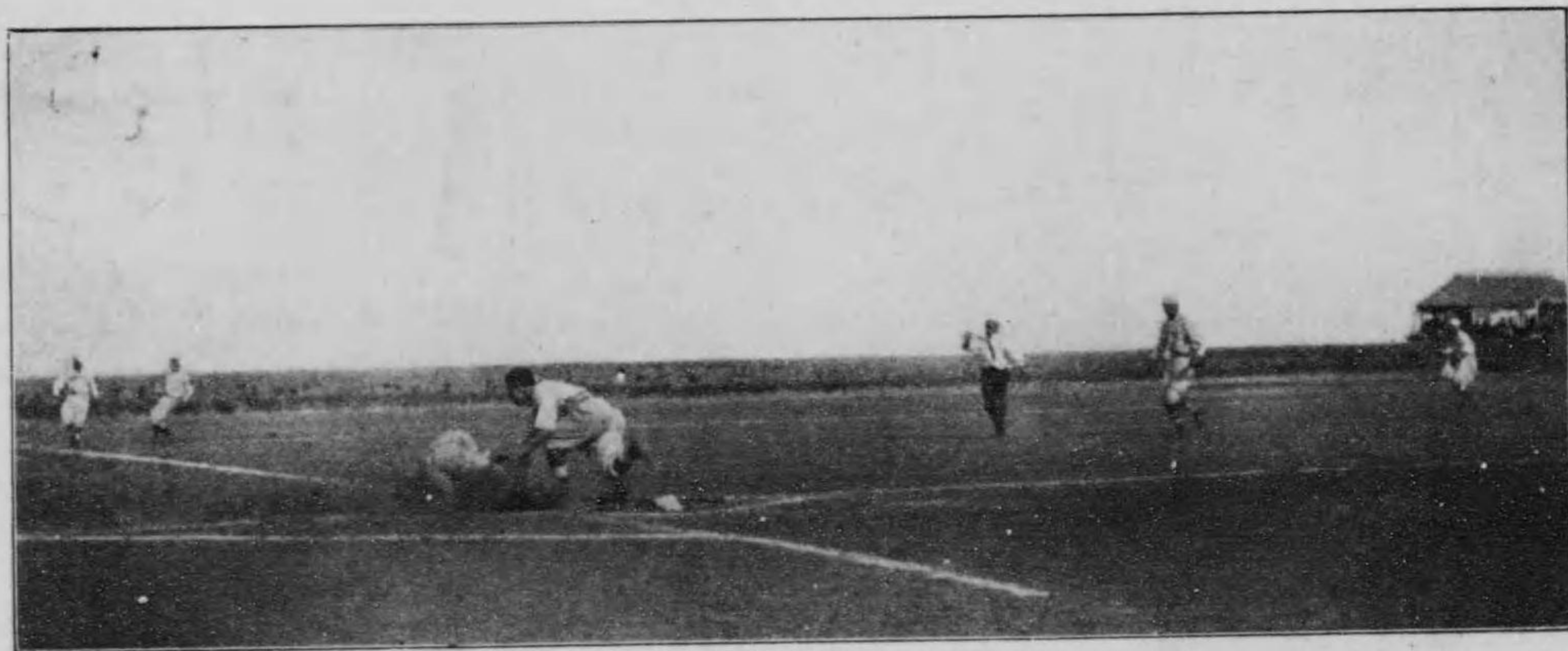






(2) 朝來の團軍陸全拉尼麻

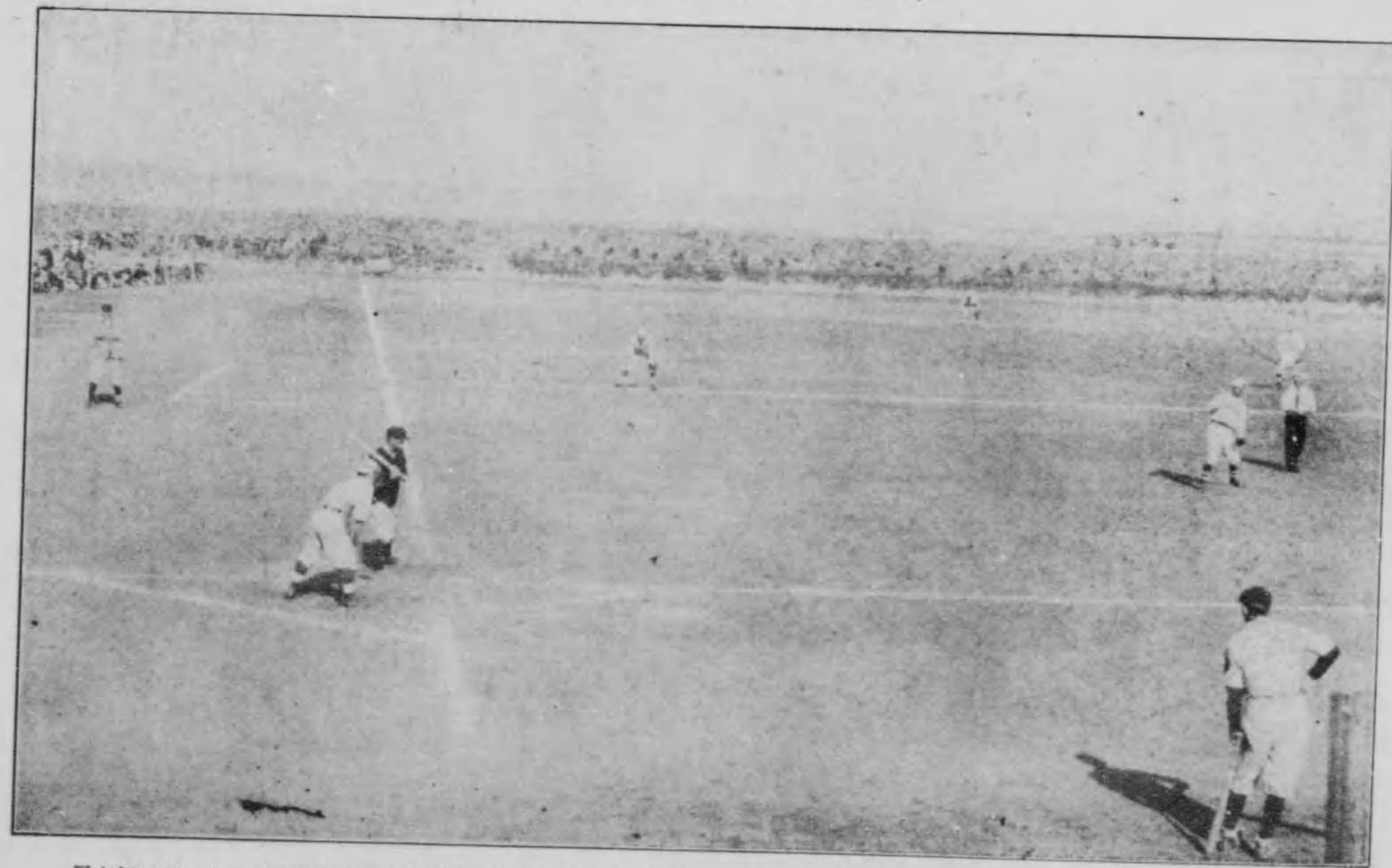
◀月五四年五十四治明▶



本山(3B)、原(2B)、井大(1B)、口山(C)、山小、野萩(p) は1バムメで井大は將首の時當の此。るあで景光の戦回二極早は固  
るあで君諸の田増(RF)、土福(CF)、橋入(LF)、神三 SS)

(1) 朝來の團軍陸全拉尼麻

◀月五四年五十四治明▶



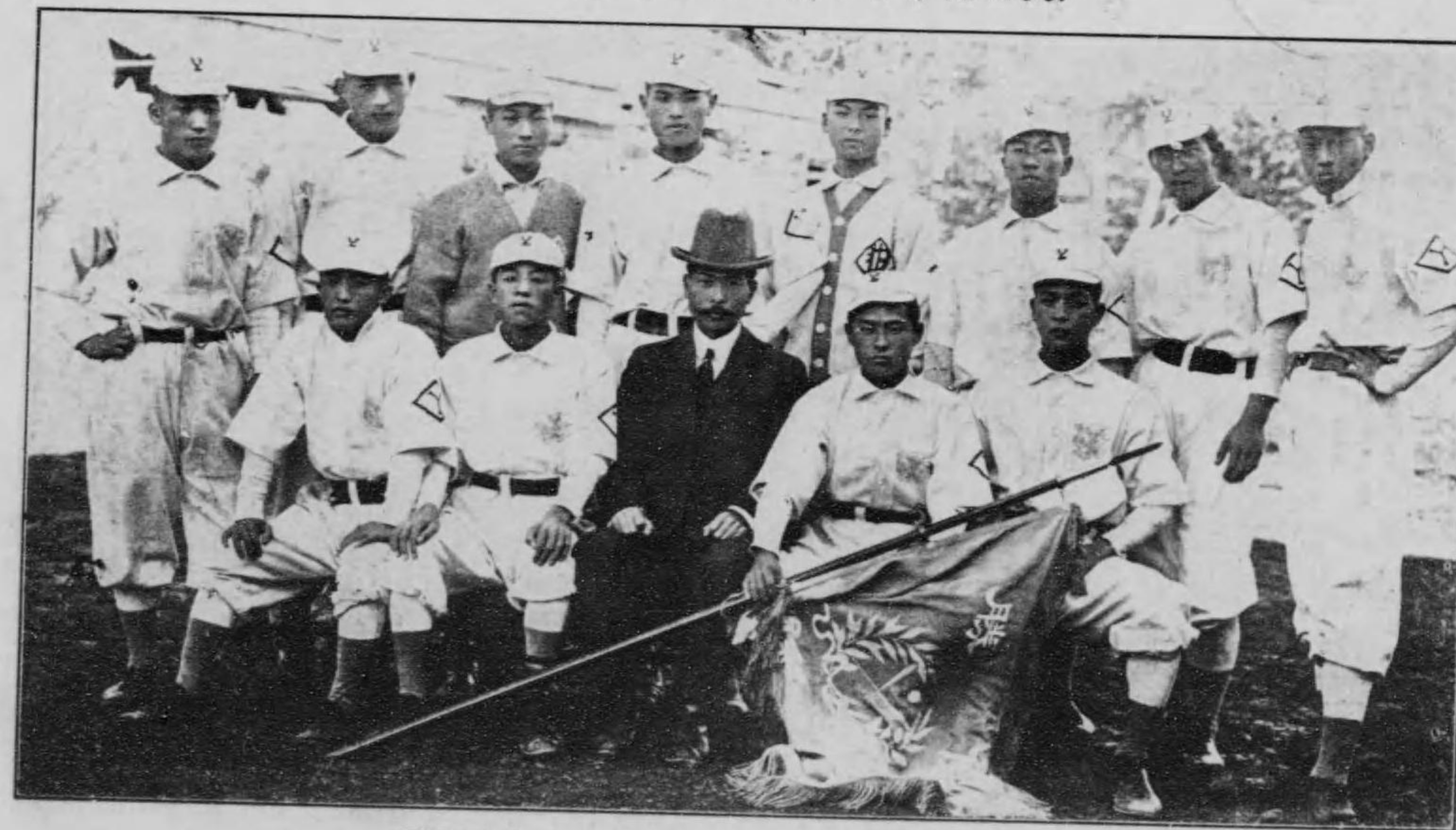
冒き招にドンウラグ田羽を軍麻るせ聘招の應慶め爲たしを議決の事るざた立に揚動運一同と軍慶は備大早リよ題問活復戦慶早  
敵手投で戦回一第は固も即。たし辱雪てし殘を録記の。對二事美は欠がたれ敗。以を四野五はに戦回一ひ感に下の僅1界世珍  
るあで君諸の田勢伊官判審、橋入翼左、神三擊遊、本山疊三、口山手捕、野



欠

(1) 代時盛全の業商濱横

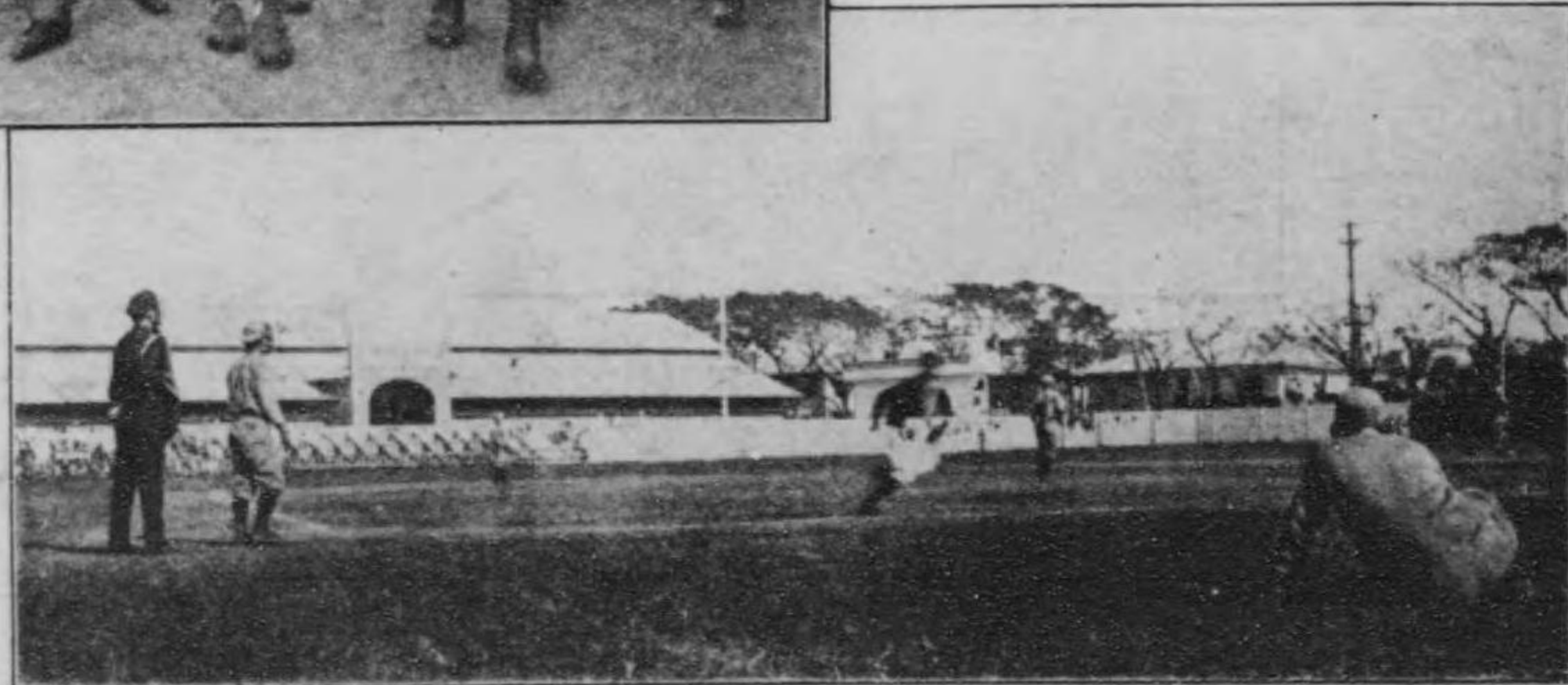
◀てま年三二同りよ年元正大▶



(手堅中)神石(手壘二)田打・長部野唯(手擊遊)藤加(手投)口山(りよ右てつ向列前)  
(手壘三)藤遠(手捕)井平(手翼右)井増(手壘一)田増(手投)森明不(欠補)村中(手翼左)下宮(同列後)



(2) 征遠拉尼麻の學大治明  
◀月二一年二正大▶



景光の戦奮は圖下 行一るす列參に式場入は圖上

欠



る來團球野賓律比全

◀旬下月五年二正大▶



上圖は五月廿日の對橫  
商戰の光景、下圖は五  
月廿一の對早大二回戰  
に勝つて大喜びの有様  
である。が同軍の全職  
蹟は早大に一勝したの  
み後は七敗といふ情け  
ないものであつた。

(1)る來團球野賓律比全

◀馬下月五年二正大▶



同は圖左行一るけ於に前ルテキ京くる大宿旅は央中であつたし朝來てに應に聘招の部樂俱者記動運京東  
るあで景光の戰大早對は圖下、り振球始の長市京東谷坂るけ於に台試

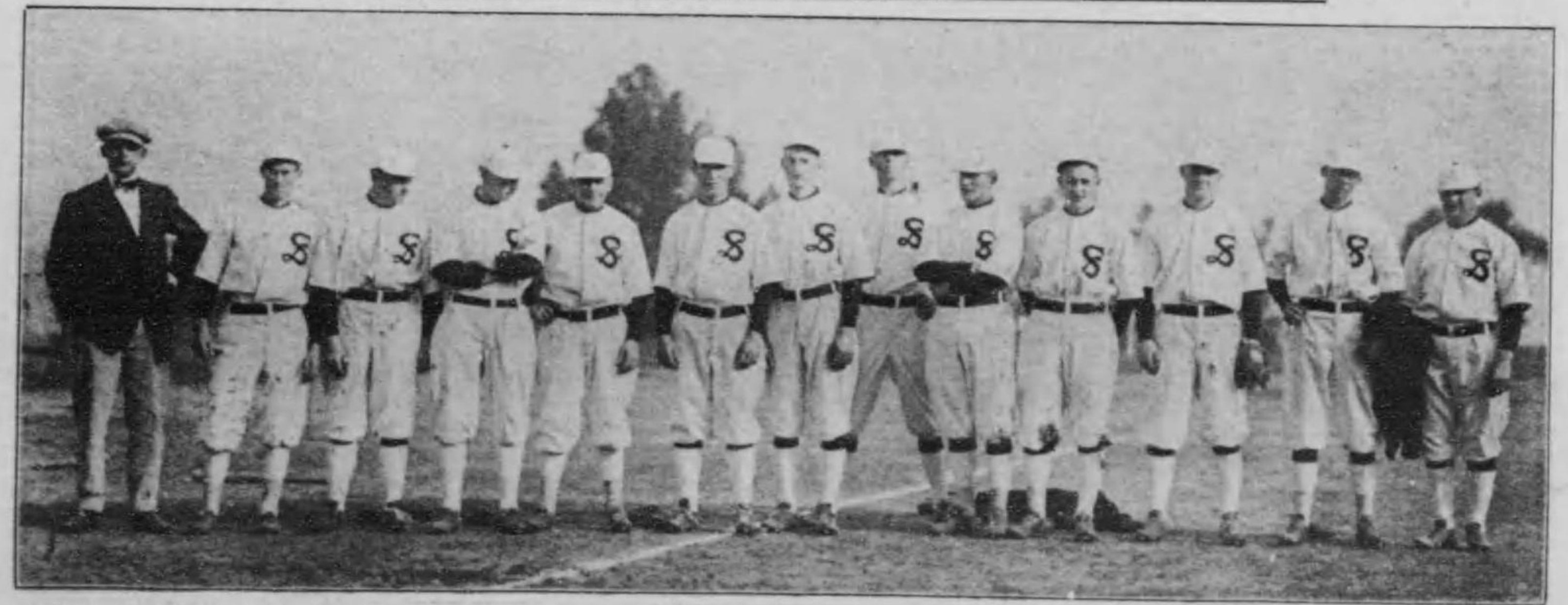


(2) 襲來の學大ドーオフンタス  
◀月六りよ旬下月五年二正大▶



るあて景光の撰紛たつ起らか明不度幾の賽壘山小るけ於に目回九第戦回一第慶斯は圖

(1) 襲來の學大ドーオフンタス  
◀月六りよ旬下月五年二正大▶



大斯は下。開賽の手捕宅三るけ於に戦勝決慶斯は上の圖。たし朝来てじ應に聘招の應慶は學大スるゐてれら知てしと雄の米北  
(S)ーデ(3B)ーキスログツマ(C)トシデ(CF)ドイラブイガーア(P)ルブイメ(S)クツヤジ(P)レダ(2B)スツカリよ右で手選軍  
(チーゴ)ーターヒ(3SS)ーリテ(LF)ムーハ(1B)シメグーオウ(RF)ーカツヒ



# 欠

(3) 襲來の學大ドーフンタス  
◀月六りよ旬下月五年二正大▶



け於に戦國四度對の日四十月六は圖下。圖首會協勳運本日戸橋は者走てつあで景光の戦門稻對の日二十月六は圖上  
。るあで那利一に込込りたへ壘一が君演高で景光るけ



(3) 朝來の軍日渡回二第學大頓盛華

◀ 旬 中 月 九 年 二 正 大 ▶



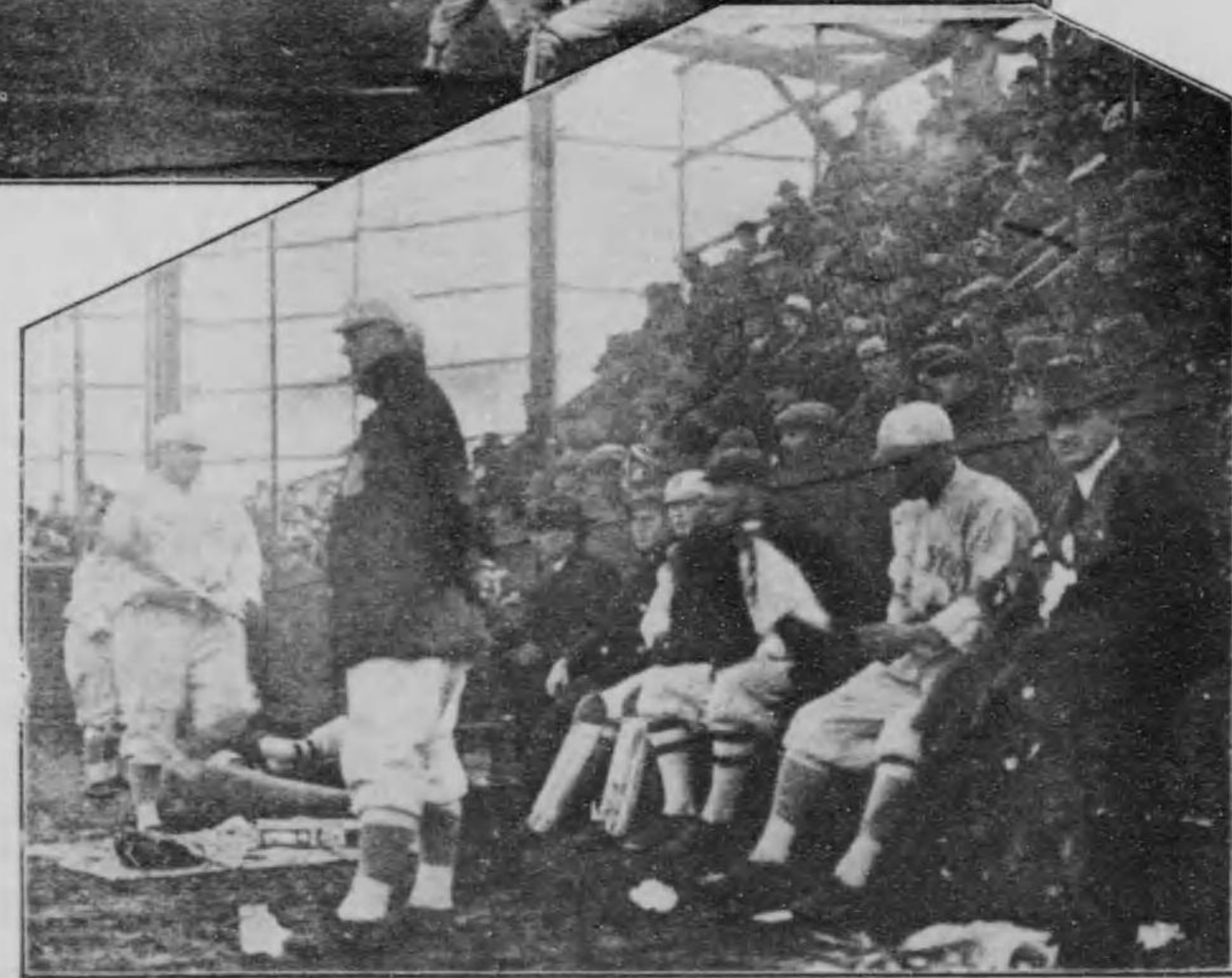
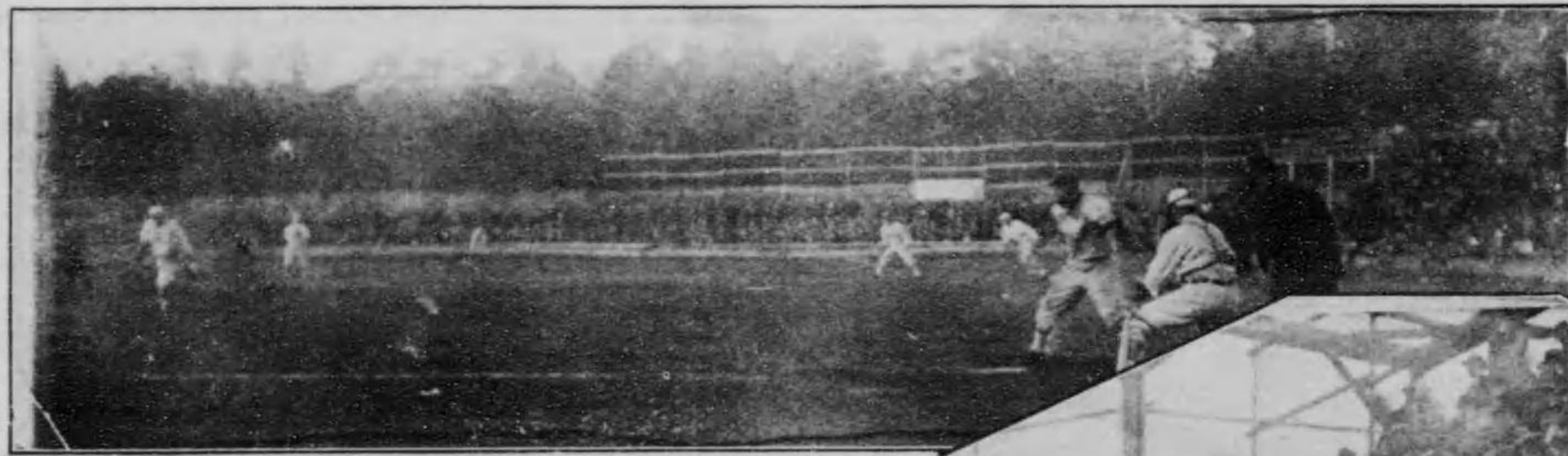
下手選大早長福は春壘 手擊遊澤中は「ヤチー」 手投村中の大明は者せで景光の戦回一 大明對の日三十月九は圖上  
 。將首頓普應慶がのるゐてけ受、るあて景光の呈贈束花るけ於に戦回一應慶對の日四十翌は圖

欠



### 朝來の團球野遊週界世

◀旬下月二十年二正大▶



米國一流の職業野球團として知られたナショナルリーグの紐育巨人軍及びアメリカンリーグの市俄古白香下軍は世界週遊の途次我國へも寄つて四五日暮した團の上は市俄古方のトリス、スピーカー（現クリブランド所屬）の打撃振りて下は紐育方のベロン下團の最前部にスエッターを着て立つてゐるのが有名な巨人軍の監督にして小ナポレオンの稱があるデモン、マツグロである。

### (4) 朝來の軍日渡回二第學大頓盛華

◀旬中月九年二正大▶



るあでカルジ手最一、技藝者走、ンマトーK手投りよ右てつ向てしに景光の戦華明るけ於に阪大



(1) 征遠國米回二第塾義應慶

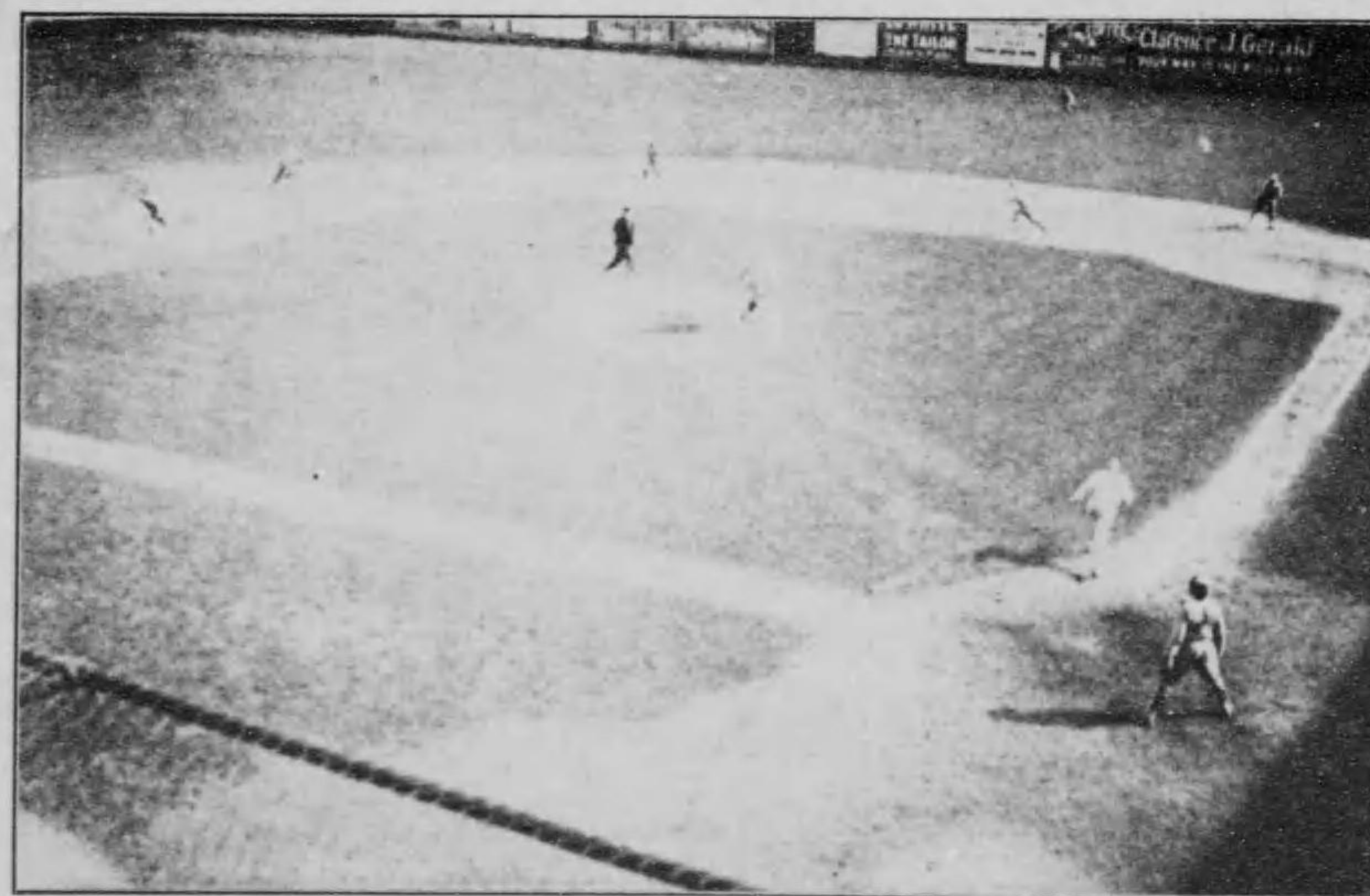
◀日八十二月三年正大▶



る蒙を評不夫てつ寄に味布途歸、ずらかしは思續成もるせ未渡てじ應に聘招の學大ドーナフンタス  
探富、々佐、元腰、島君、森、督監招平、川石、部阿、宅三、瀬管、本覆りよ右てつ向、行一の長出驛橋新は園上  
行一るけ於に州加は園下、野岡、濱等、田太

(2) 球野の人賣商國米

◀だのもなん盛に實▶

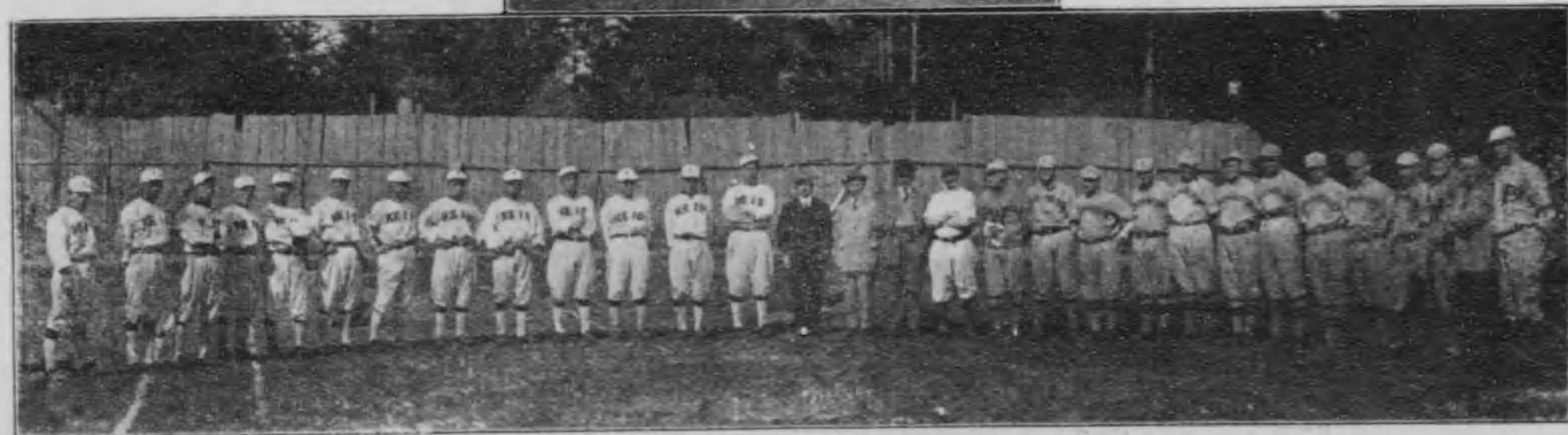


(ガルトヤシはドレウラダ)合試のーバークンへ對ル ヤシにた:グーリ流二



(3) 征遠國米回二第の塾義應慶

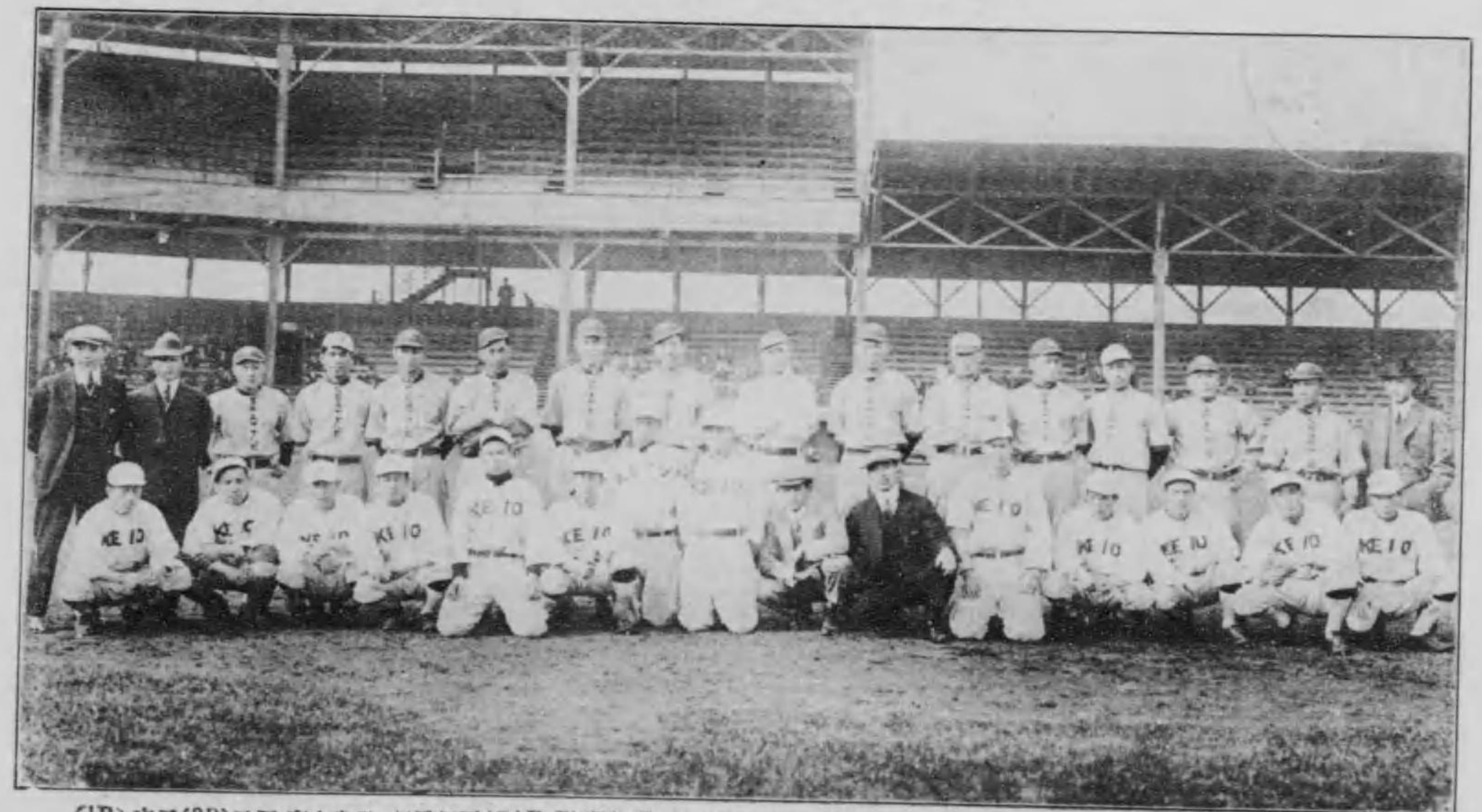
◀月七.六.五.四.三年三正大▶



○影撮念紀の手送學大兩は圖下・景光の戦學大メントンレト對は圖上

(2) 征遠國米回二第の塾義應慶

◀月七.六.五.四.三年三正大▶

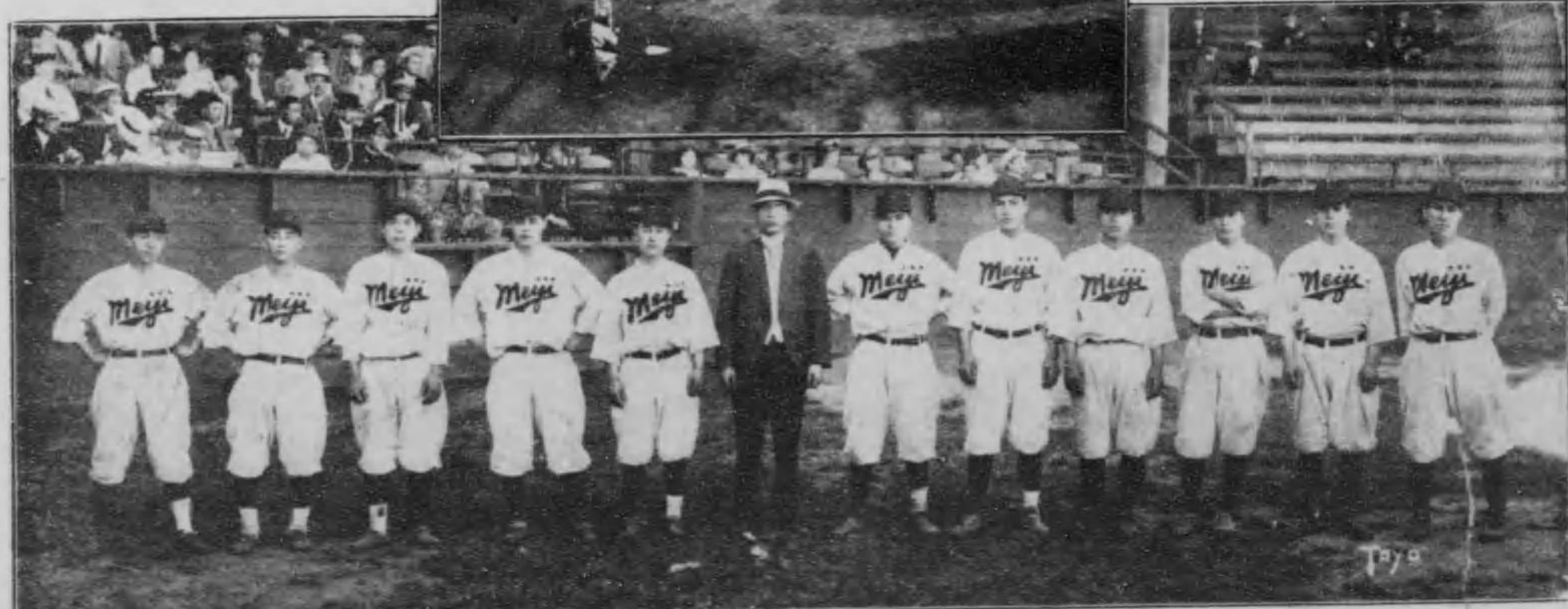


(1B) 宅三(3B)元腰・事主島君・督監沼平(CAP P)瀬菅(S)本榎(P)川石(CF)樫富(P)田太(リ)右列前)影撮念紀のと軍本日市沙  
染(P)イニドカ(CF)木庵(LP)野高(LF)木鈴(3B)瀬吉・督監齋牛(列後)(B)部阿(C)濱高(C)井平(RF)・佐(SS)森(LF)野岡  
君諸の茂丸・本藤(3B)山小(C)田島(P)倉米(CAP.SS)村木(1B)坂宮(S)本權(RF)



(1) 征遠國米の學大治明

◀日七十月六年三正大▶



はのたしは現を績成好々且之保を目而の其くよ闘奮がたつ略に難国大し未波てれか狀二名美ふいと聘招のりよ學大ントンゴロ  
釋大(P)村中(LF)川原(B)田池りよ右行一るけ於にルセンサーロは圖下。戦日朝市沙對は圖上。めらなげけなは云と、豪  
(C)枝藤(CF)村 (Cap. 1B)瀧 (LF)島中 (SS)澤中 監督竹佐(C)塚老海(S)野淺(P)

躍活の軍本日市沙

◀月五四年三正大▶



合試のと部樂俱ントンモドエのグリーニアデナヤキ對は圖上。たつ戦と軍入白にん盛てしと習練の萌朝來  
るあて手壘三山小は者打で合試のと軍トツレベエのグリートリスは圖下。手投野高は者打で

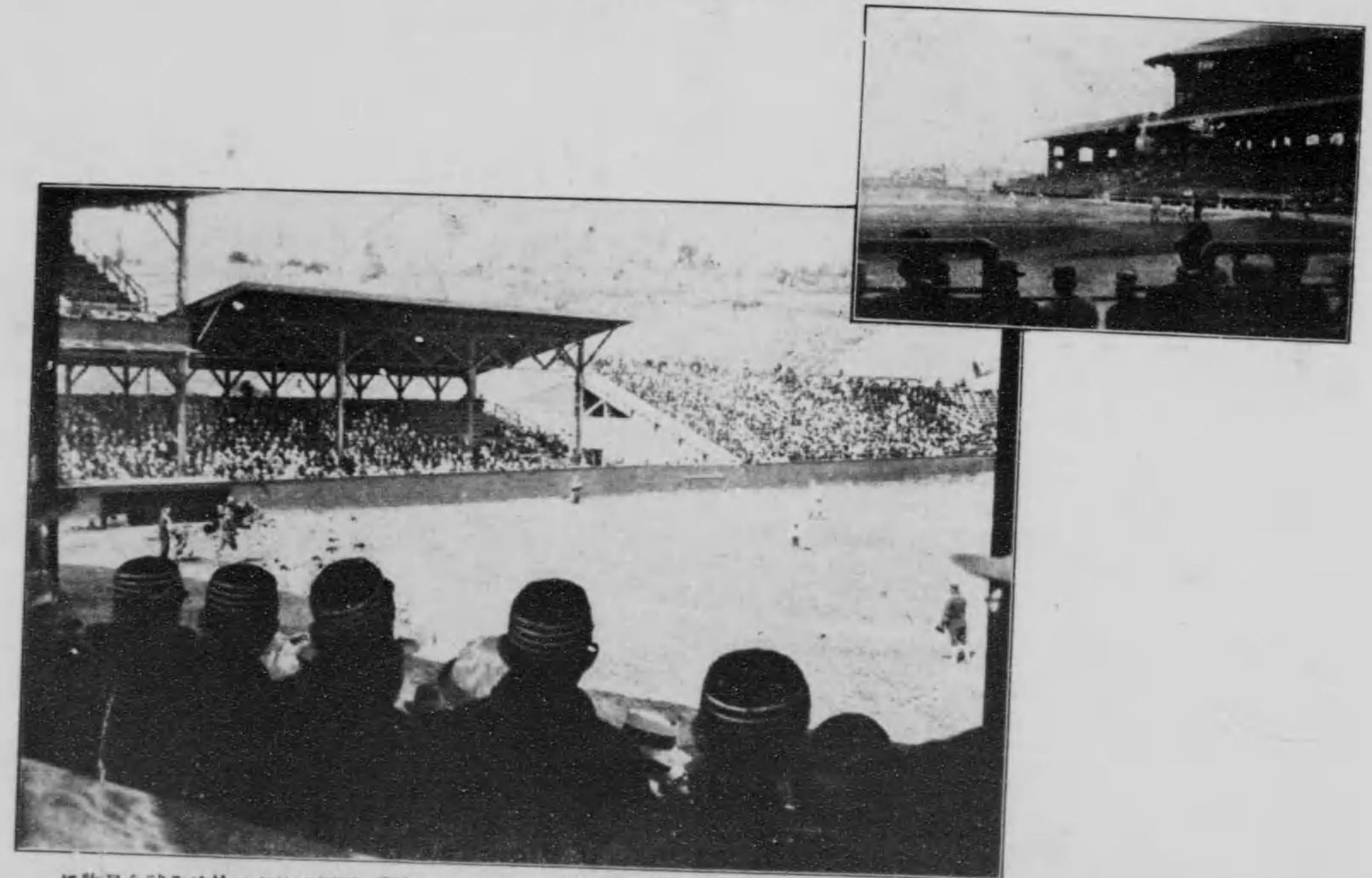


(3) 征遠國米の學大治明  
◀月九八七六年三正大▶



にドンウラグスクツサトイワホは左圖上、手擧遊澤申るけ於に上車動自告廣の合試は右圖上  
。行一るけ於に會迎歡の軍本日市沙は圖下。行一るけ於

(2) 征遠國米の學大治明  
◀月九八七六年三正大▶

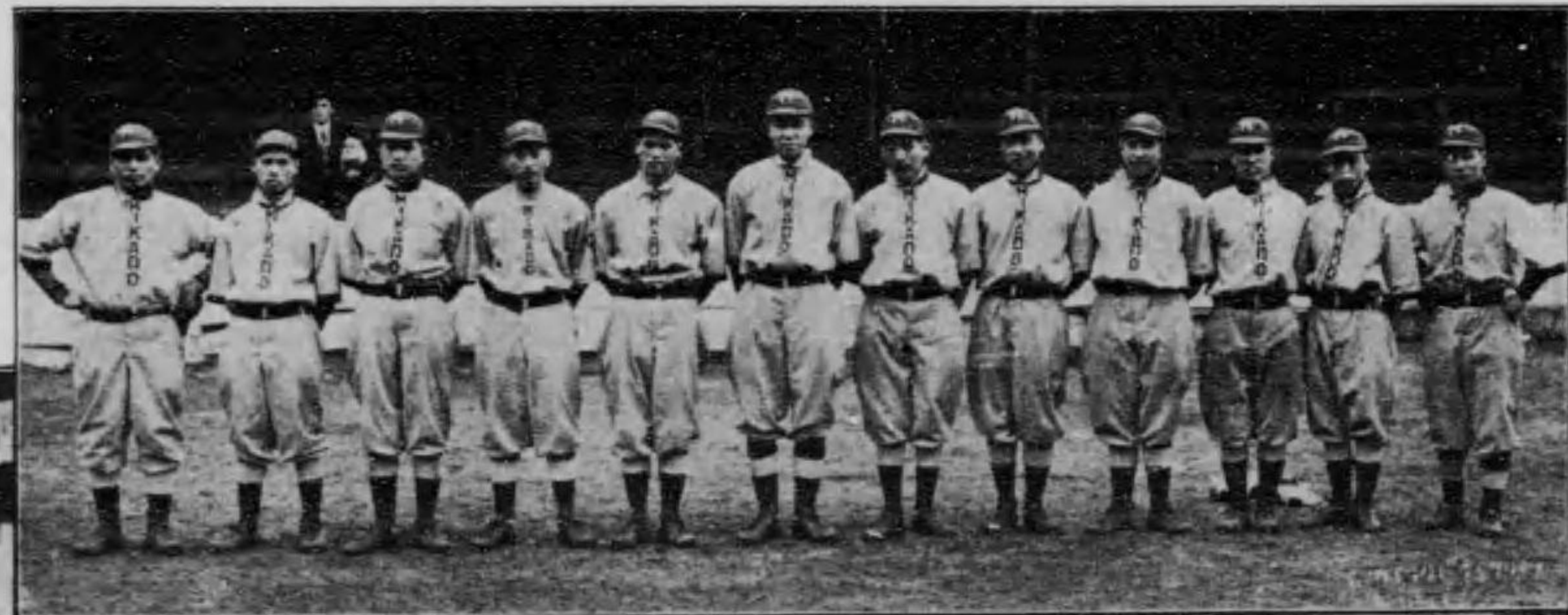


に物見合試るけ於に市沙は圖下、擊打のイヨテラるけ於にドンウラグスクツサトイワホは圖上  
行一いな念餘



### 在米同胞の強野球團

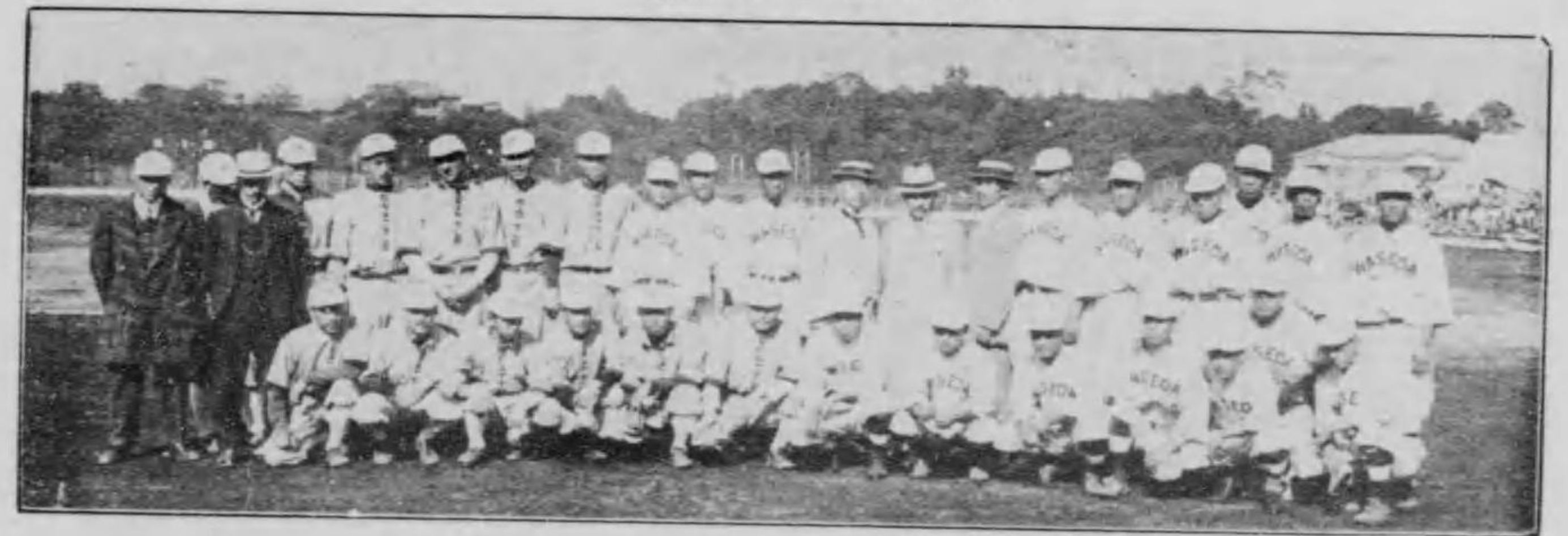
◀しなり變もし少も昔も今▶



部樂俱日朝同が同下、部樂田登香美市沙が同上

### 沙市日本軍の來朝

◀月九年三正大▶

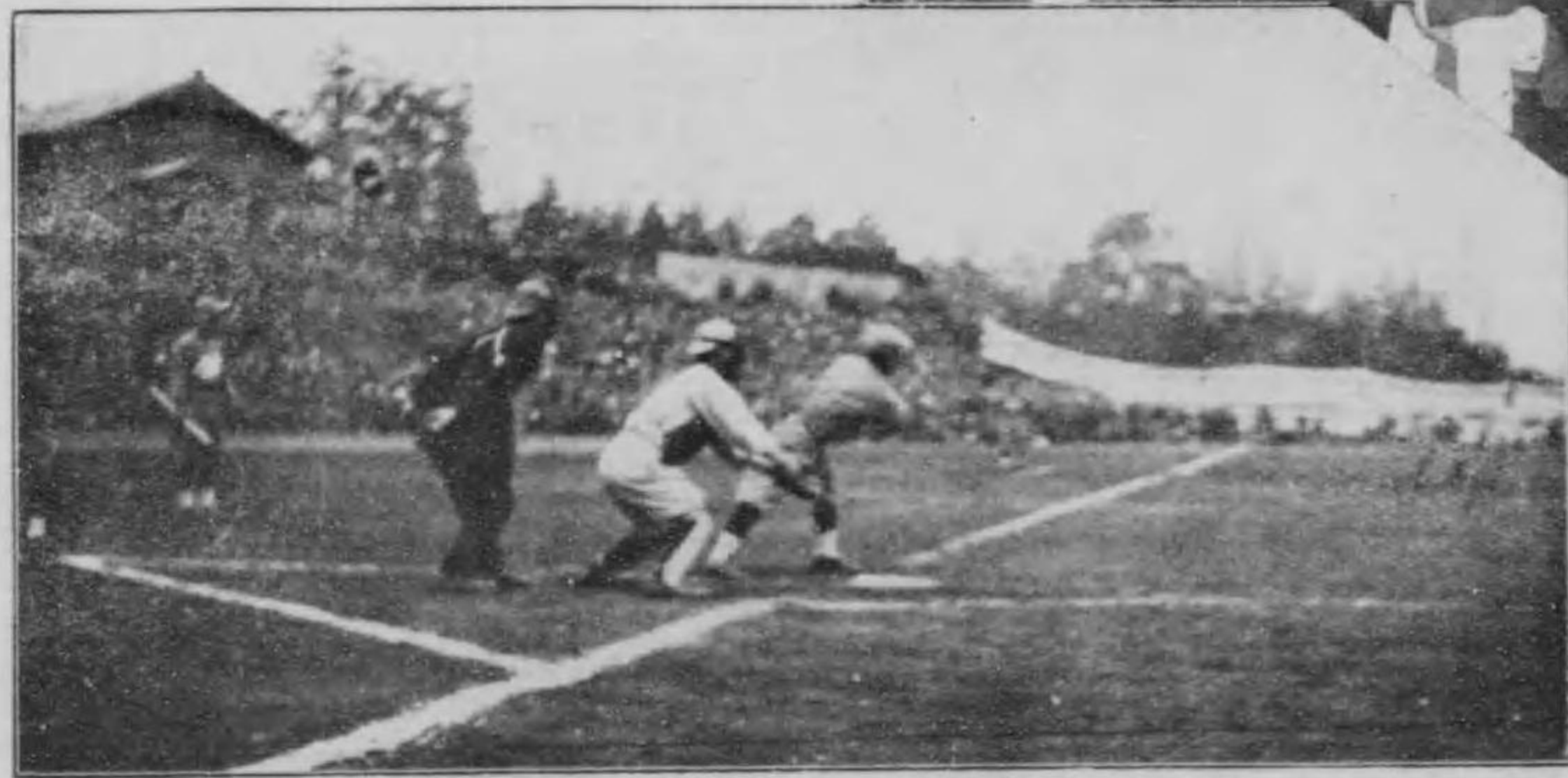


學大兩慶早、朝來てし換をルケンエ、ゲーヨテ手投人米は軍本日市沙、れち知てしと雄のムーイチ監同本音  
下、影撮念紀の軍兩沙早、同上も即、たし米歸てし残を續成の、引敗五勝二の戦と並榮出兩田、門益が及  
るあて景光の戦回二大早對は圖



### 戦勝決明早ためしせ狂熱を衆観

大正四年五月九日



勝決日同くむ止りなと勝もれ何の明で一對三は戦回二、大早で四對五は戦回一、てつあて代時瀬高は大明、沼淺は大早  
監中村山の大明は者打で景光の合試と衆観るせ狂熱に戦勝決は圖。るなと勝の軍早て以を差大の四對十果結たつ行を戦  
るあて將首濱高の應慶は官判審、君岡市の大早は手捕、手

### るさ 蹋蹂に 遂臺田三

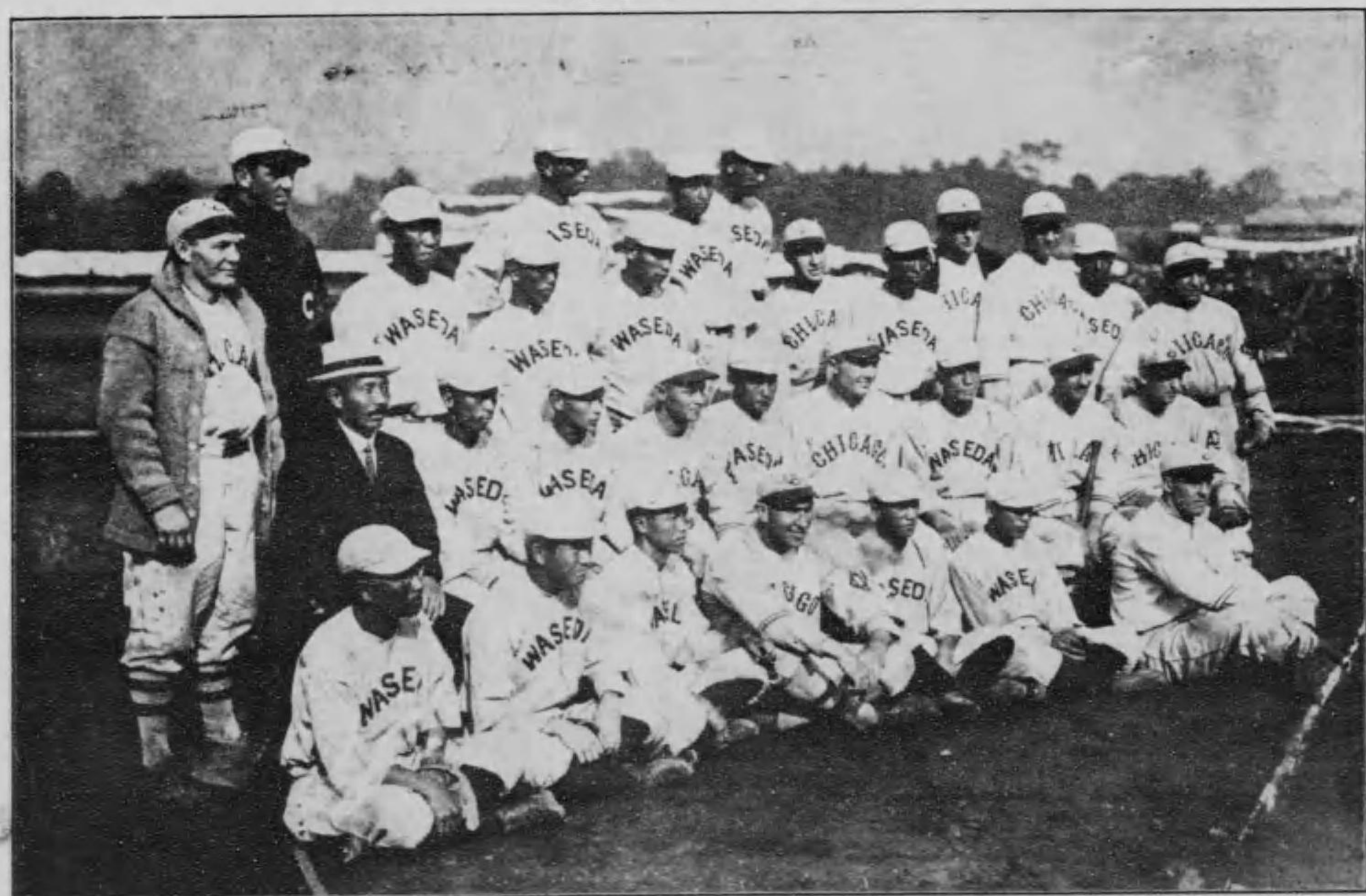
大正四年五月八日



走の高一は圖上、たつ破に事美を軍慶で三對四に逢てつ興を台田三は軍高一る鳴て以を痛の氣意  
るあて問瞬たし打杖へ翼右が田若の高一は圖下、那判だん込り滑へ鼻本が者



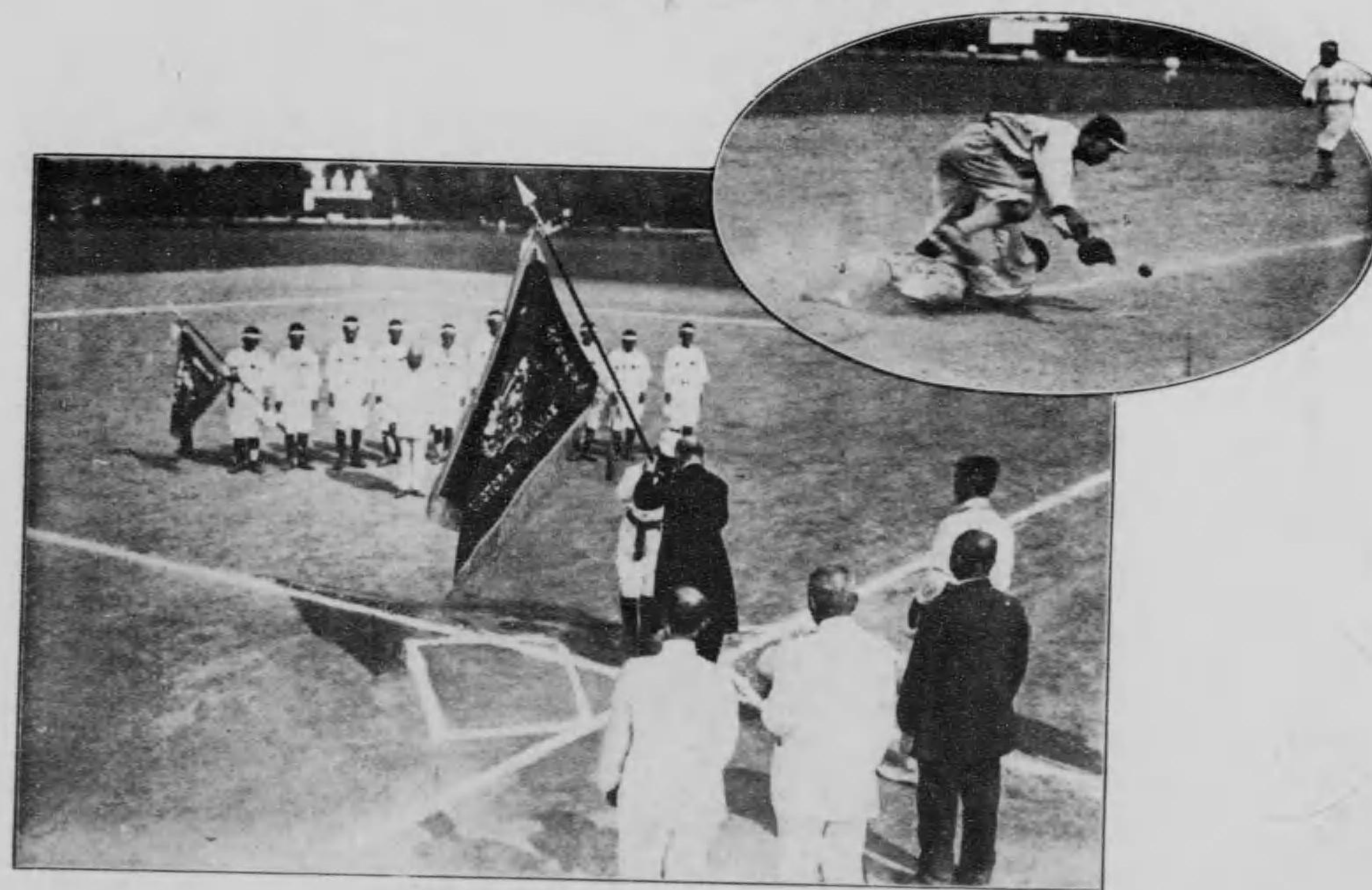
(1) 朝來の軍日渡回二第學大古俄市  
◀月十九年四正大▶



早稲田大學の招請に來朝する。早稲田大學選手の手記に於ては、即ち。早稲田大學選手の手記に於ては、即ち。早稲田大學選手の手記に於ては、即ち。

上野市は二回戦下は早稲田大學の戦光の景

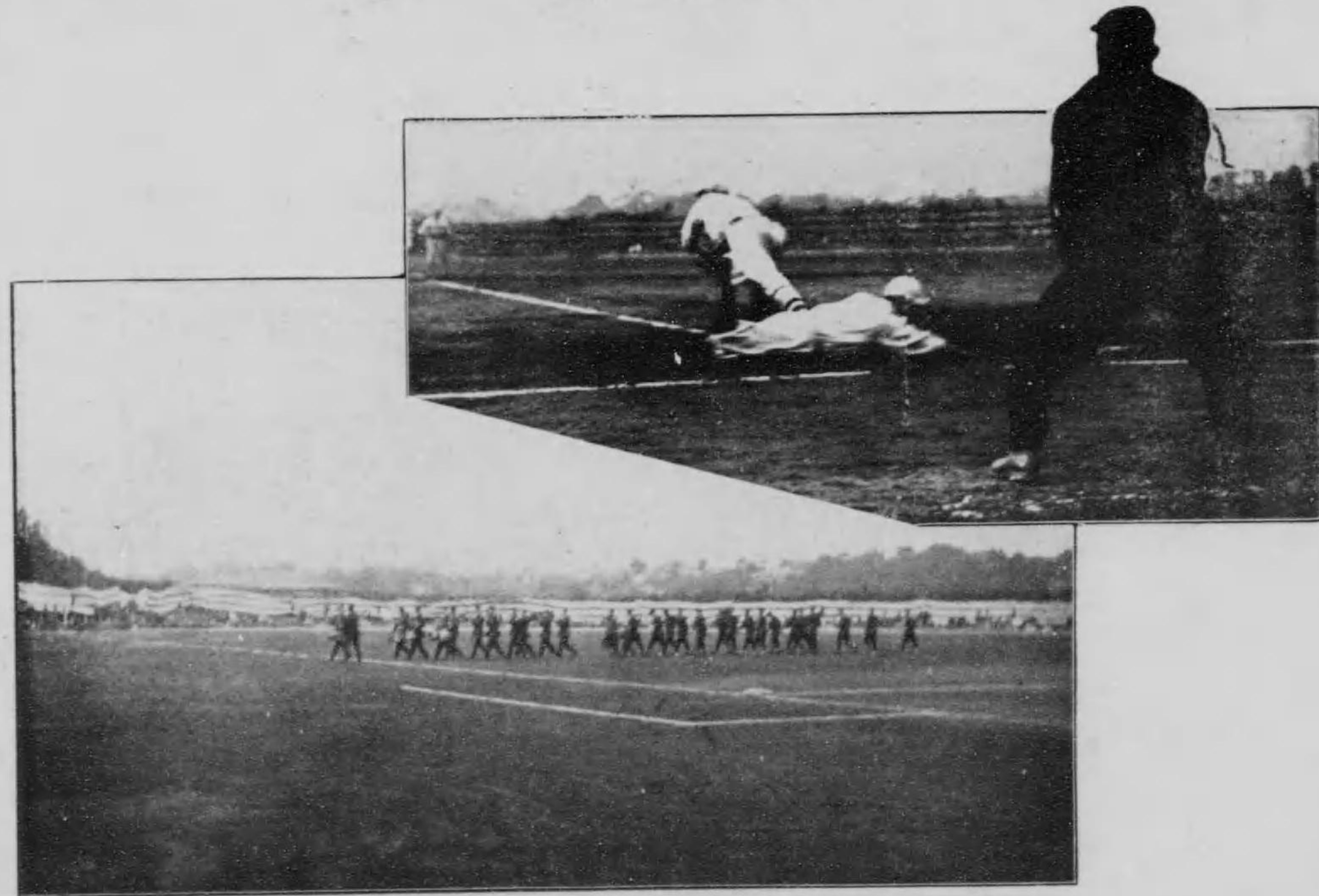
全國中學爭霸戰の壯觀  
◀月八年四正大▶



優勝旗の授與と試合の光景

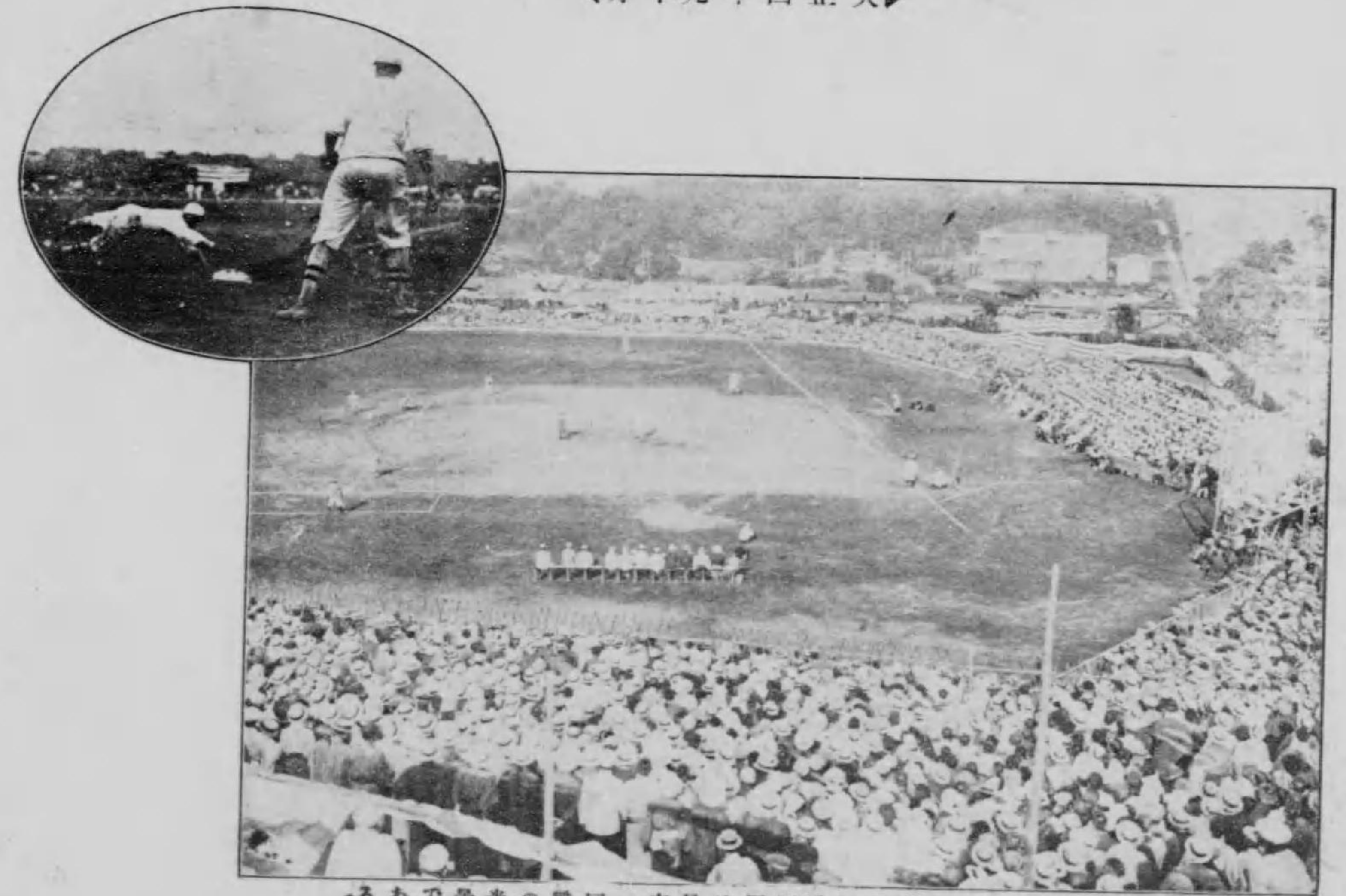


(3) 朝來の軍日渡回二第學大古俄市  
◀月十九年四正大▶



るあで場入の軍應慶は圖下。闘奮の手堅中越るけ於に戦回二市早は圖上

(2) 朝來の軍日渡回二第學大古俄市  
◀月十九年四正大▶



るあで景光の戦回一市早は圖下戦回二慶市は圖上



(3) 球野の人賣商國米

◀だのもなん盛に實▶



列行傳宣ふ行に前のンブトツ

(4) 朝來の軍日渡回二第學大古俄市

◀月十九年四正大▶



るあで那利一たへ備にルウアフが手捕應慶井平るけ於に戦回二第市慶

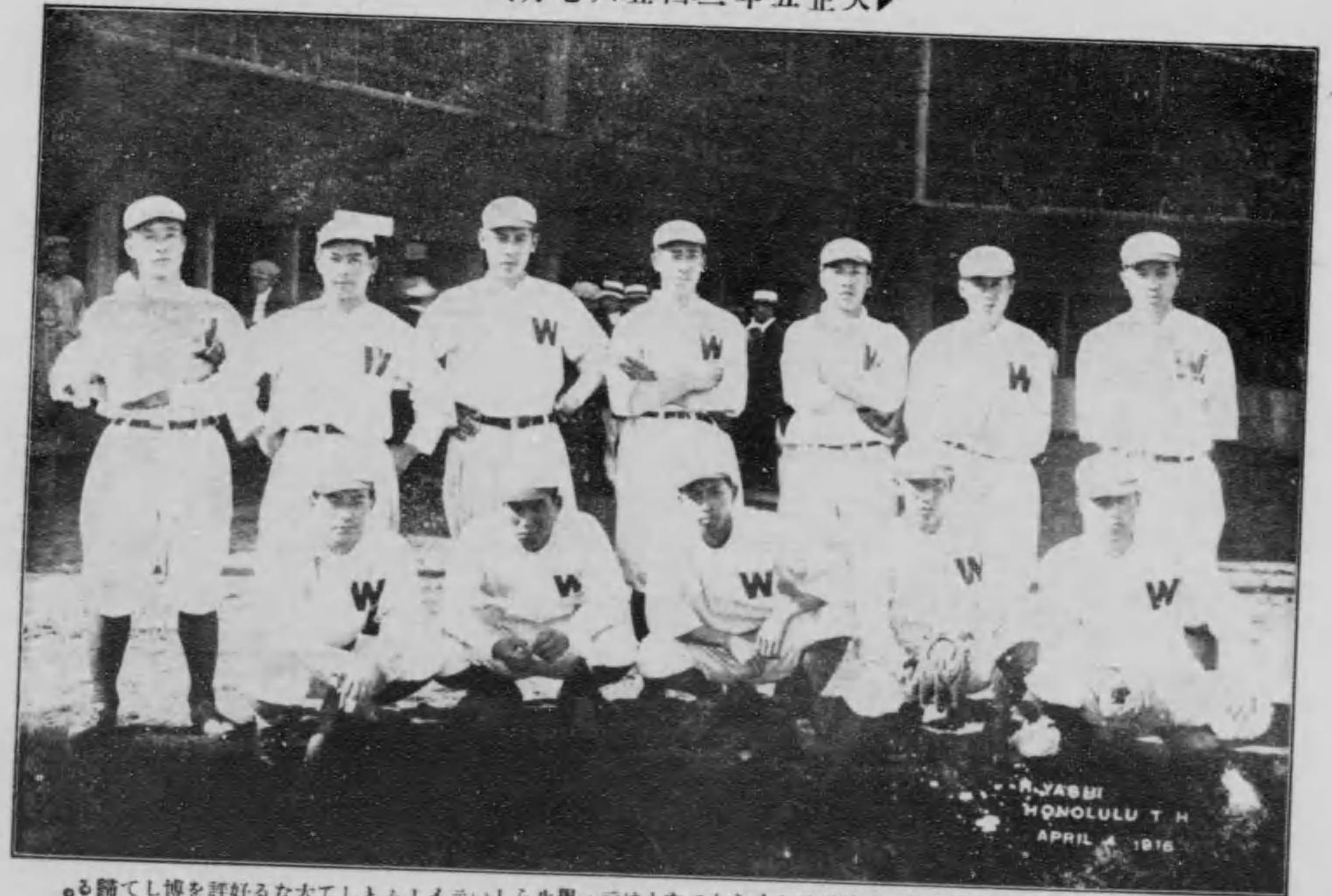


(2) 征遠國米回三第の學大田稻早  
◀月六五.四.三年五正大▶



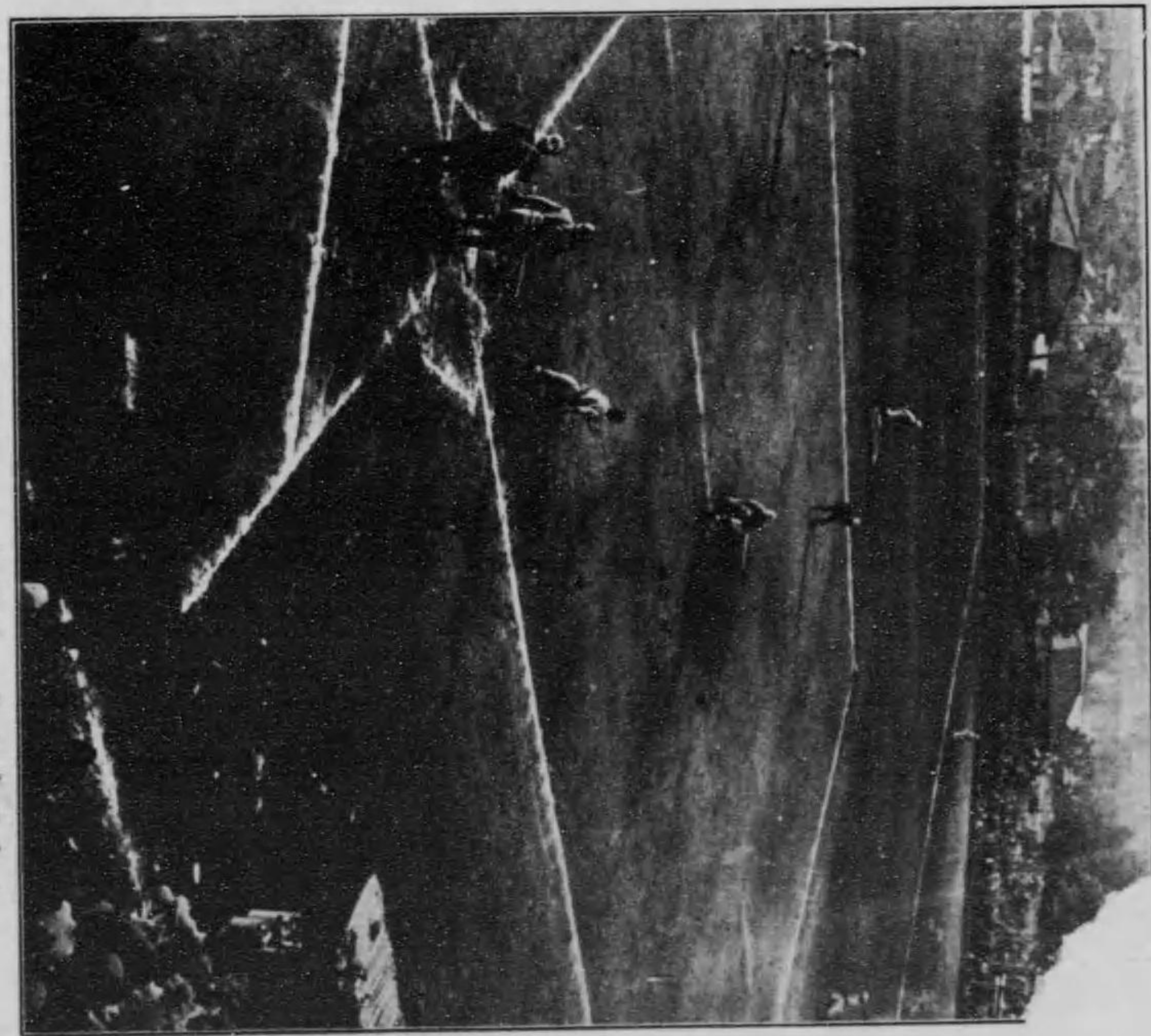
古俄市製は岡下氏諸の岡市.山横.島川.藤伊.井白.趙.井花.藤加.島笠らか右で行一るすとうやし發出を驛京東は岡上  
。るあて景光の戦回一學大

(1) 征遠國米回三第の學大田稻早  
◀月七六.五.四.三年五正大▶



る歸てし博を評好るな大てしとムイテいしら生學へ云はとたつかなくしは思頼成の其未渡てじ歴に聘招の學人古俄市  
稻淺 (SB 伯佐 (C) 井白 (CF) 趙 (2B) 島笠 (1B) 井花 (列後) (SS) 藤加 (C) 岡市 (P) 岸 (P) 藤伊 (P) 島川 (リよ右てつ向列奇)  
(LF) 山横 (Cap. RF)





もわで景光の戦阿一應慶封の日九十はれこ

(1)る 來軍易路聖哇布  
◀月十年五正大▶

三 高 遂 に 雪 辱 す  
◀日五月四年五正大▶



連敗の三高は遂に六對五に一高を破つた  
編は共に阿試合の編演である。







# 戦高三對高一るけ於に都京

◀日六月四年六正大▶



圓の上はグラウンドの光景である  
下は試合の光景である



る蒙な敗大の二對二十は振高一てしに陣初の手投怪村内れこ

# (4)る來軍易路聖哇布

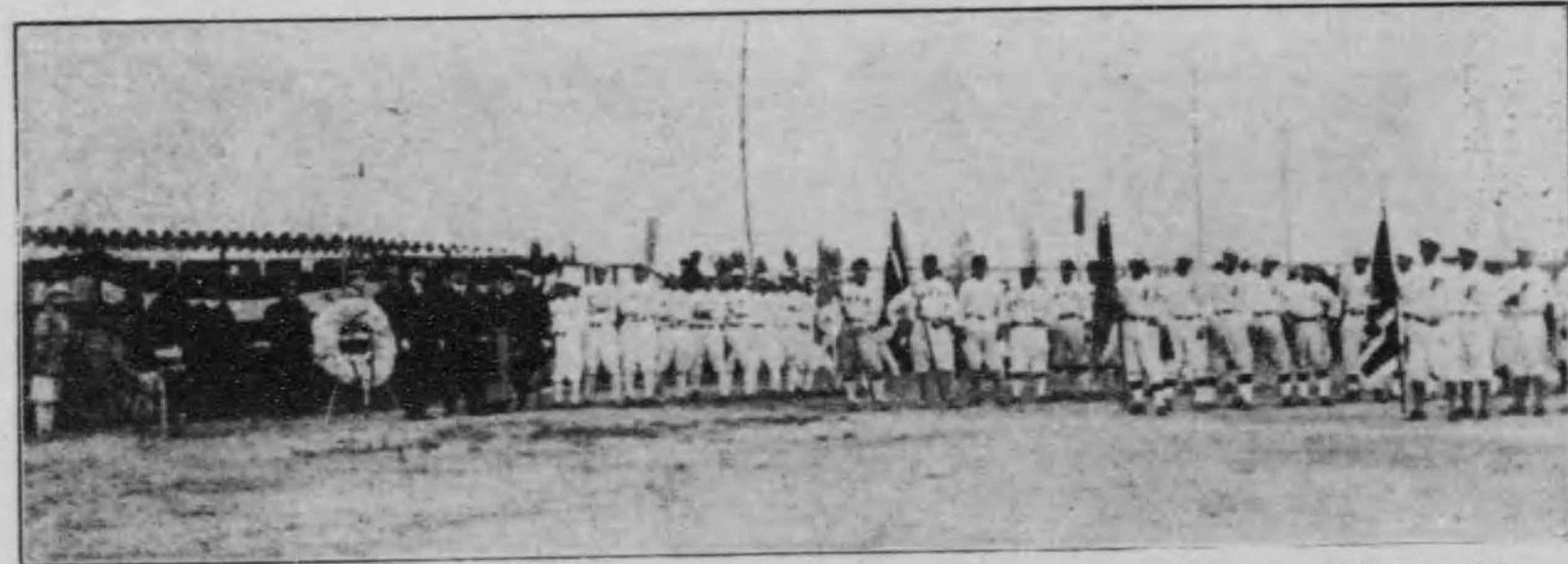
◀月十年五正大▶



たし選生が墓安にトンベの澤大ち即。たつ破を軍布に事美て以を五對六で眞宮の時たつ戦と軍布が大明進新は之  
。るあで景光の那利

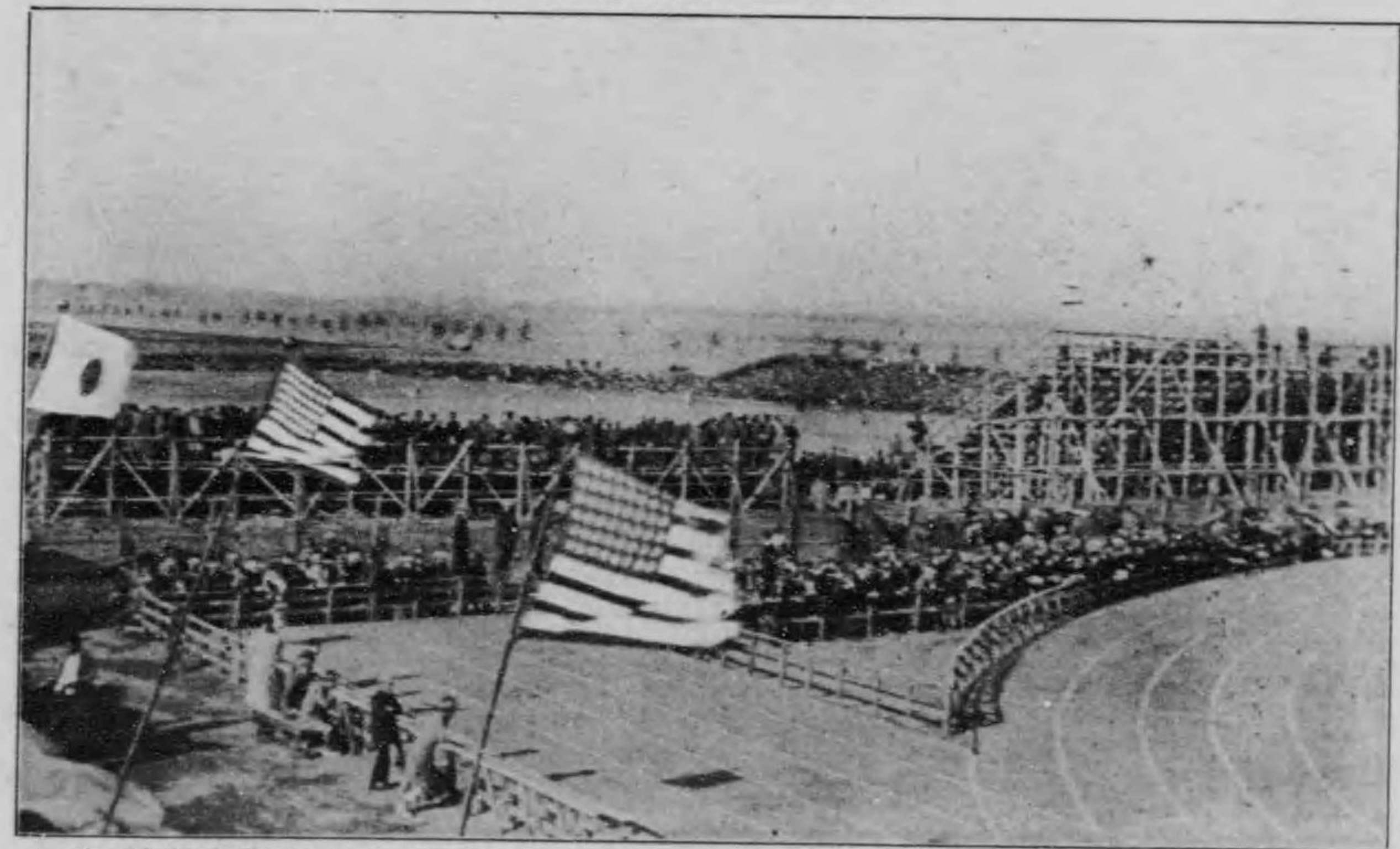


戰 覇 争 團 球 野 業 實 國 全  
◀ 月 五 年 六 正 大 ▶



ツカが將首藤加の屋田増者勝優は上の圖。たし勝優に事美が屋田増の戸神同結がたれさ行舉て於に阪大  
。式橋入のムイテ加參は下。景光るゐてつ貫をブ

る 握 を 權 覇 の 會 大 技 競 東 極  
◀ 日 九 月 五 年 六 正 大 ▶



破に三對四初最の戦と軍賓律比者表代の島比日同。は學大田稻早たし勝優事美に選豫の會大技競東極  
の時此てつあて望遠の戦回二第同は圖。たし得獲を權勝優の東極に達てし蹴一に零對二又てい續。り  
島中(RF) 伯佐(SB) 田池(2B) 土井(1B) 藤加(SS) 岡市(C) 藤伊(本橋、岸 P) は 1バムメ 藤加は將首大早  
。たつあて君諸の松高(LF) 田飯(CF)



### 征遠州滿の學大田稻早 ◀月七六年六正大▶

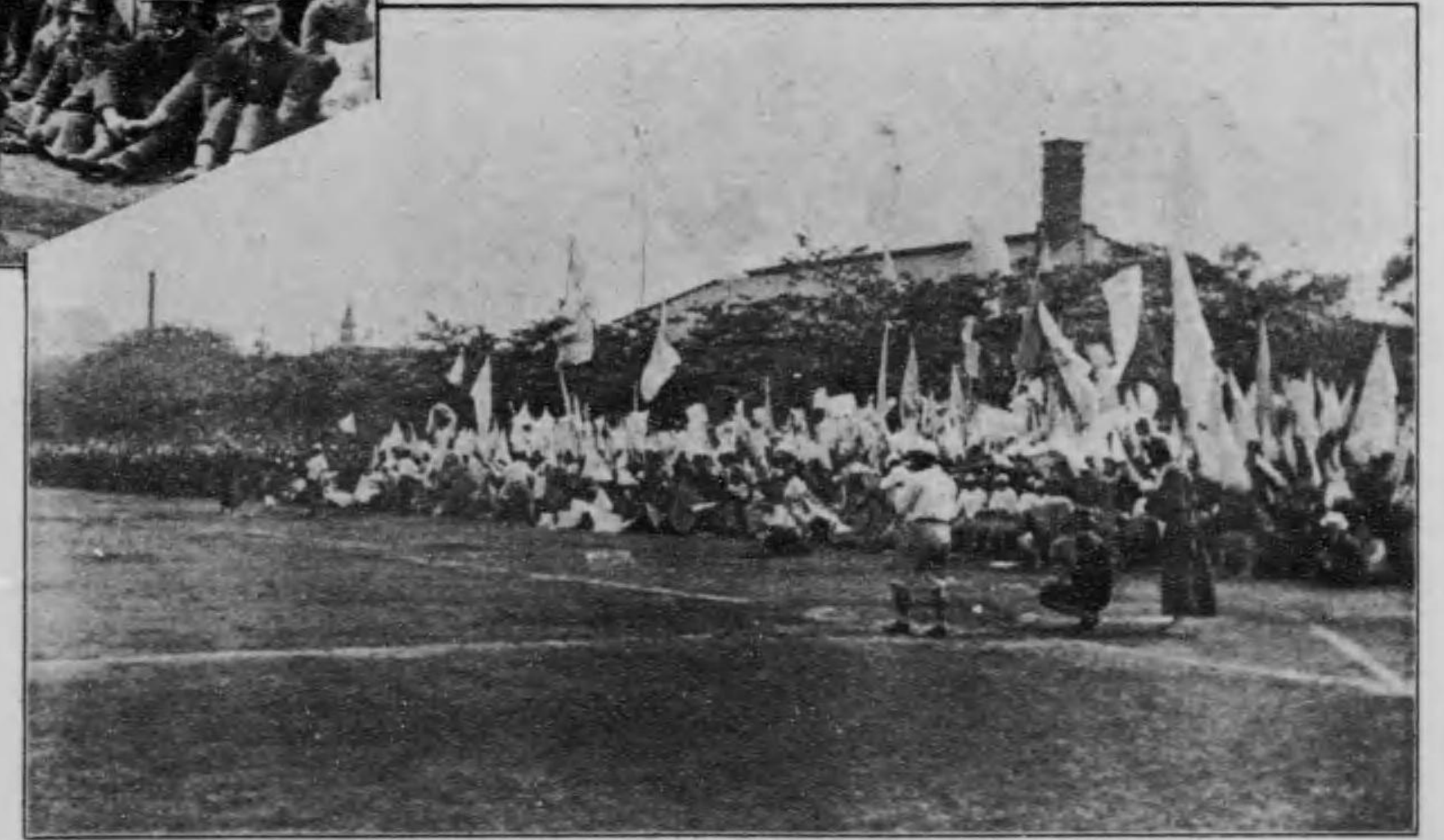


滿鐵の招聘に應じて渡滿したる一行は到る處に大歓迎を受けたと同時に成績は八戦八勝といふ美事なものであつた。上圖は熱心な大連の見物人下圖は朝鮮銀行前に於ける一行。



然して其のメンバーは首將が市岡君であつてP橋本、澤、伊藤、C市岡、B矢部、B坂野、3B井土、SS池田、LF高松、CF飯田、RF中島、S+野宮水であつた。

### る成に事美辱雪の軍慶 ◀日五十月五年六正大▶



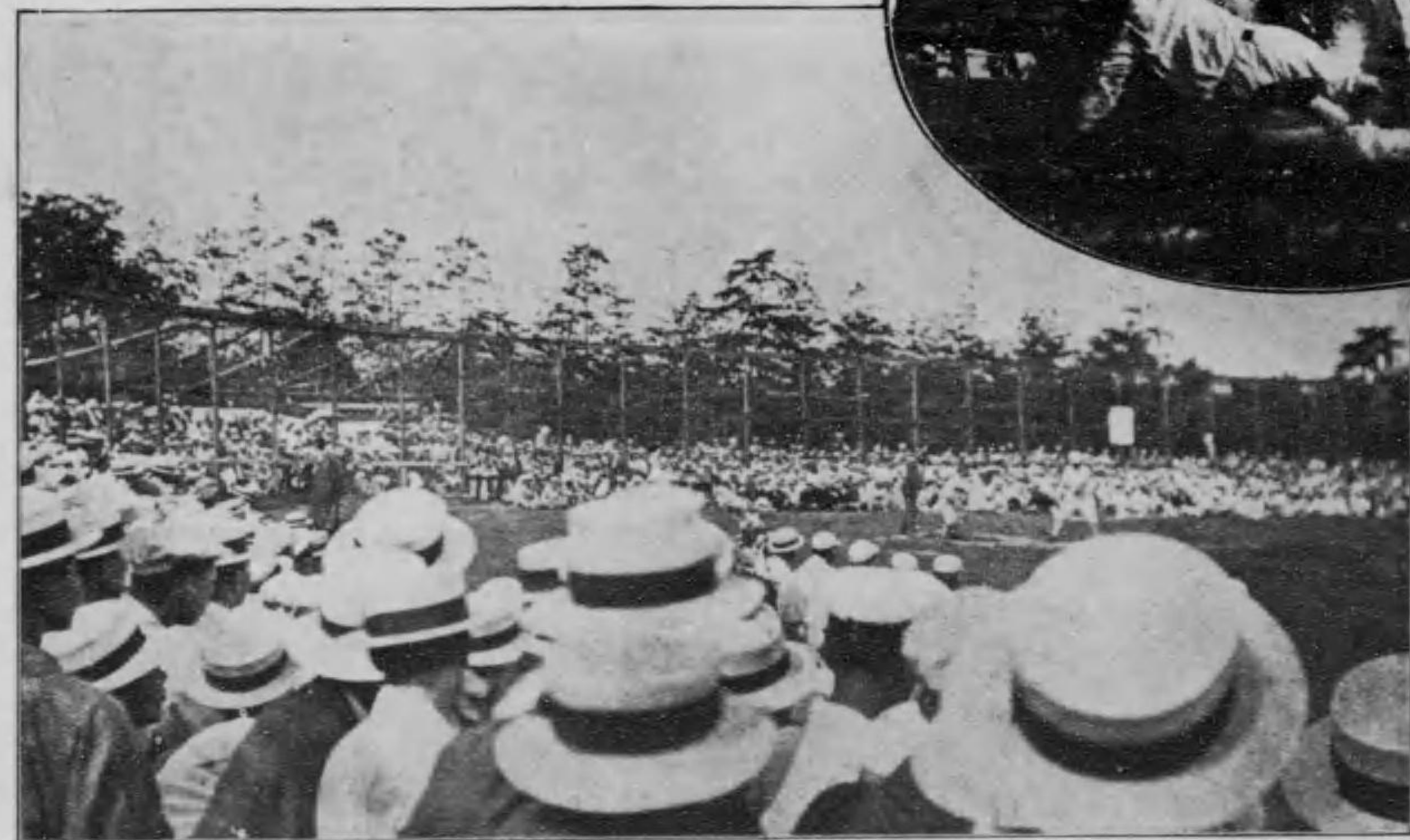
圖の上はグラウンドルールの協定(右より三宅慶應首將、海老塚、藤田兩審判、谷本一高首將)下は名物備次の熱狂である。

。たつ破を軍高一に零對六事美てつ義を庭校陵向は軍慶たし起奮に戦敗の回二前



(2) 戦 覇 争 の 戸 神 濱 横

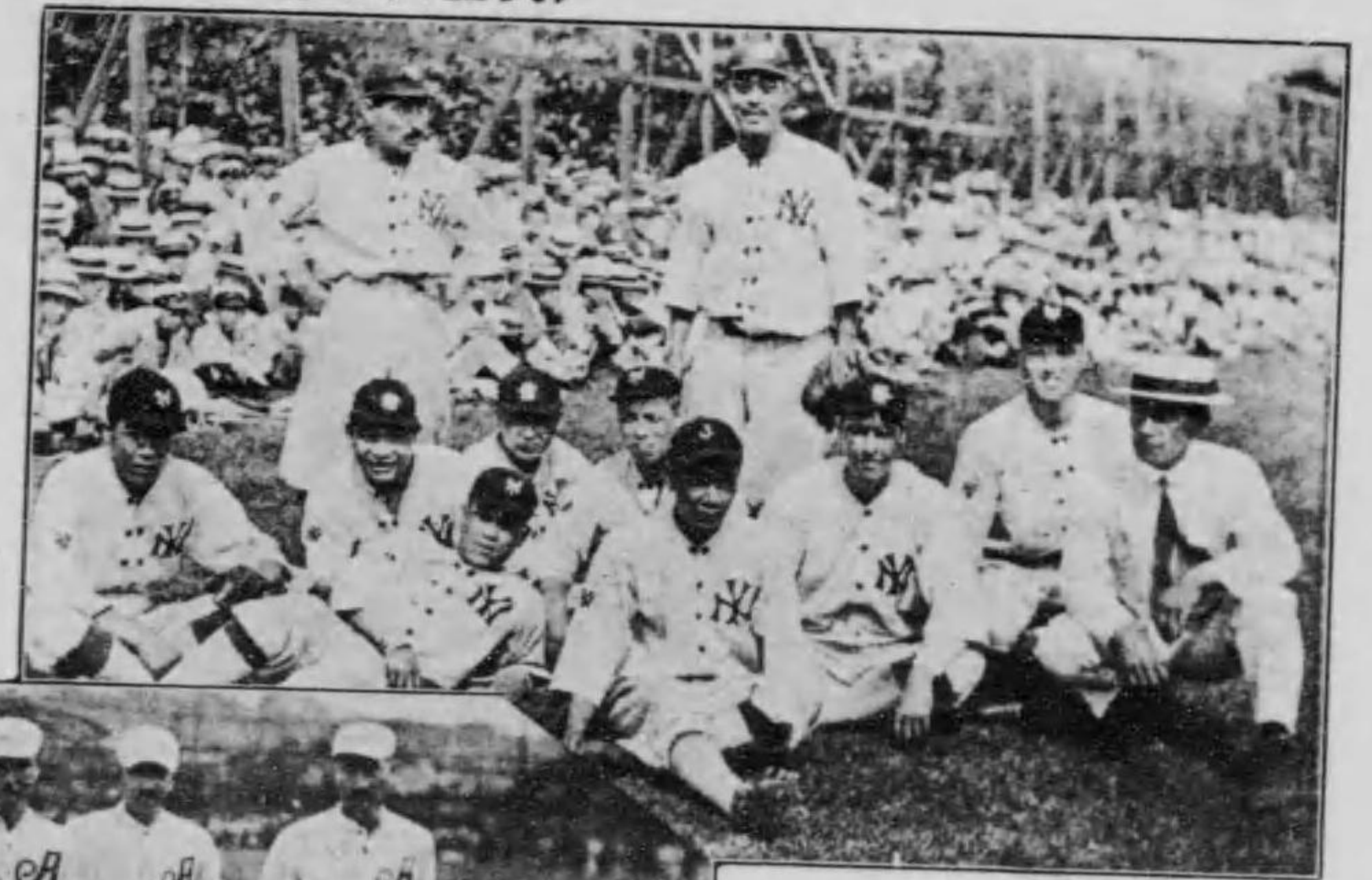
◀日一月七年六正大▶



上圖は試合の光景。  
下圖はグラウンドの大観である。

(1) 戦 覇 争 の 戸 神 濱 横

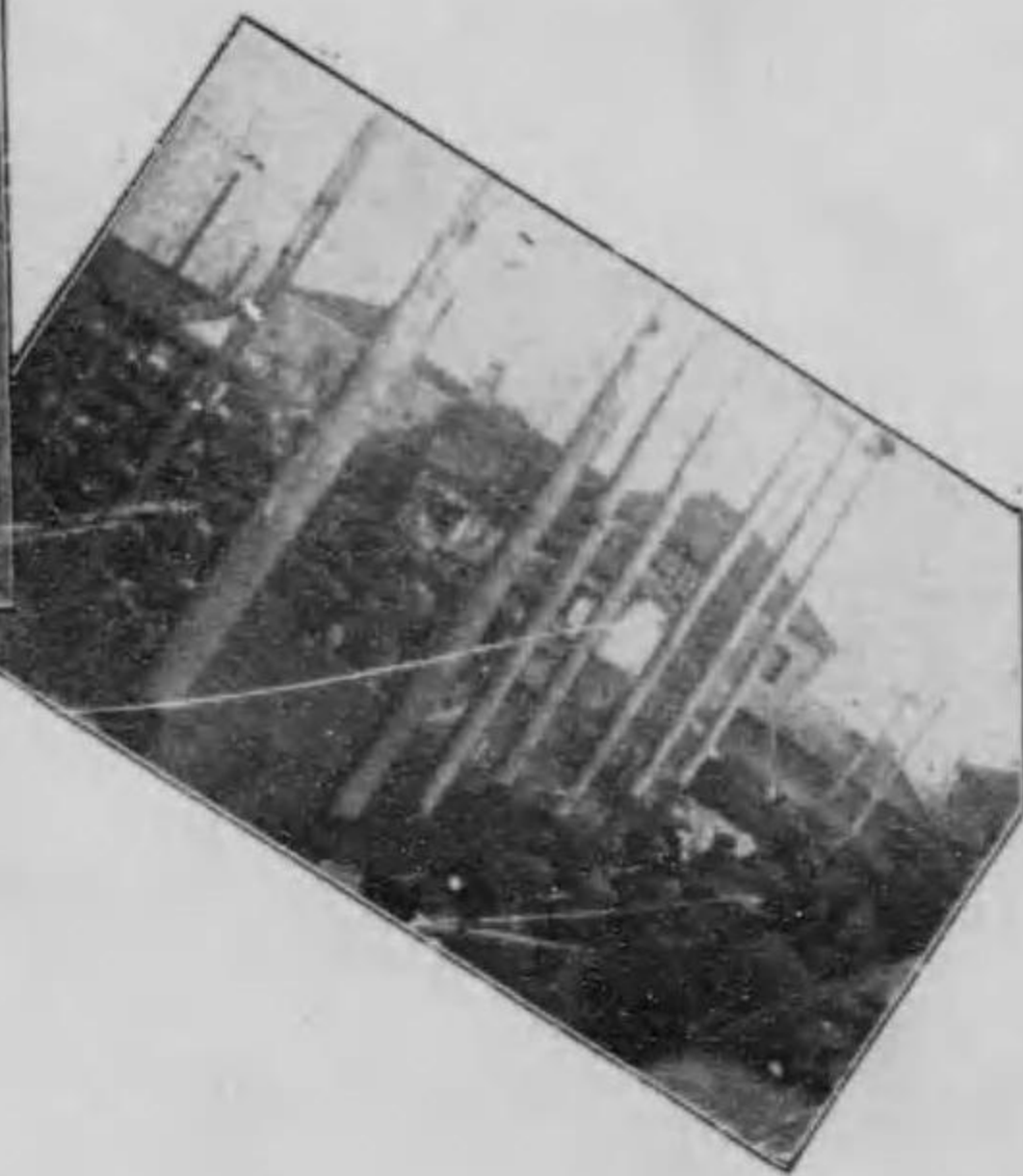
◀日一月七年六正大▶



横濱開港紀念祝賀の同試合は五  
對四を以て横濱方の勝利に歸し  
た。上圖は即ち横濱軍、下圖は  
神戸のナインである。

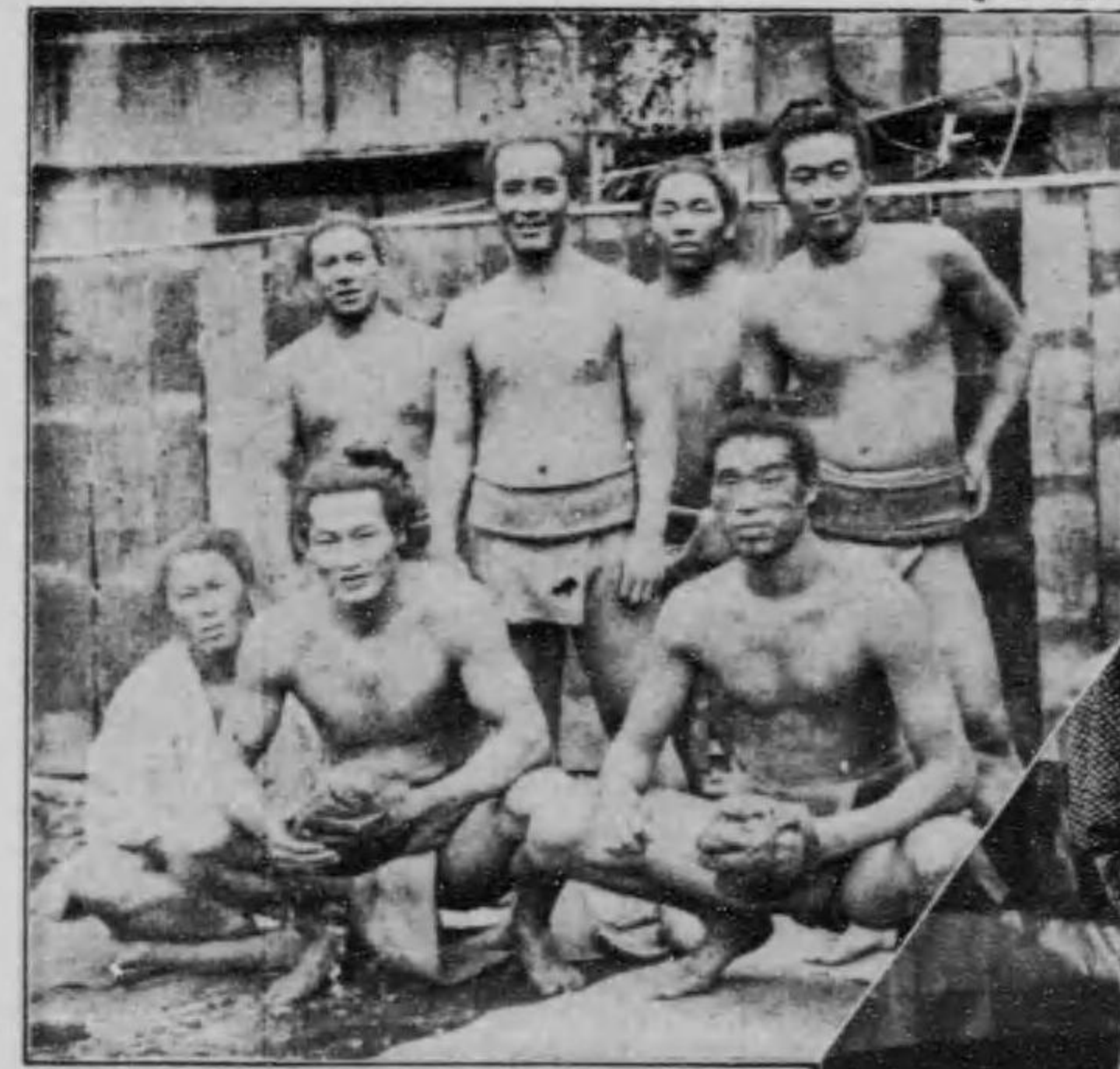


戦グーリ學大四  
◀月一十年六正大▶



神田橋内なる  
舊法政グラウ  
ンドに於ける  
慶明二回戦の  
大観、明軍遂  
に五對二を以  
て敗る。

熱球野の士力  
◀るあてのもなん盛際實▶



下圖は組織當時の力士野  
球團上圖は其の練習姿で  
ある。何んと振つてゐる  
ではないか。



### 者覇の團業實と團球野士力

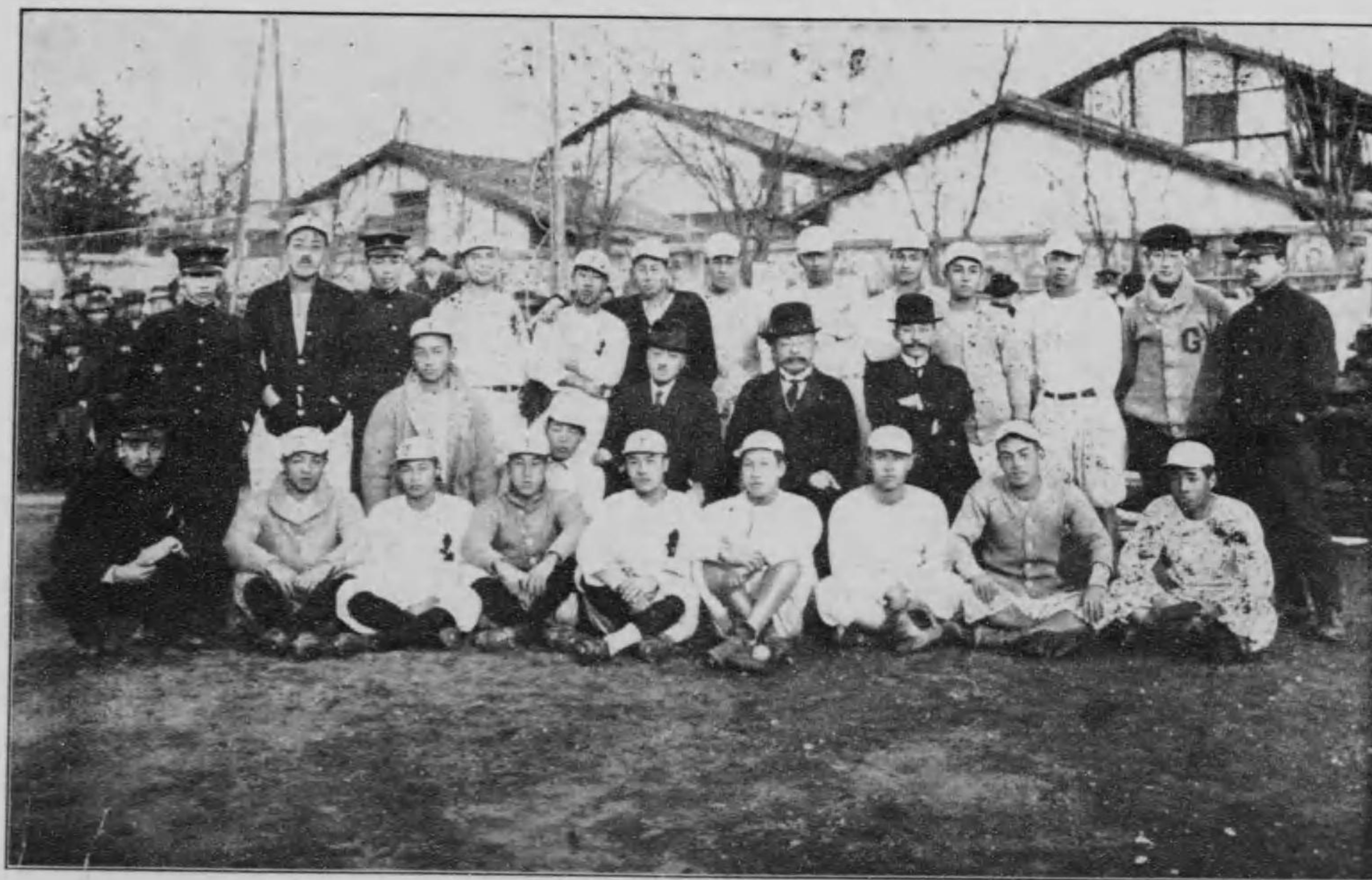
◀日四十二月正年七正大▶



影撮念組の際たし戦會て於に場動運の政法舊るな内橋田神と社會名合河古者福の團業實

### る成戦學大兩西東

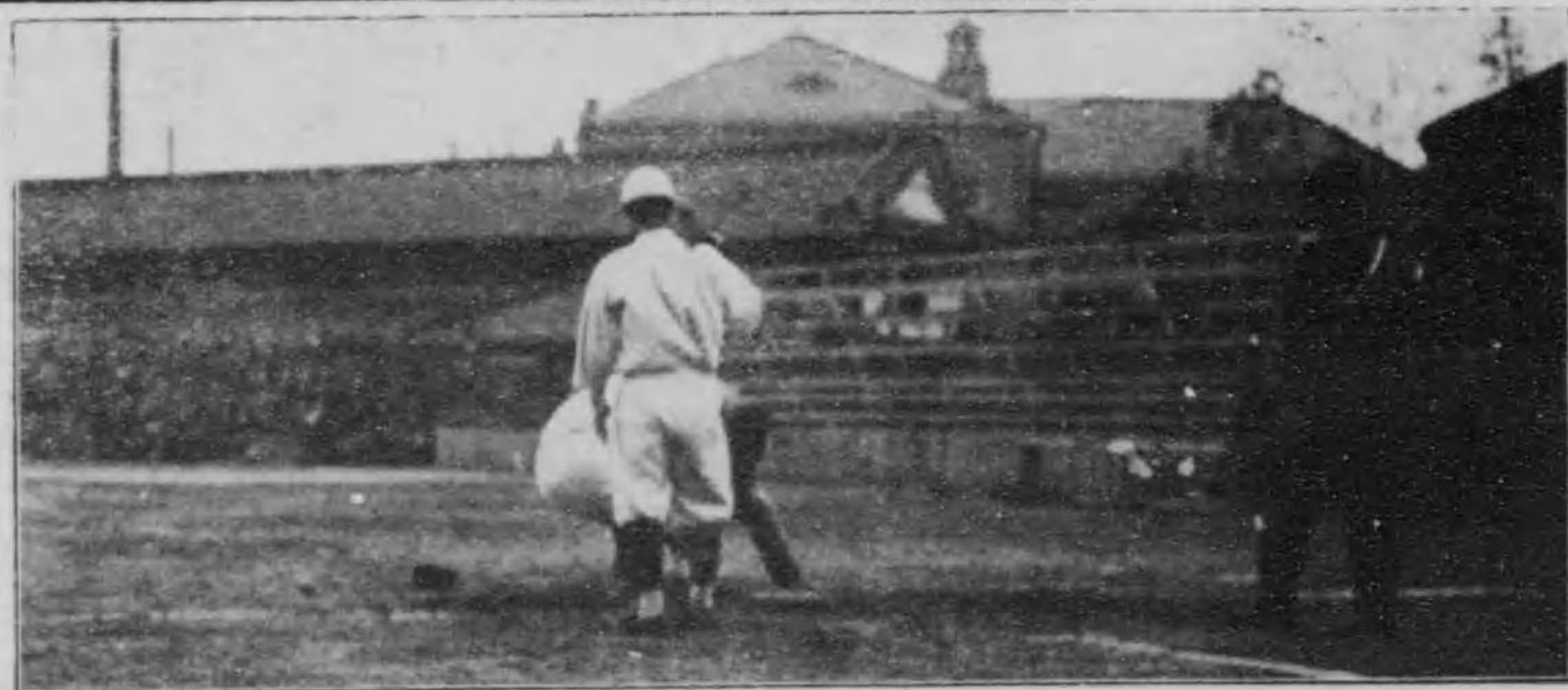
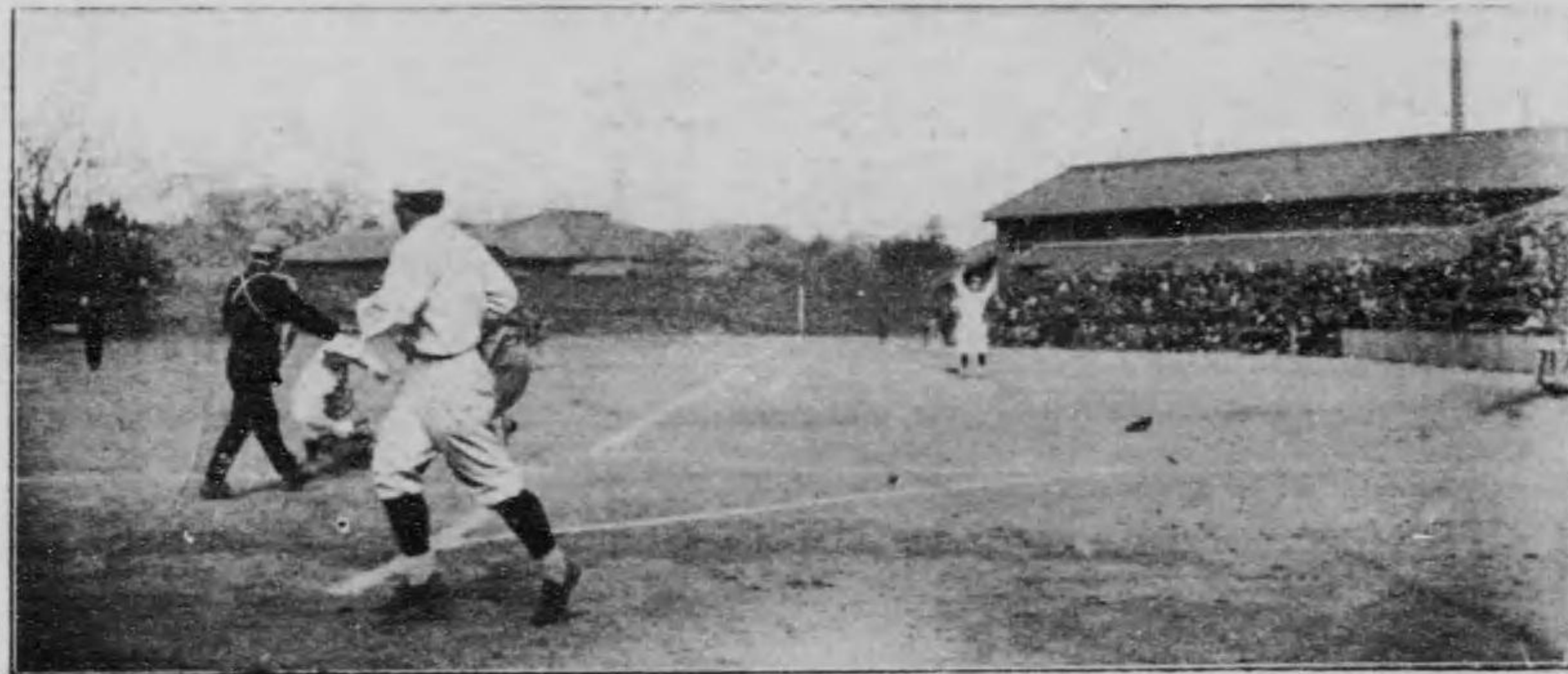
◀日八十二月二十年六正大▶



松<sup>B</sup>(東)地横<sup>1B</sup>(東)上井<sup>2B</sup>(東)野坂<sup>LF</sup>(東)田増<sup>RF</sup>(りよ右てつ向列前)るさ催てしと外番の戦覇爭校學等高催主大京  
P(東)本橋<sup>B</sup>(東)森<sup>1F</sup>(東)江入<sup>C</sup>(東)番球々佐、事主大東賀平(列後)事理大京杉小(京)井吉<sup>C</sup>(京)駒生<sup>LF</sup>(京)川市<sup>CF</sup>(京)元  
實監副・長總木荒長會、土博澤中會監(列中)澤吉壽壘(京)西小<sup>RF</sup>、事主大京本中(京)田折<sup>P</sup>(京)原金<sup>SS</sup>(京)村西<sup>1'</sup>(東)井今  
(京)下木<sup>1B</sup>京)本坂<sup>3B</sup>士學井今

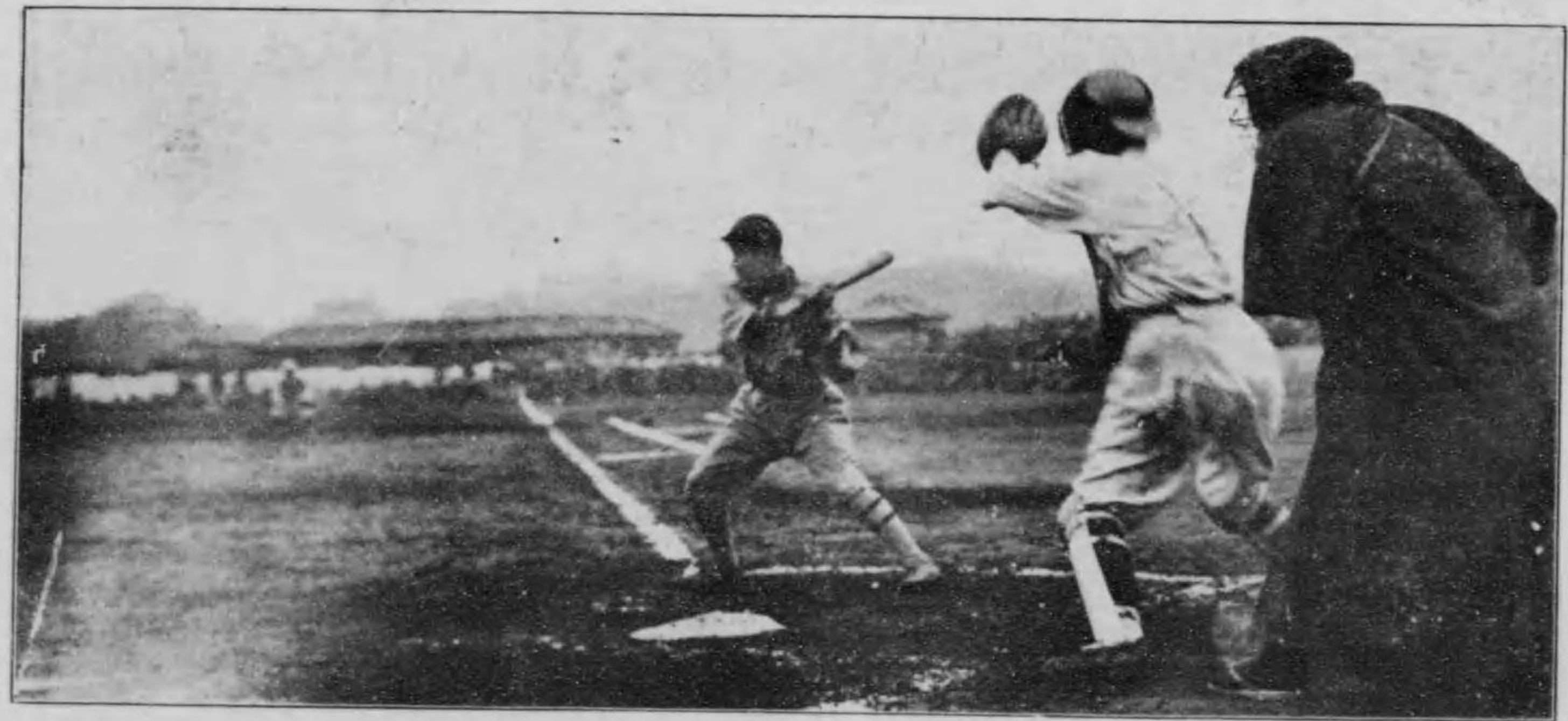


ふ 振 に 大 軍 台 駿  
◀ 月 四 年 七 正 大 ▶



はて於に勝敗決がた見を取大の零對三はに戰回二、り破に一對三づ先を軍早、勝は軍大明の進新  
最本てしば飛を打壘本が土井の軍早に戰回二は上の圖。たげ上に大をり振男てつ破に零對二び再  
。あて那利のるす死償で壘本が者走の軍早は下。那利る入へ

動 行 の 手 選 冶 鍛 人 の 題 問  
◀ 旬 中 月 四 年 七 正 大 ▶



手投大早澤場出てし手打一第に戰回一第大早對の日四十月四てじ轉に大明年同然突は手選冶鍛たれら知てしと手堅中名の應慶  
。將首大早岡市は手捕。るあでのもたし影撮を間瞬のそち即は圖。たれら居に振三頭勢め爲の

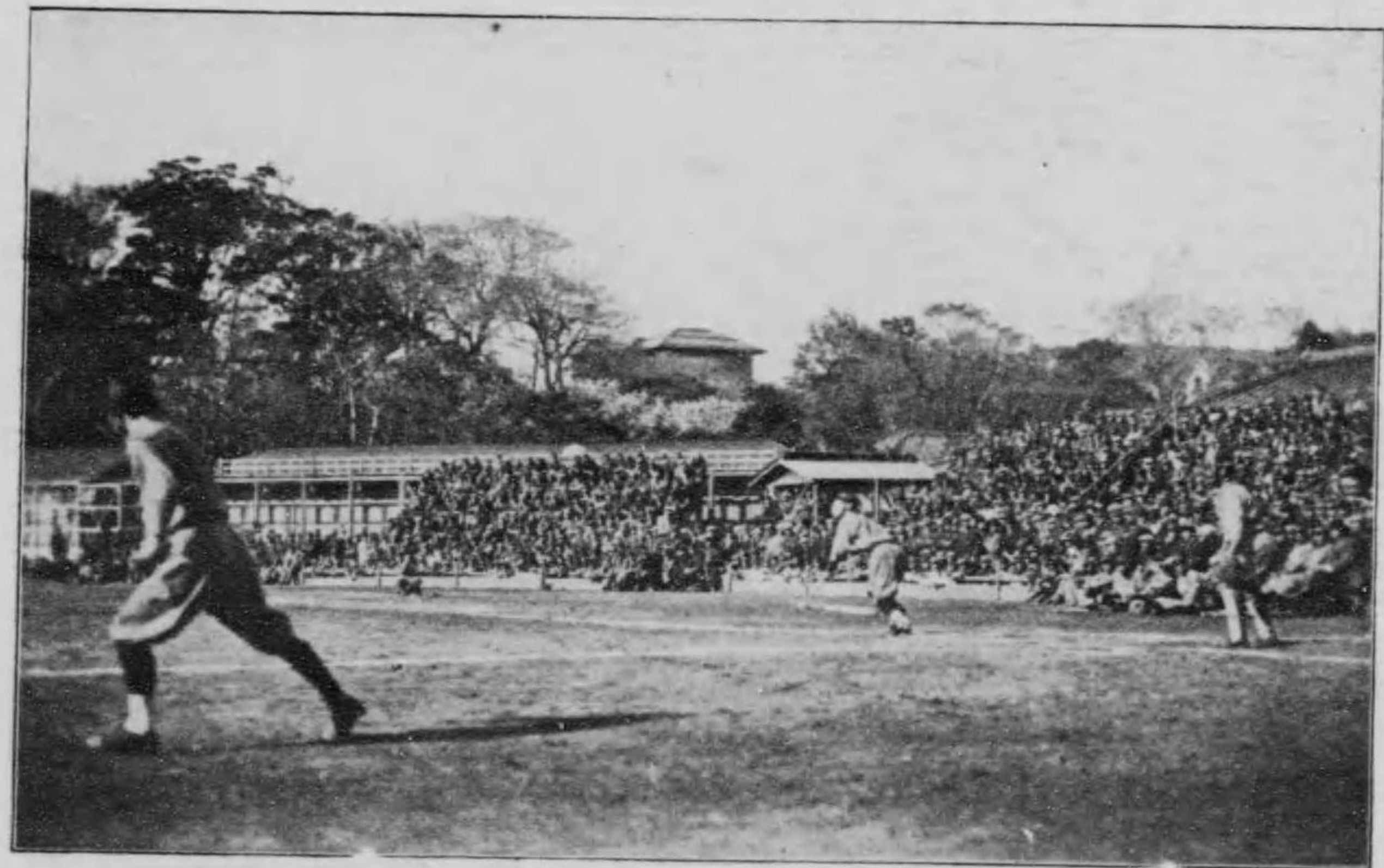


る破を軍早に遂大明  
◀月五年七正大▶



入突に壘本で景光るけ於に戦勝決の其ち即は圖。たし途をみ望の年永てし勝二に軍早に遂は大明の迎新  
捕大早岡市はのるゐてつ立に傍、手投大早本橋はのるゐてけ付へ初をれそで手選大明永池はのるゐてし  
るあて手

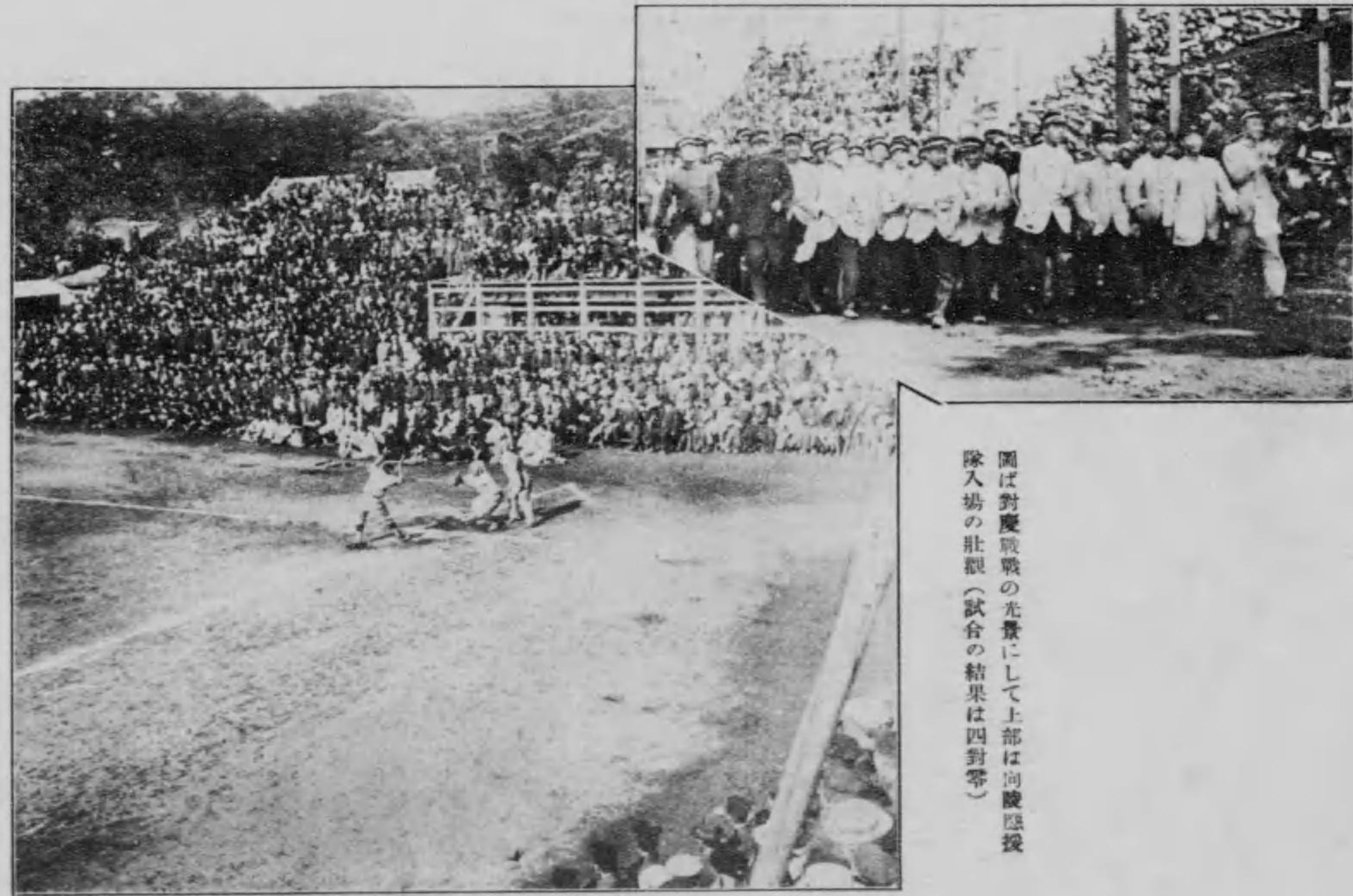
し凄物闘奮の大明  
◀月五年七正大▶



け於に戦回二第の其は圖。たつ終に敗一勝一てし戦激もと軍慶は軍大明たし勝二に大早に事美の物  
るあてルイボイラフはのるへ見の物い黒に上の圖。イタノの手選大明甚安る

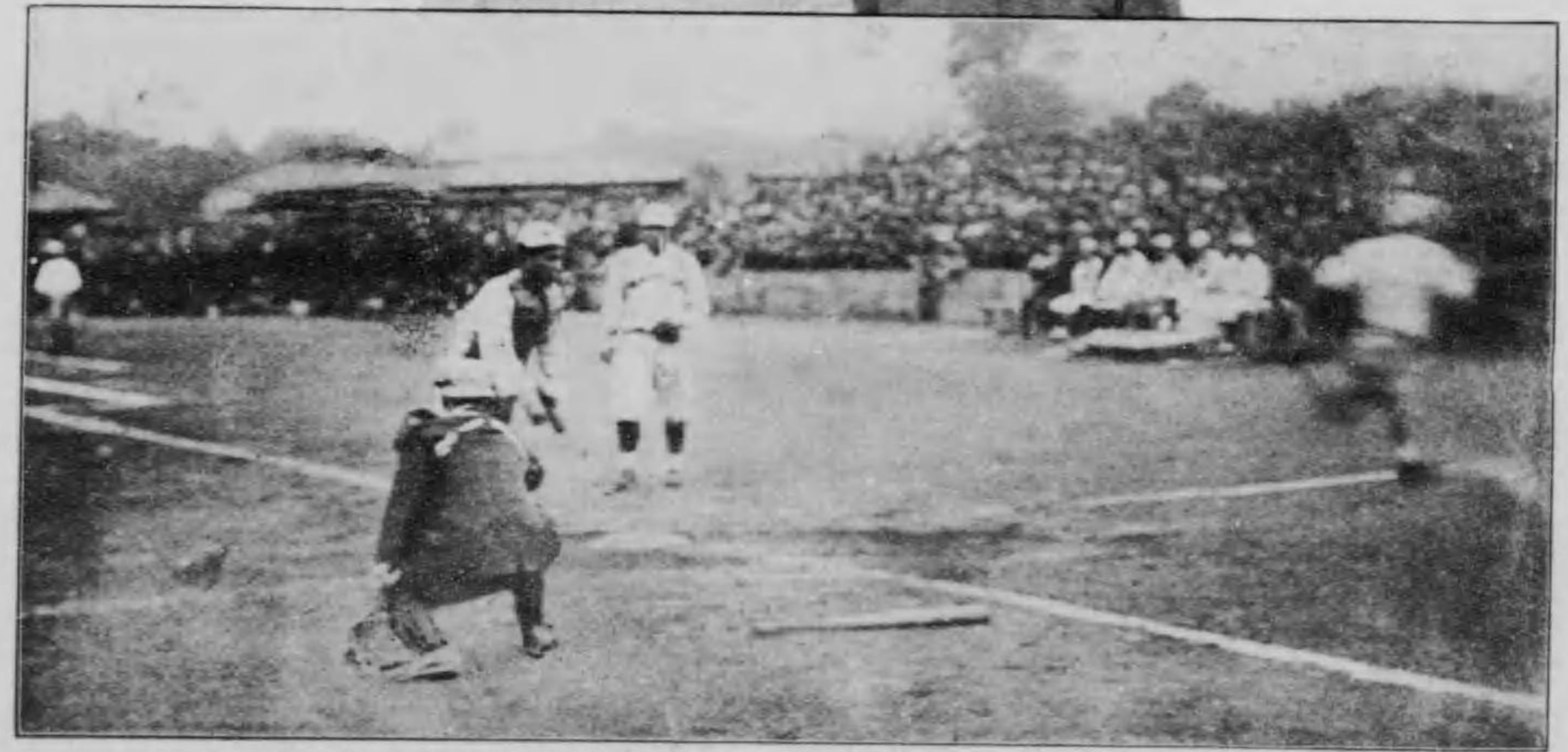


(2) 現再代時金黃の軍陵向  
◀月五年七正大▶



圖は對慶戰の光景にして上部は向慶陸投  
隊入場の壯觀（試合の結果は四對零）

(1) 現再代時金黃の軍陵向  
◀月五年七正大▶



つ破を院習學高三慶早てつ依に現世の君村内手投快、歳五有拾にいこりよてれは奪を權の界球が我に學人兩慶早  
早對と！リテツベの松中村内鎮重の軍同は圖。る作を代時金黃く度出目り握を權軍の界斯び再し博な譽榮の勝全て  
。景光の戰大



る成場動運期夏の大大早  
◀旬下月七年七正大▶



安部早大部長が永年の懸案であつた經井澤の夏期運動場は成つた。これより同大學生は涼風に浴しながら勉強と練習に余念がないのである。園の上は即ち合宿の遠望、下は英語の先生と選手の一部である。

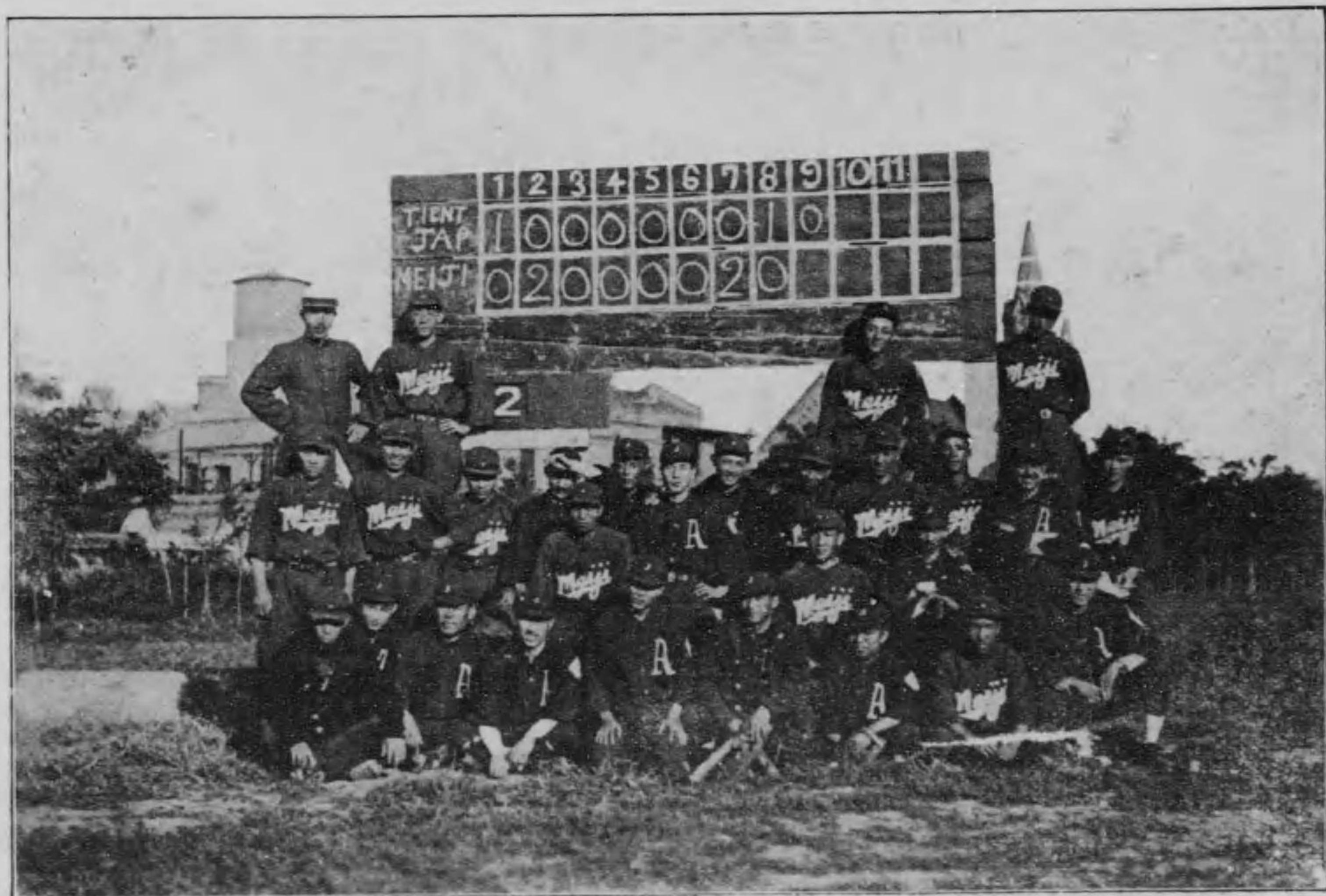
(3) 現再代時金黃の軍陵向  
◀月五年七正大▶



右圖は對早大戦の第戦に餘念のない向陵軍。(試合の結果は七對零で勝負)左圖は札幌と一ルの庭園に於ける祝勝會の光景。



(2) 征遠海上び及州滿の學大治明  
◀月八七年七正大▶



るあて手選高一舊川石が目人二りよ右列中手選舊大早長照が端右最列前。操念紀のと團球野人本日津天

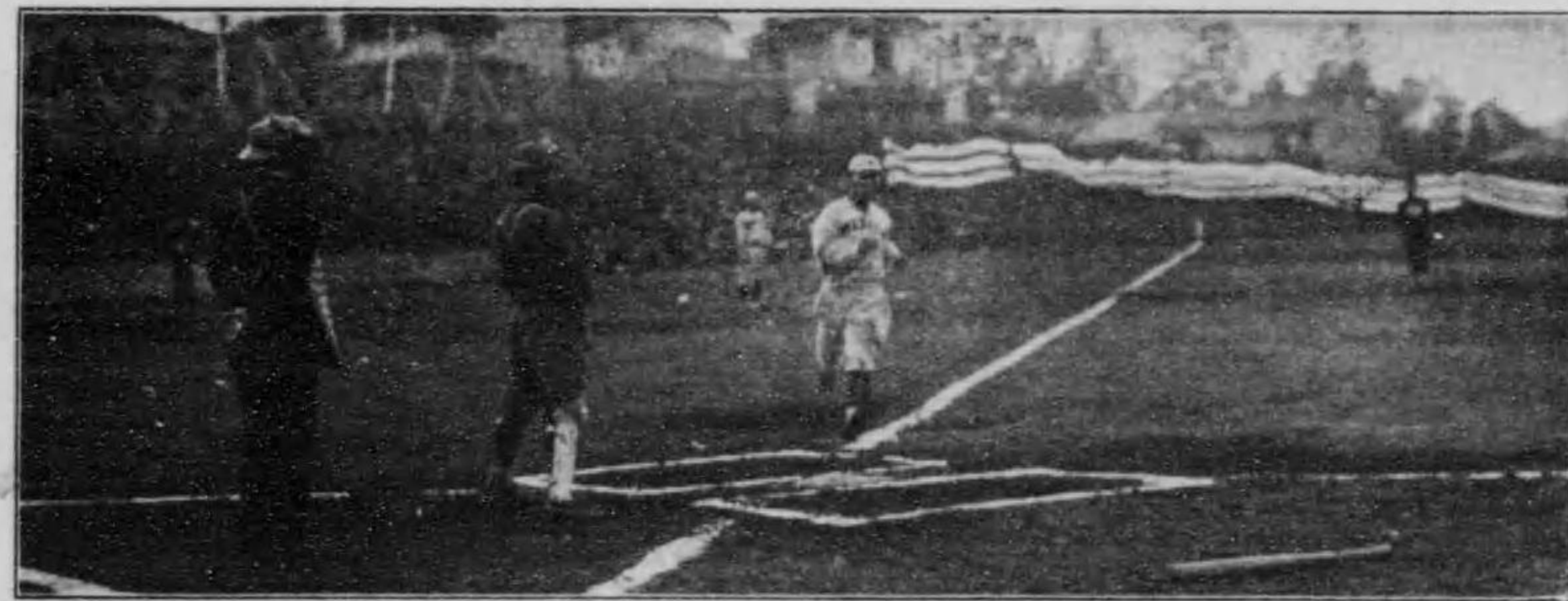
(1) 征遠海上び及韓滿の學大治明  
◀月八七年七正大▶



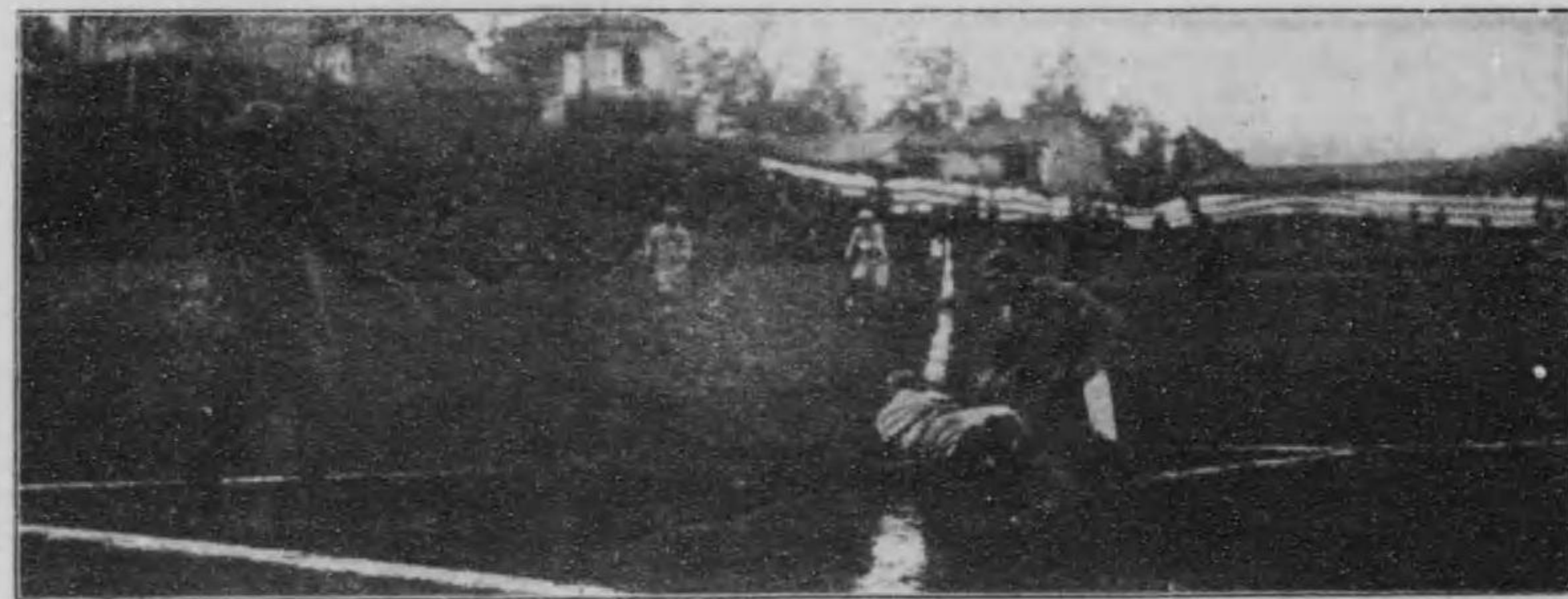
(SS)藤安(RP)岩大(S)賀雜(IB)上井(P)藤(リ)右行一るけ於に上橋大鉄四は圖下 登光の戦人想對るけ於に海上は團上  
君諸の(Cap LF)西小(2B)尾西(S)木鈴(2B)永池(CP)岡富(S)田内



### 合試選豫會大技競東極 ◀月十九年七正大▶

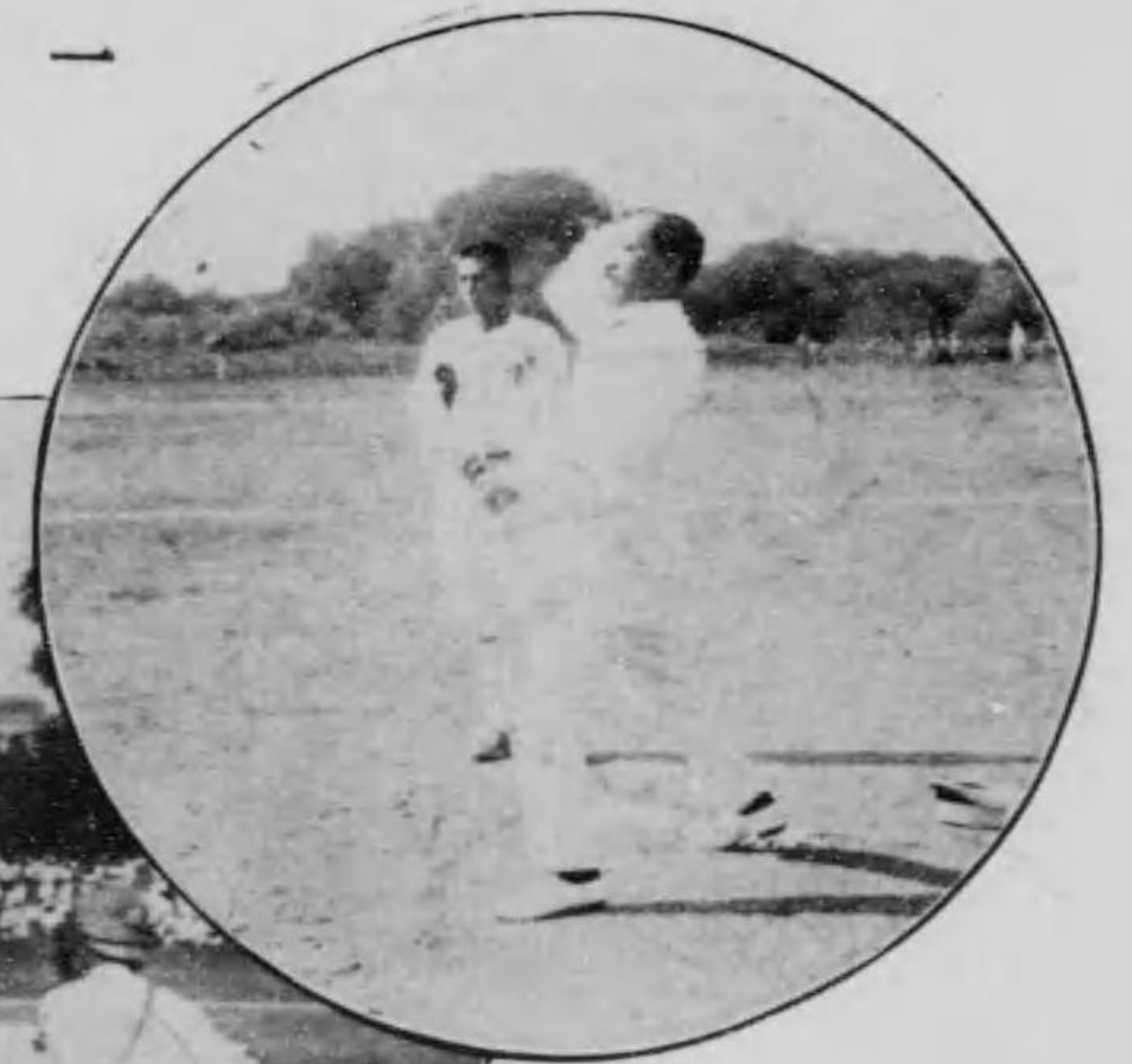
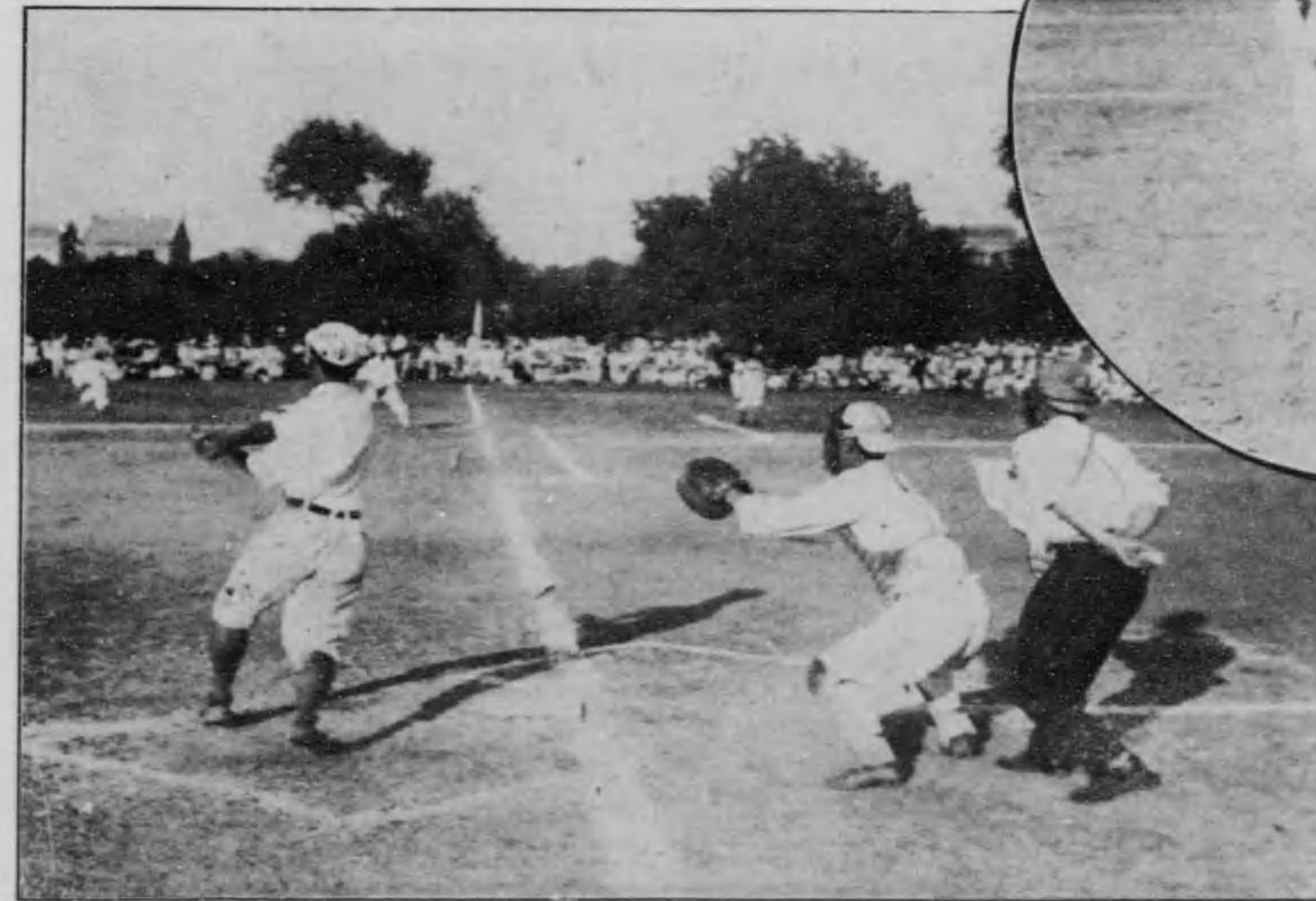


圖の上は早明戦、下は早法戦である



敗二勝四軍早果結たつ争に間の學大三法明早は合試選豫の會大東極るれき行舉て於に邦本  
た得を權場出に遂て以を績成好の

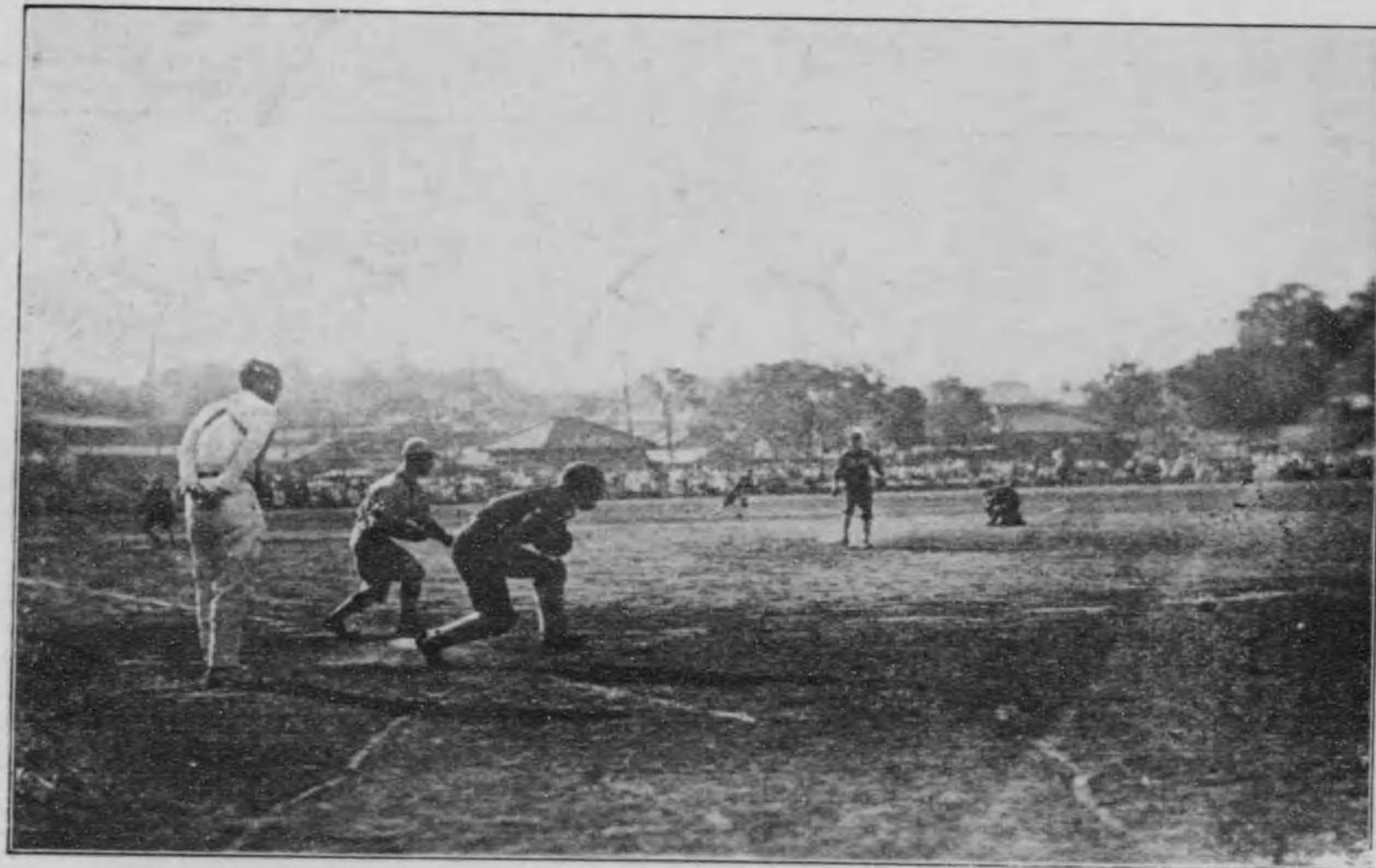
### 征遠州滿の高一 ◀旬下月八年七正大▶



荒ノ破てつ騙を一箇の 是開球野高一たし甲再を代時命黃てつ破を院習學 三び及學大兩慶早  
一は回二第 二對三は回一第にめ爲の部 俱強滿て於に連大もくなし端がたて企を征州滿の  
岸なら有がのるるに左の事理山棒て式球始は圖上ち即 たい就に途歸にち直でのたれ敗に零野  
るあてり振撃打の手投高一村内は圖下 手投大早荷



(2) 朝來の軍日朝市沙  
◀月九年七正大▶



仲竹手撃遊、野小手投、秀森手捕、宗久手打、瀬音官判審りよ左てつ向てしに景光の戦回一應慶判  
るあで君語の藤安希盛、野天手轟三

(1) 朝來の軍日朝市沙  
◀月九年七正大▶

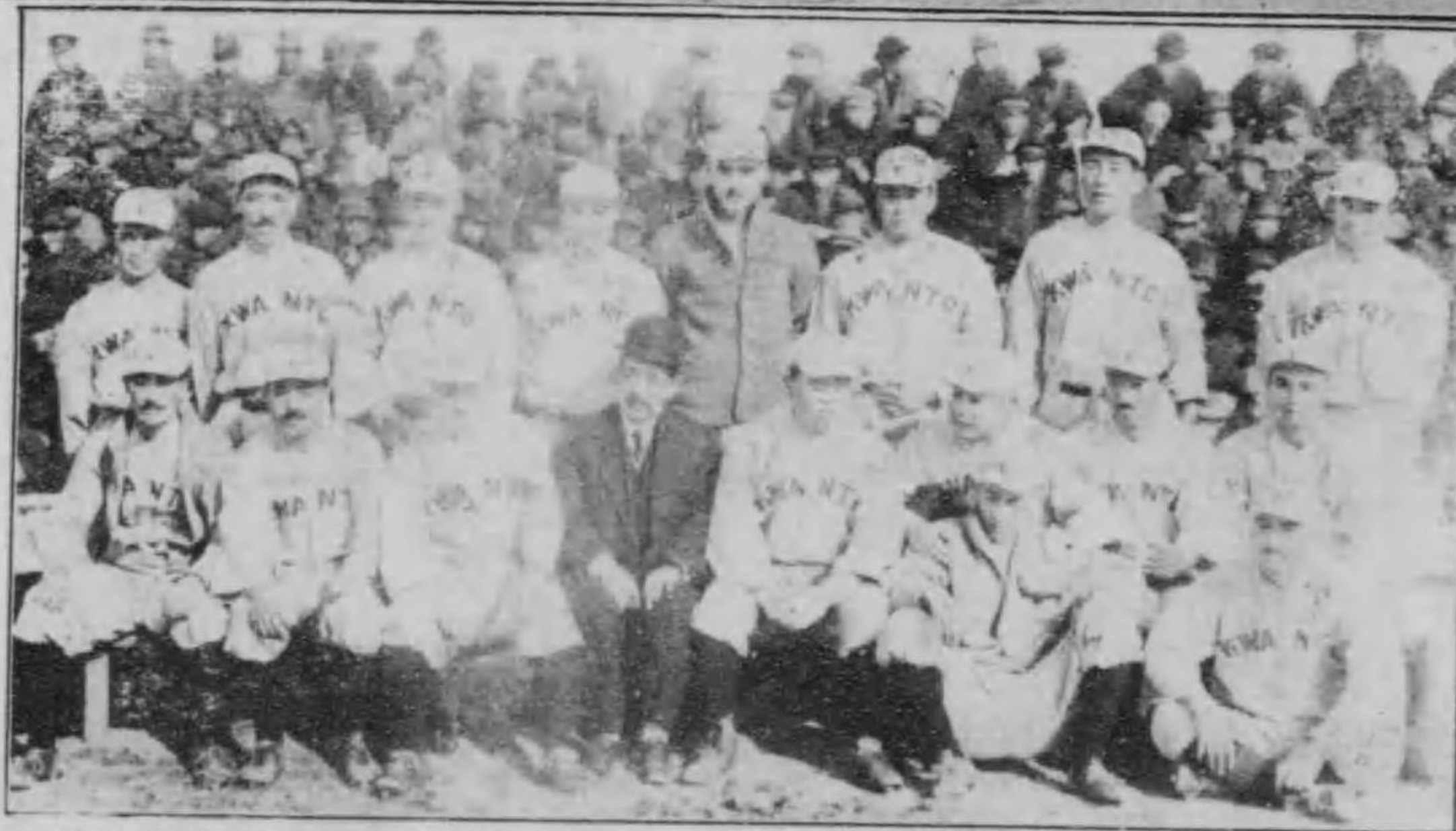


ち即は圖。たつあでり切たし勝一に大明に僅がたつ戦と法明慶早朝來てしと光御國母は軍日朝市沙  
。景光るす呈贈を産土おてし對に軍慶が軍同



(1) 立成の戦西東關全

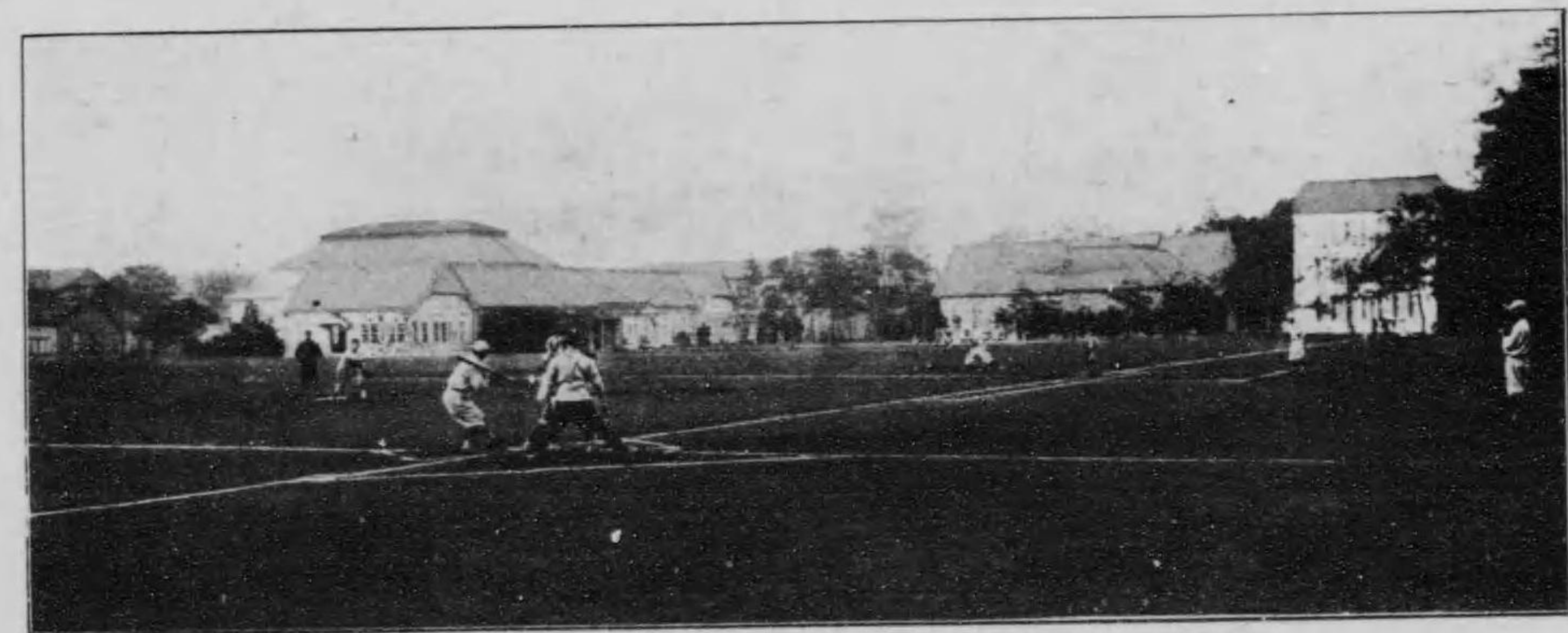
◀日四廿三廿月一十年七正大▶



三對六、零對三がたれき行舉に協働運尾鳴を同一第の其、立成に下の授後社聞新日朝阪大。  
。ンイナの東關は圖下。西關は圖上。たし歸に利勝の軍西關に共にし残を録記の

躍活の院習學

◀日三月一十年七正大▶



の三對六十デ敵に違がナつ戦でい招に庭々校自を園球野大早雄の北城は軍院習學るゐてい磨を技然應で角一の白目  
。つ棠を敗大



欠

(2) 立成の戦西東關全  
◀日四十二・三十二月一十年七正大▶



優勝盃を手にしてニコ／＼顔の全關西軍(向つて左より)石川、加藤首將、佐伯、村上、増田の諸君)



思出深き二つの真寫

◀ふ恩を手選應慶兩たし故物▶



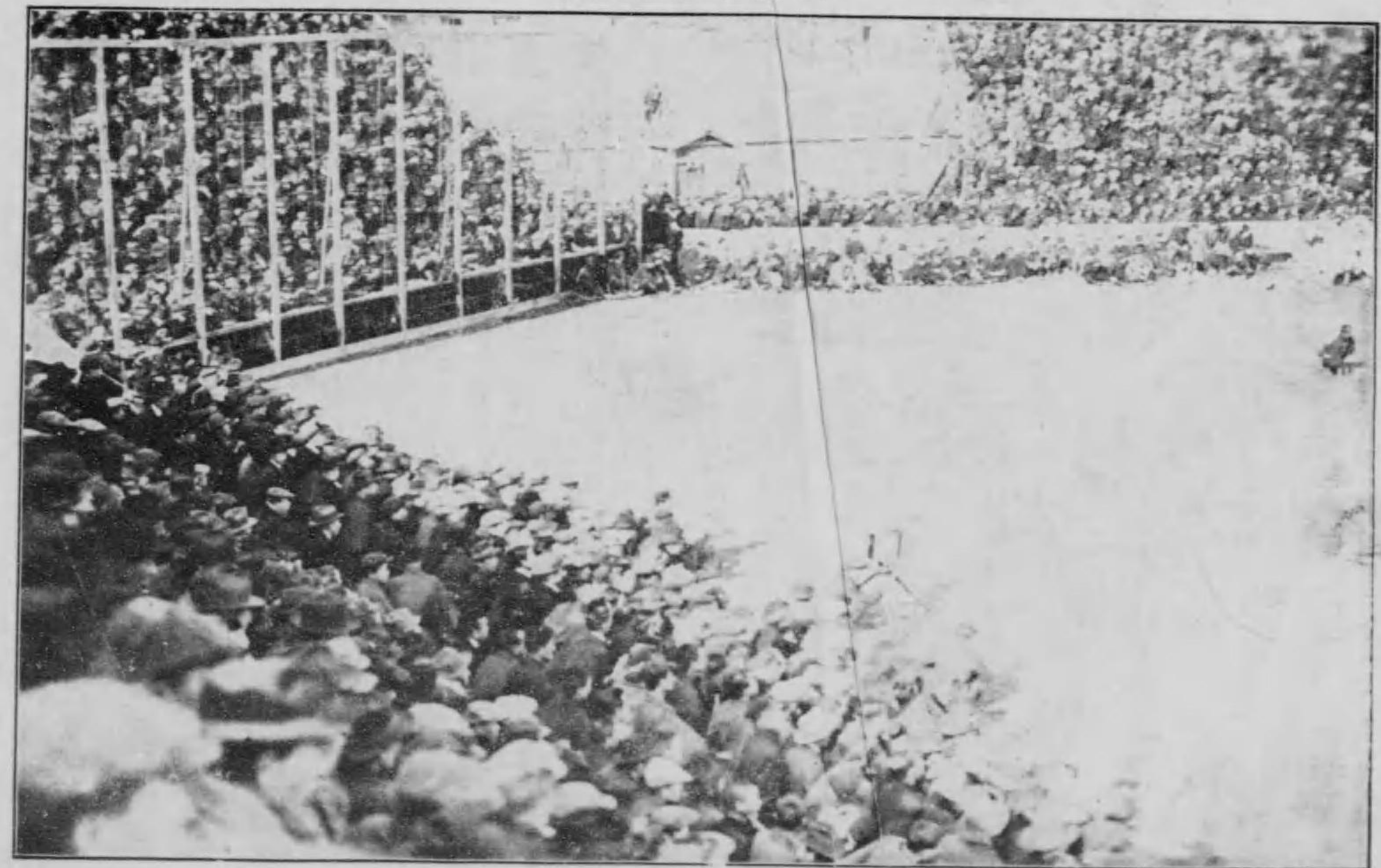
上圖は一疊を殊守する故松田慶應一疊手、  
下圖は本疊に頑張る故平井慶應捕手亦再び其  
の勇姿に接する能はず、

欠



人物見なうやの山黒

◀期秋年十正大▶



。かいなはでのもなん盛とん何 .るあて衆観の職田三對門稻たれさ催に揚動運浦芝

大正十一年十二月三十一日印刷  
大正十二年十二月二十五日發行

定價金壹圓八拾錢

編者 野球界社編輯部

發行者 大橋進一  
東京市日本橋區本石町三丁目十六番地

印刷者 光村利之  
東京市神田區通神保町三番地

印刷所 光村印刷部  
東京市日本橋區本石町三丁目十六番地

發行所 野球界社  
東京市日本橋區本石町三丁目十六番地

發賣元 株式會社博文館  
東京市日本橋區本石町三丁目十六番地

製複許不



終